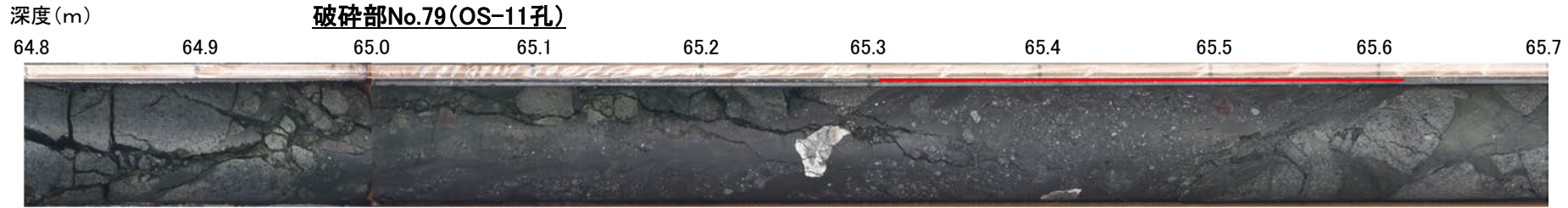
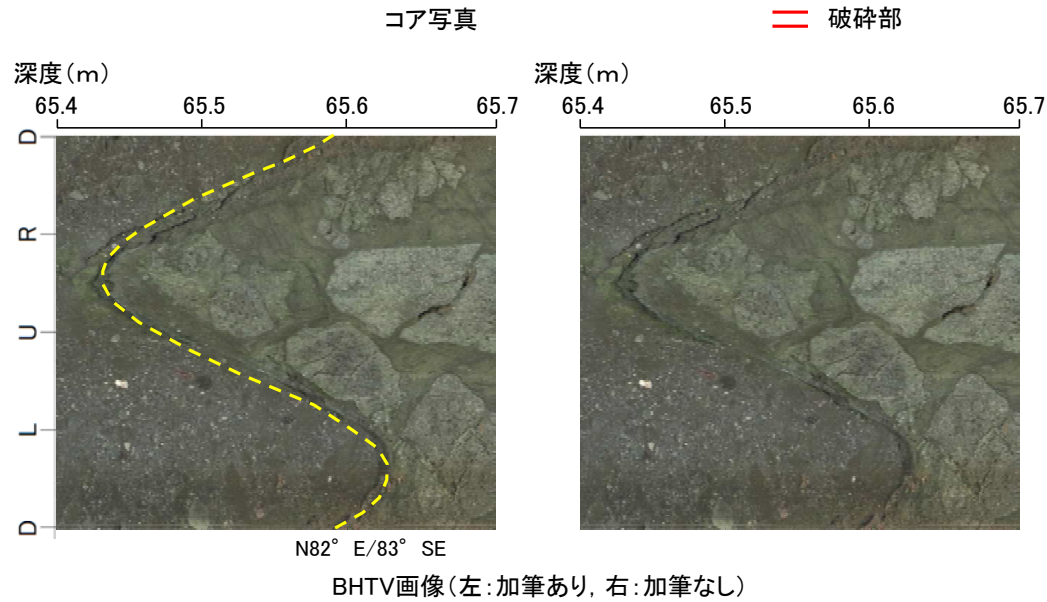


【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-11孔) (4/4)】

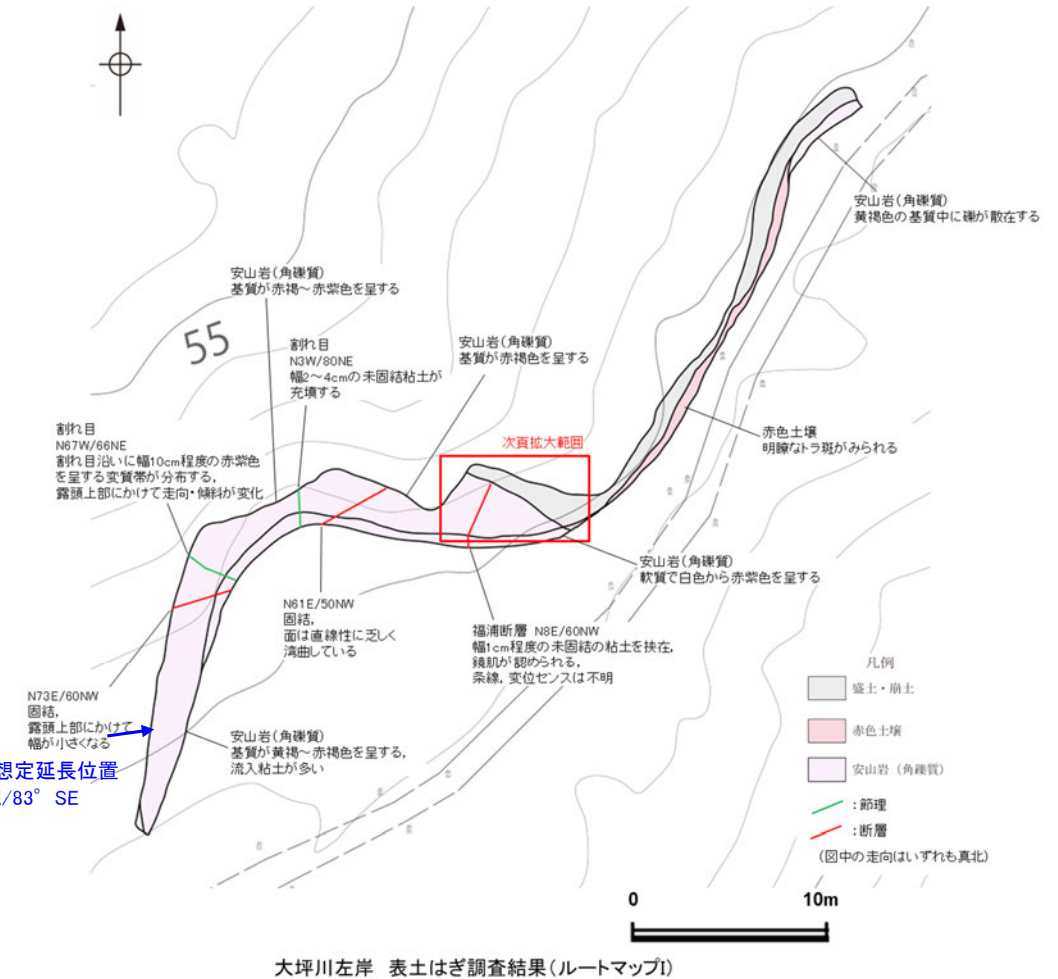


・厚さ0.2~0.5cmの砂状破碎部及び厚さ17~31cmの固結した破碎部



破碎部No.79想定延長位置
N82° E/83° SE

走向・傾斜が福浦断層と異なり, ルートマップの想定延長位置に対応する破碎部が認められない。



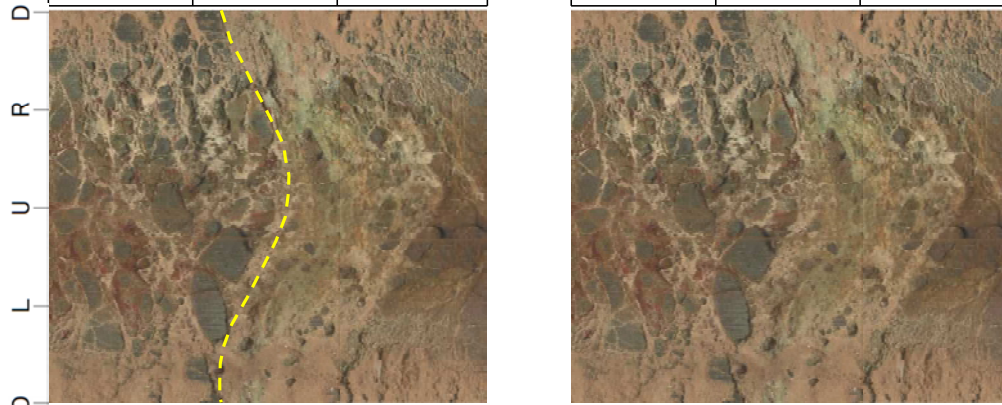
【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(FD-6孔) (1/1)】

深度(m) **破碎部No.80(FD-6孔)**
 44.8 44.9 45.0 45.1



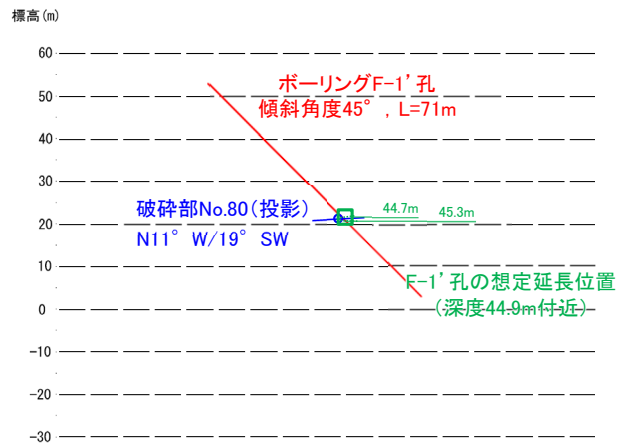
・厚さ7.0~7.5cmの砂状破碎部

深度(m) コア写真 深度(m) 破碎部
 44.8 44.9 45.0 45.1 44.8 44.9 45.0 45.1



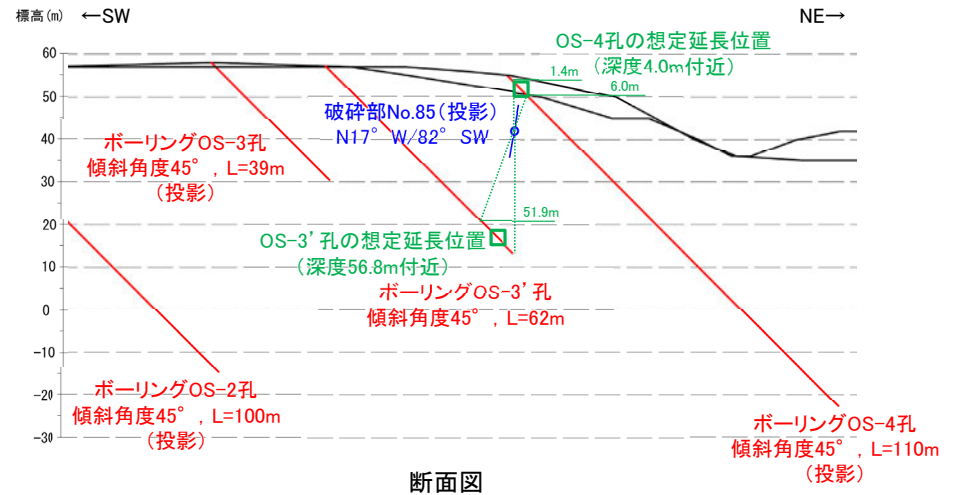
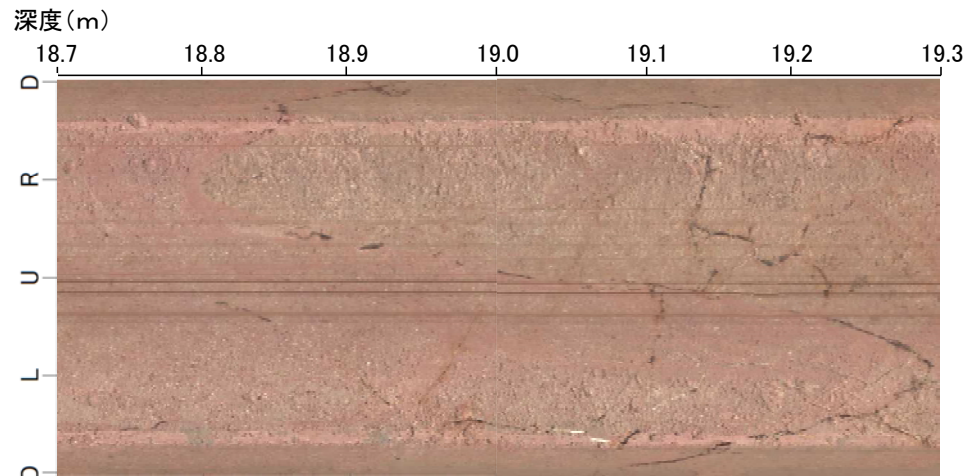
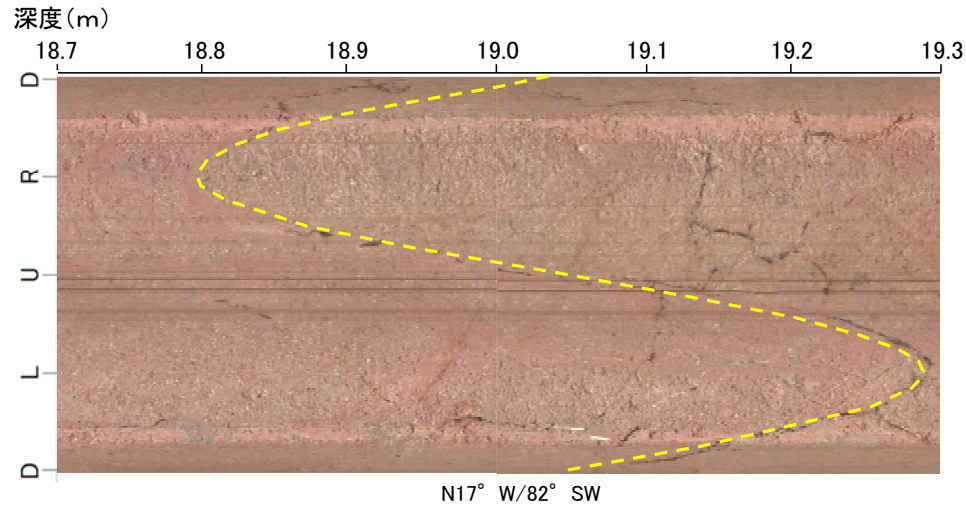
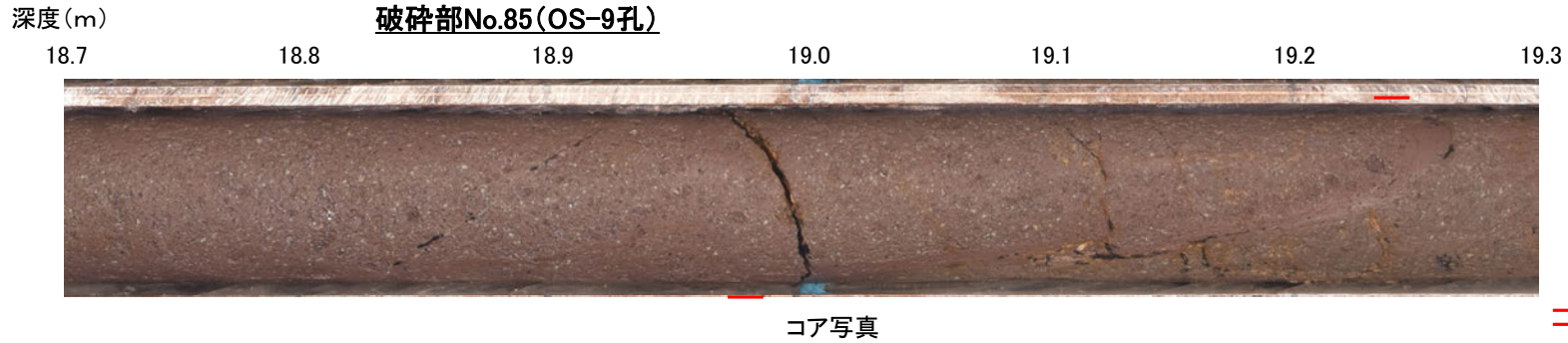
N11° W/19° SW

BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(F-1'孔)の想定延長位置(44.7~45.3m)に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (1/8)】



性状が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-3'孔, OS-4孔)の想定延長位置(51.9~60.0m, 1.4~6.0m)に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (2/8)】

深度(m) **破碎部No.86(OS-9孔)**

20.6 20.7 20.8 20.9 21.0 21.1 21.2



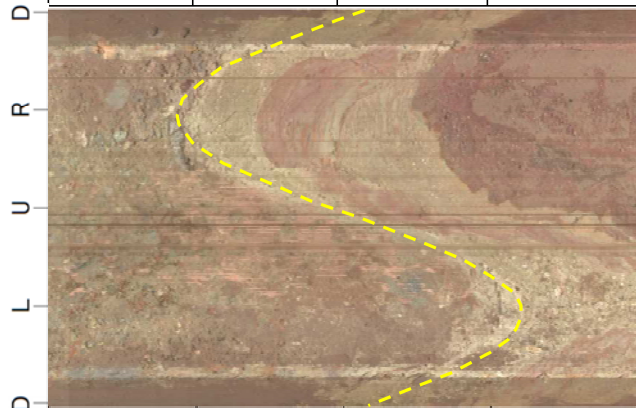
・厚さ1.8~2.0cmの粘土状破碎部及び厚さ3.7~13cmの固結した破碎部

コア写真

— 破碎部

深度(m)

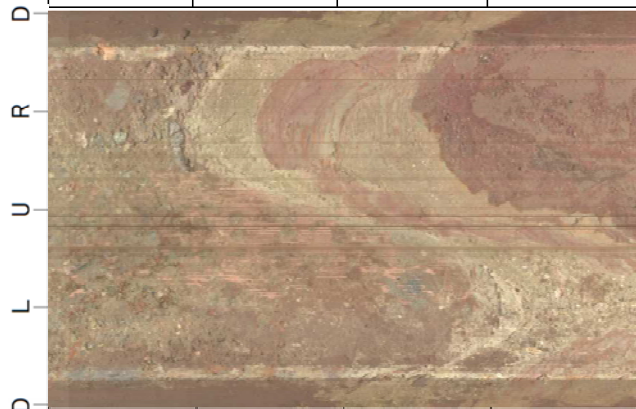
20.6 20.7 20.8 20.9 21.0



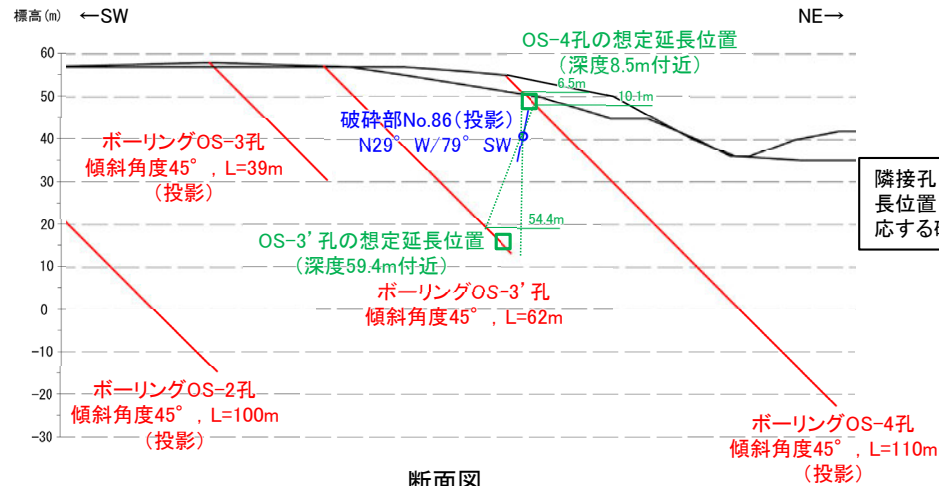
N29° W/79° SW

深度(m)

20.6 20.7 20.8 20.9 21.0



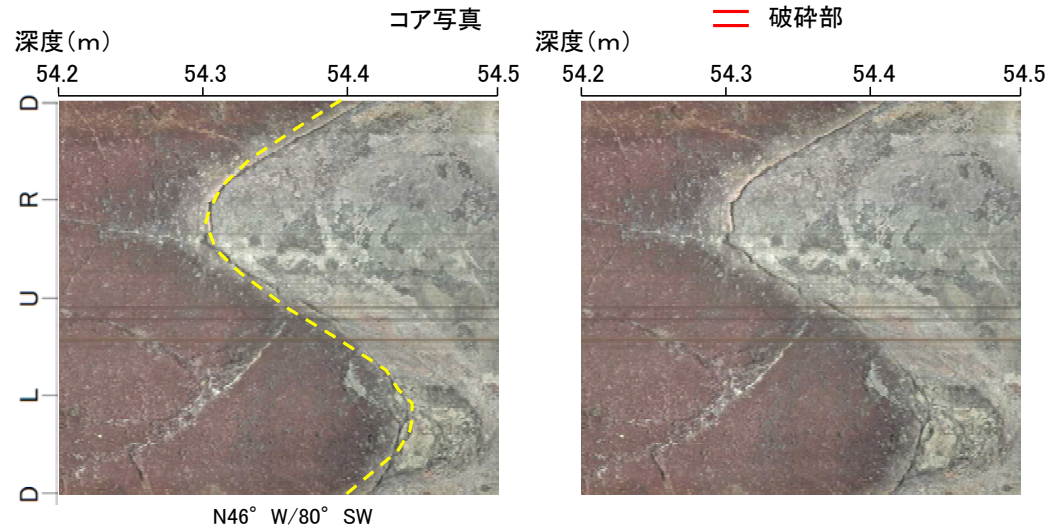
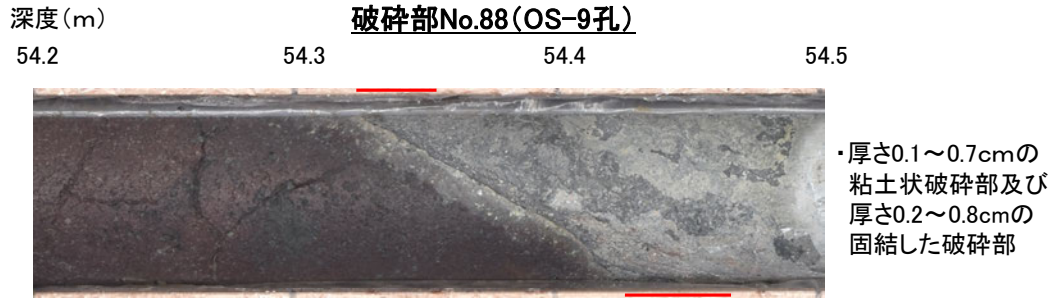
BHTV画像(上:加筆あり,下:加筆なし)



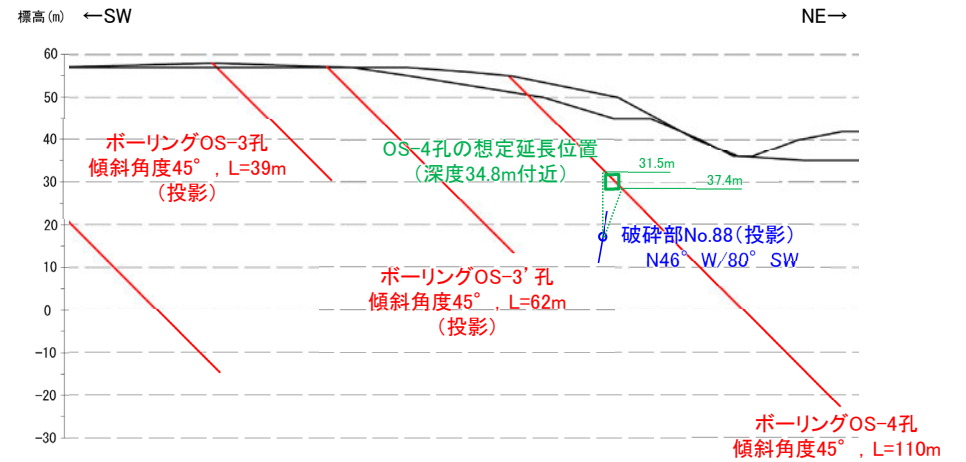
隣接孔(OS-3' 孔, OS-4孔)の想定延長位置(54.4~60.0m, 6.5~10.1m)に対応する破碎部が認められない。

断面図

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (3/8)】

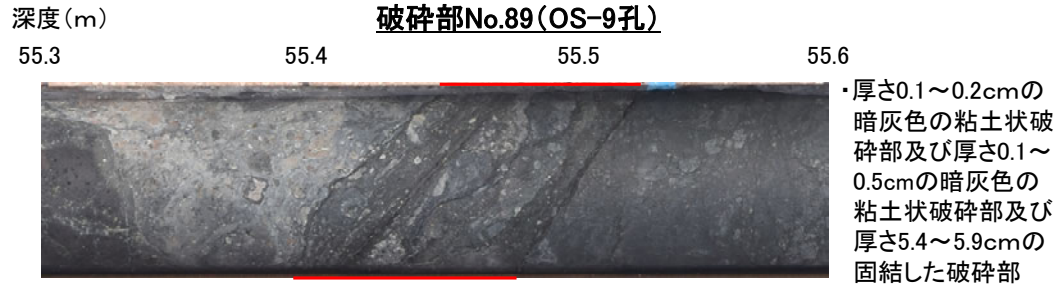


BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

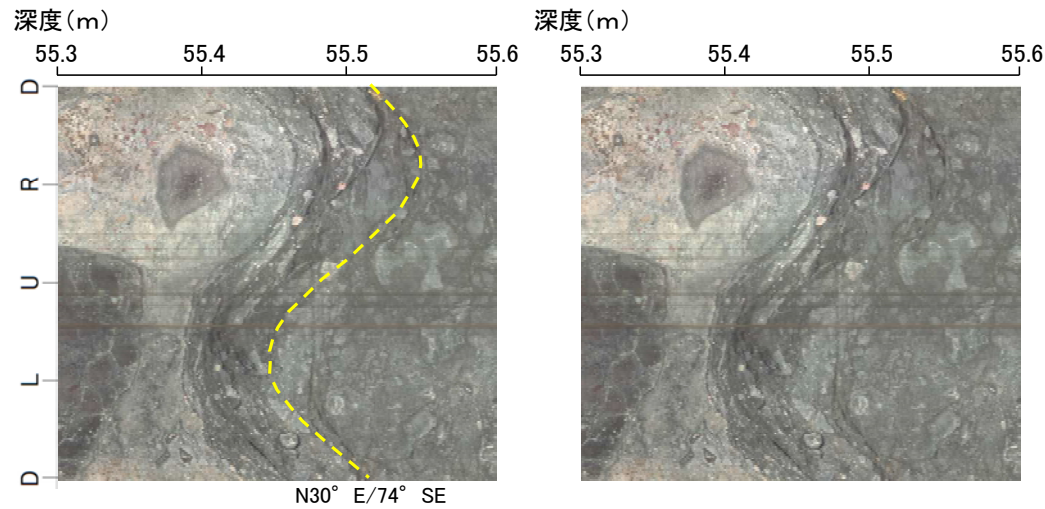


走向・傾斜が福浦断層と異なり, 隣接孔(OS-4孔)の想定延長範囲(31.5～37.4m)に対応する破碎部が認められない。

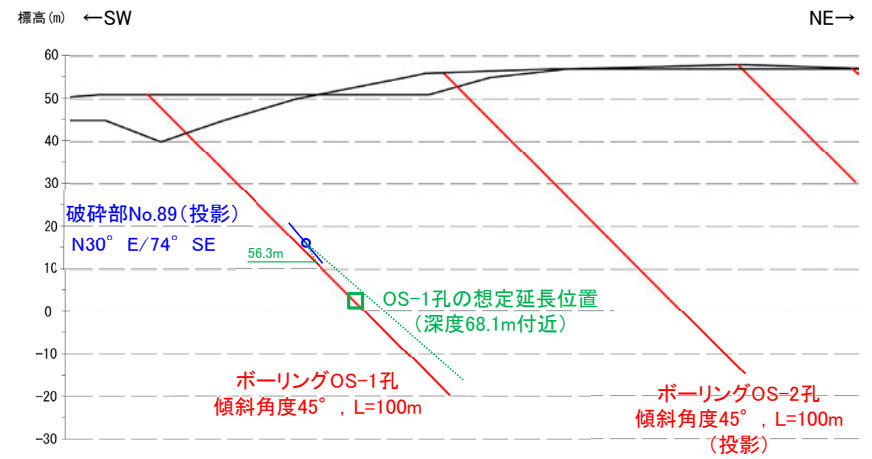
【破砕部の連続性確認(OS-9孔) (4/8)】



コア写真 — 破砕部



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



断面図

走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-1孔)の想定延長範囲(56.3~100.0m)に対応する破砕部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (5/8)】

深度(m) **破碎部No.90(OS-9孔)**
 61.0 61.1 61.2 61.3 61.4 61.5 61.6 61.7 61.8 61.9

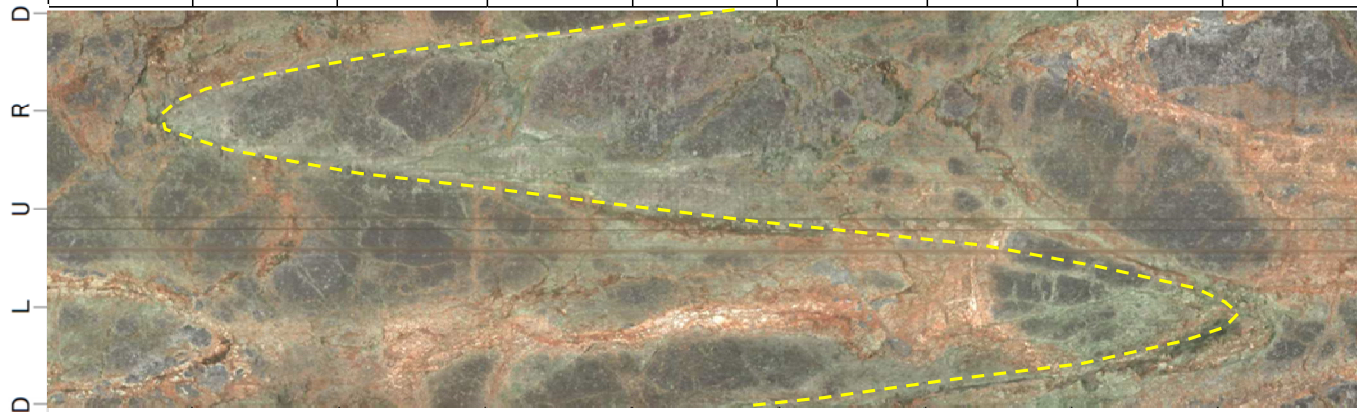


・厚さ0.3~1.1cmの
粘土状破碎部

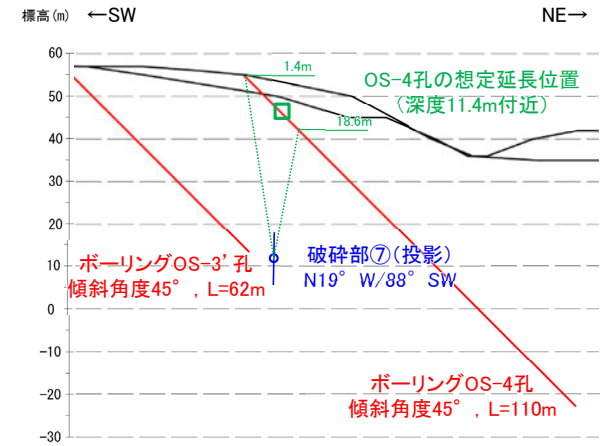
コア写真

== 破碎部

深度(m)
 61.0 61.1 61.2 61.3 61.4 61.5 61.6 61.7 61.8 61.9



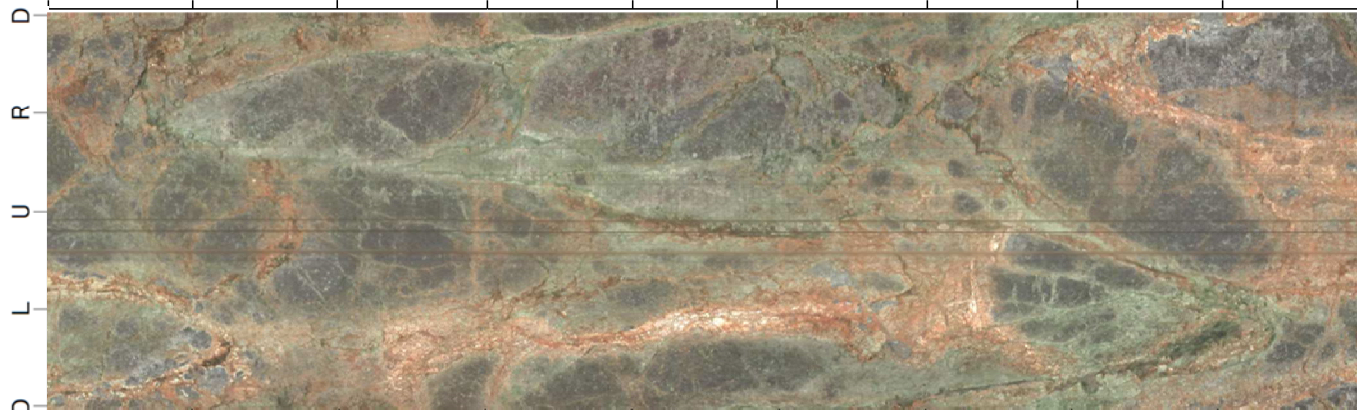
N19° W/88° SW



断面図

走向・傾斜が福浦断層と異なり、隣接孔(OS-4孔)の想定延長範囲(1.4~18.6m)に対応する破碎部が認められない。

深度(m)
 61.0 61.1 61.2 61.3 61.4 61.5 61.6 61.7 61.8 61.9



BHTV画像(上:加筆あり,下:加筆なし)

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (6/8)】

深度(m) 70.5 70.6 70.7 70.8

破碎部No.92(OS-9孔)

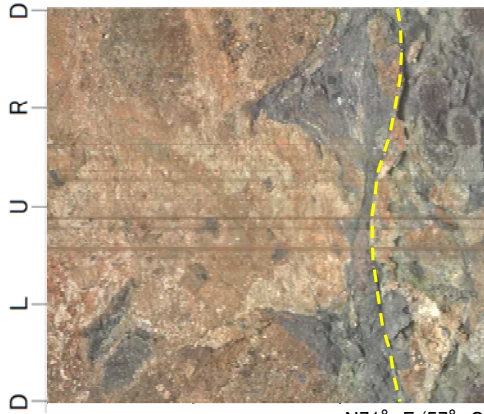


・厚さ5.4cmの角礫状破碎部

コア写真

== 破碎部

深度(m) 70.5 70.6 70.7 70.8

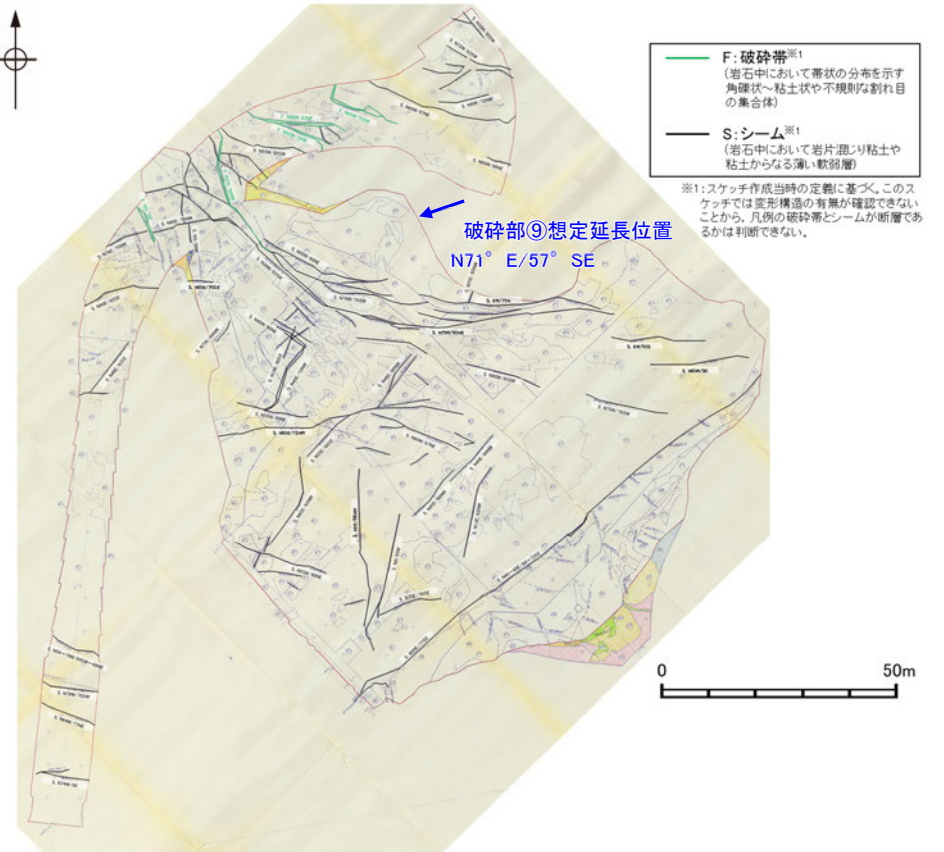


N71° E/57° SE

深度(m) 70.5 70.6 70.7 70.8



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

【福浦断層以外の破碎部の連続性確認(OS-9孔) (7/8)】

深度(m) 71.0 71.1 71.2 71.3

破碎部No.93(OS-9孔)

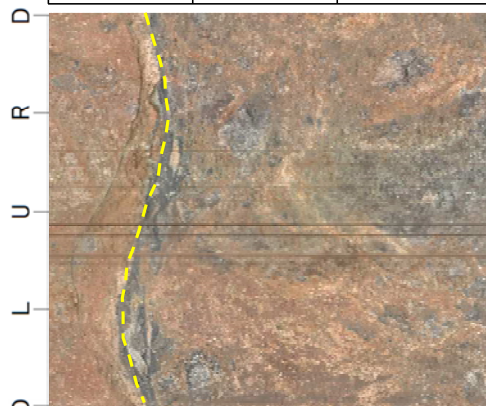


・厚さ0.1~0.5cmの粘土状破碎部及び厚さ0.6~2.0cmの固結した破碎部

コア写真

== 破碎部

深度(m) 71.0 71.1 71.2 71.3

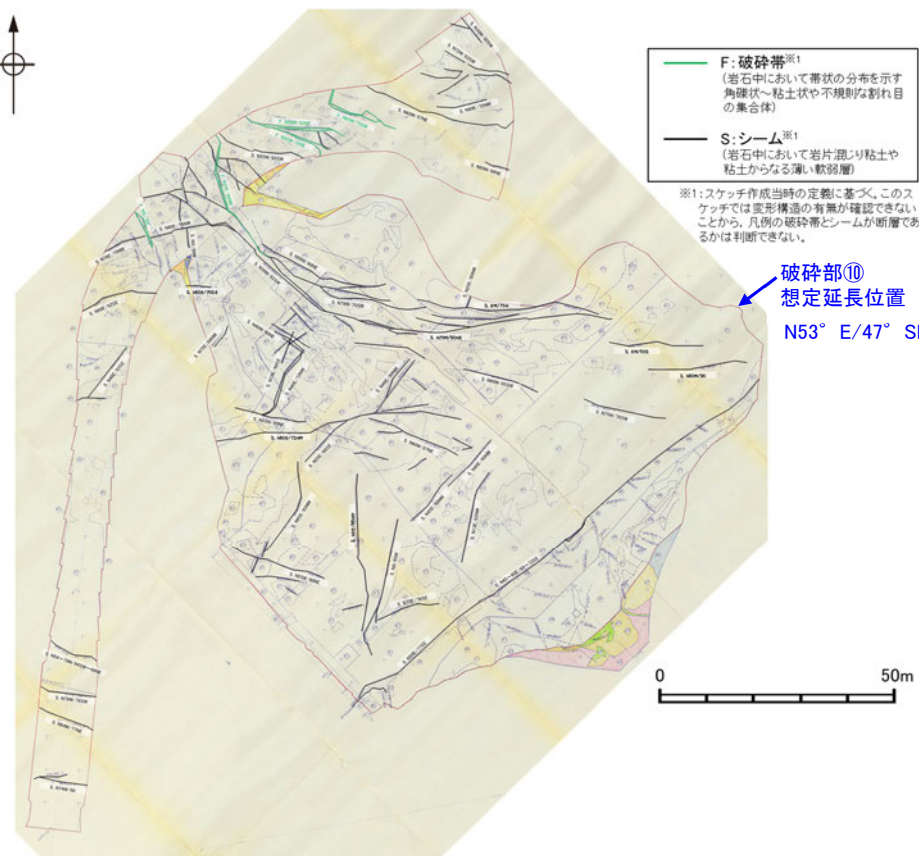


N53° E/47° SE

深度(m) 71.0 71.1 71.2 71.3



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)



大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

【破碎部の連続性確認(OS-9孔) (8/8)】

深度(m) **破碎部No.94(OS-9孔)**
79.5 79.6 79.7 79.8

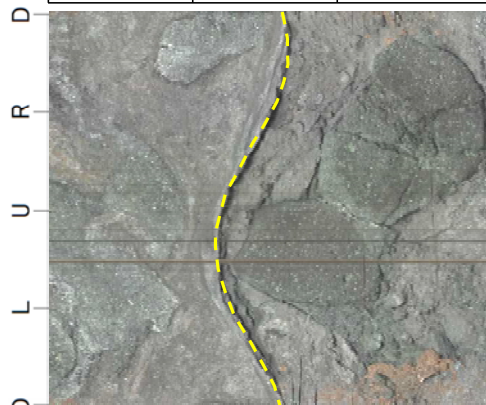


・厚さ0.2~0.7cmの粘土状破碎部及
び厚さ2.3~3.3cmの固結した破碎部

コア写真

== 破碎部

深度(m) 79.5 79.6 79.7 79.8

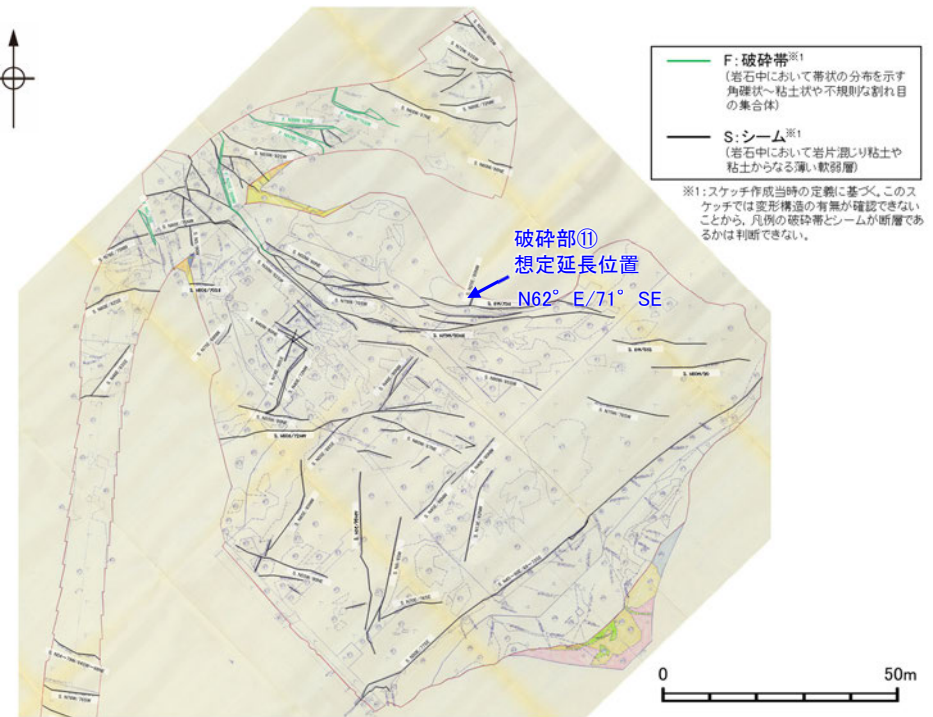


N62° E/71° SE

深度(m) 79.5 79.6 79.7 79.8



BHTV画像(左:加筆あり, 右:加筆なし)

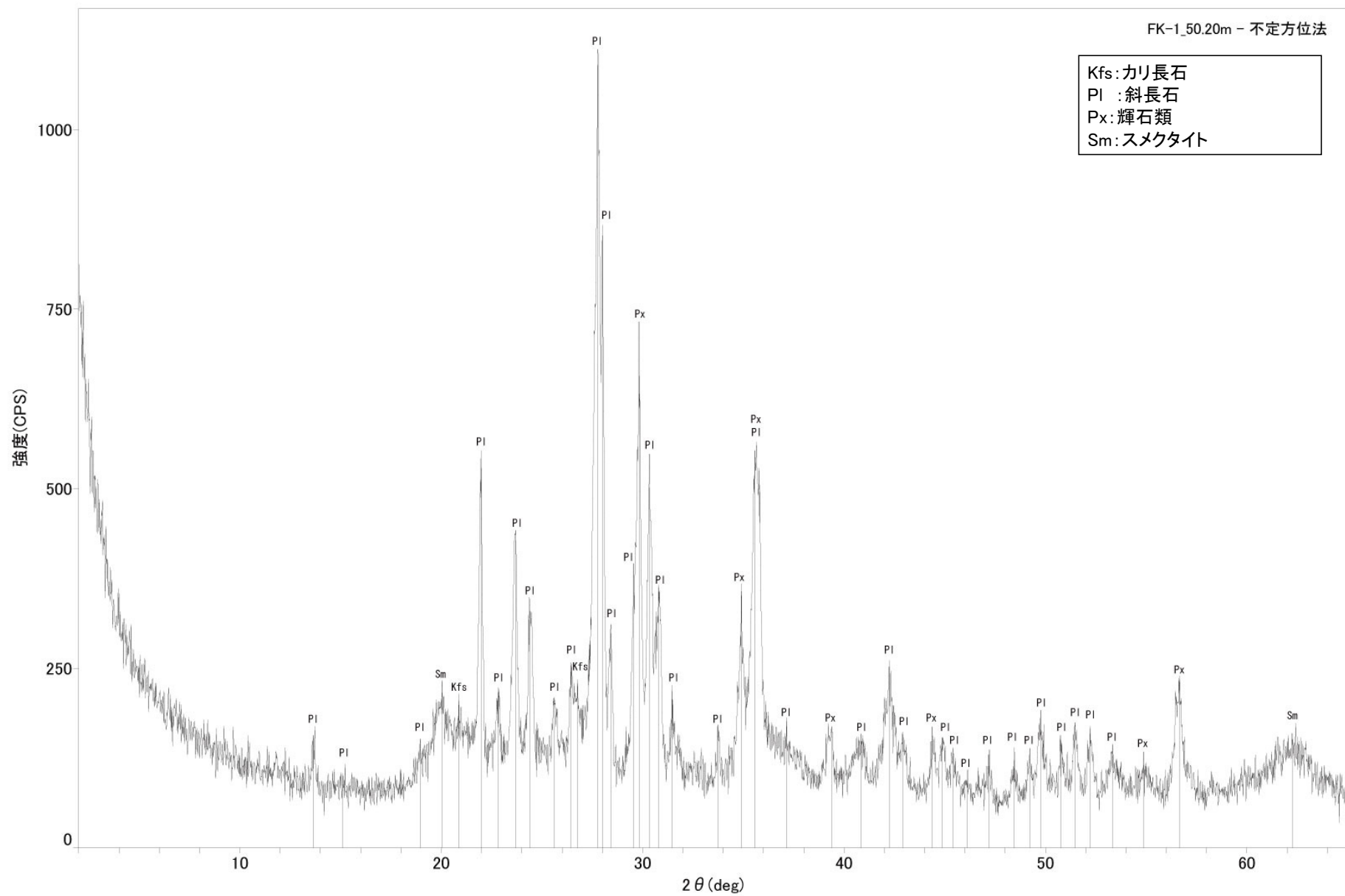


大坪川ダム基礎掘削面スケッチ

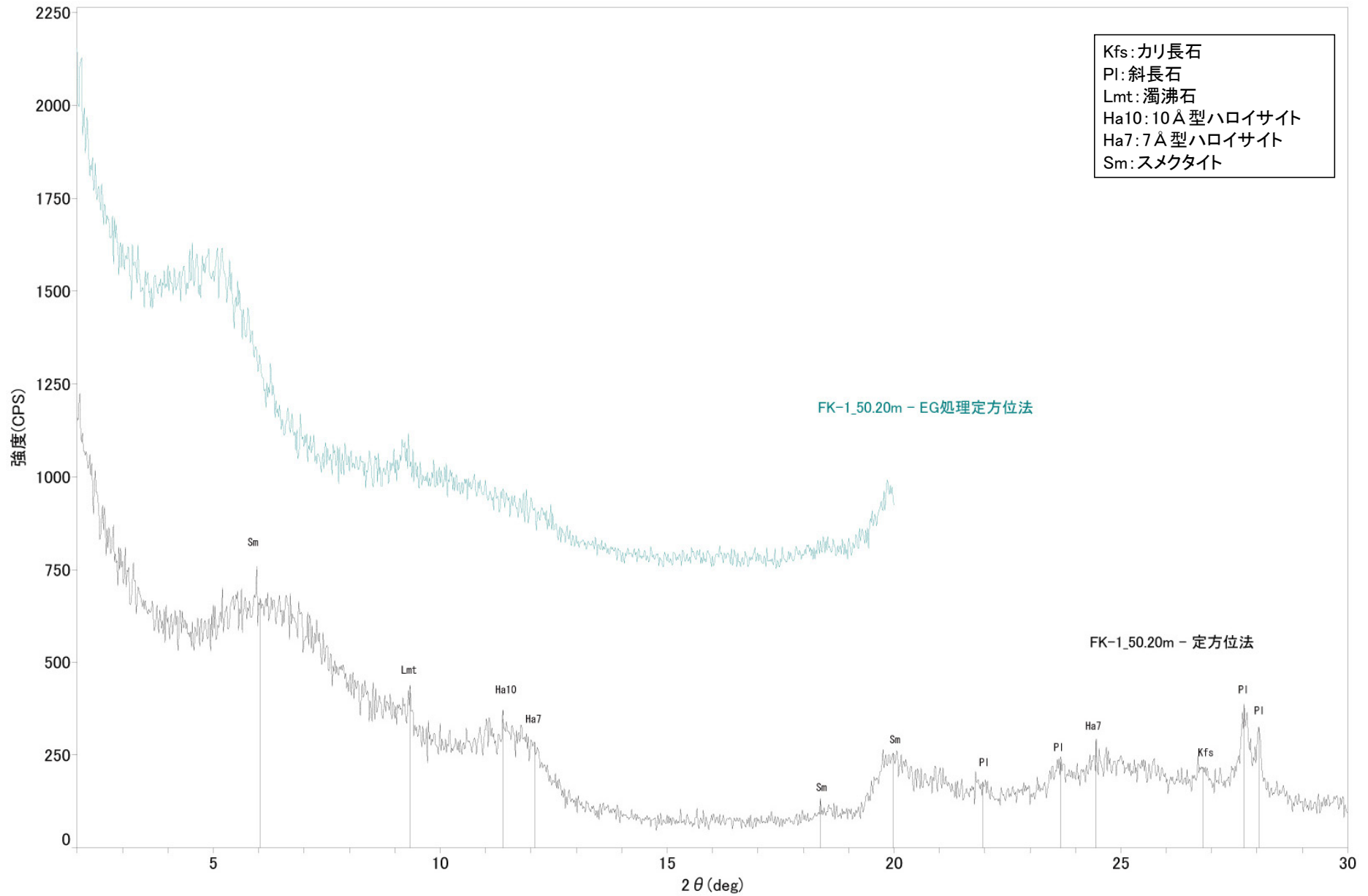
走向・傾斜が福浦断層と異なり、大坪川ダム基礎掘削面の想定延長位置に対応する破碎部が認められない。

(8)FK-1孔, 大坪川ダム右岸トレンチ XRD分析

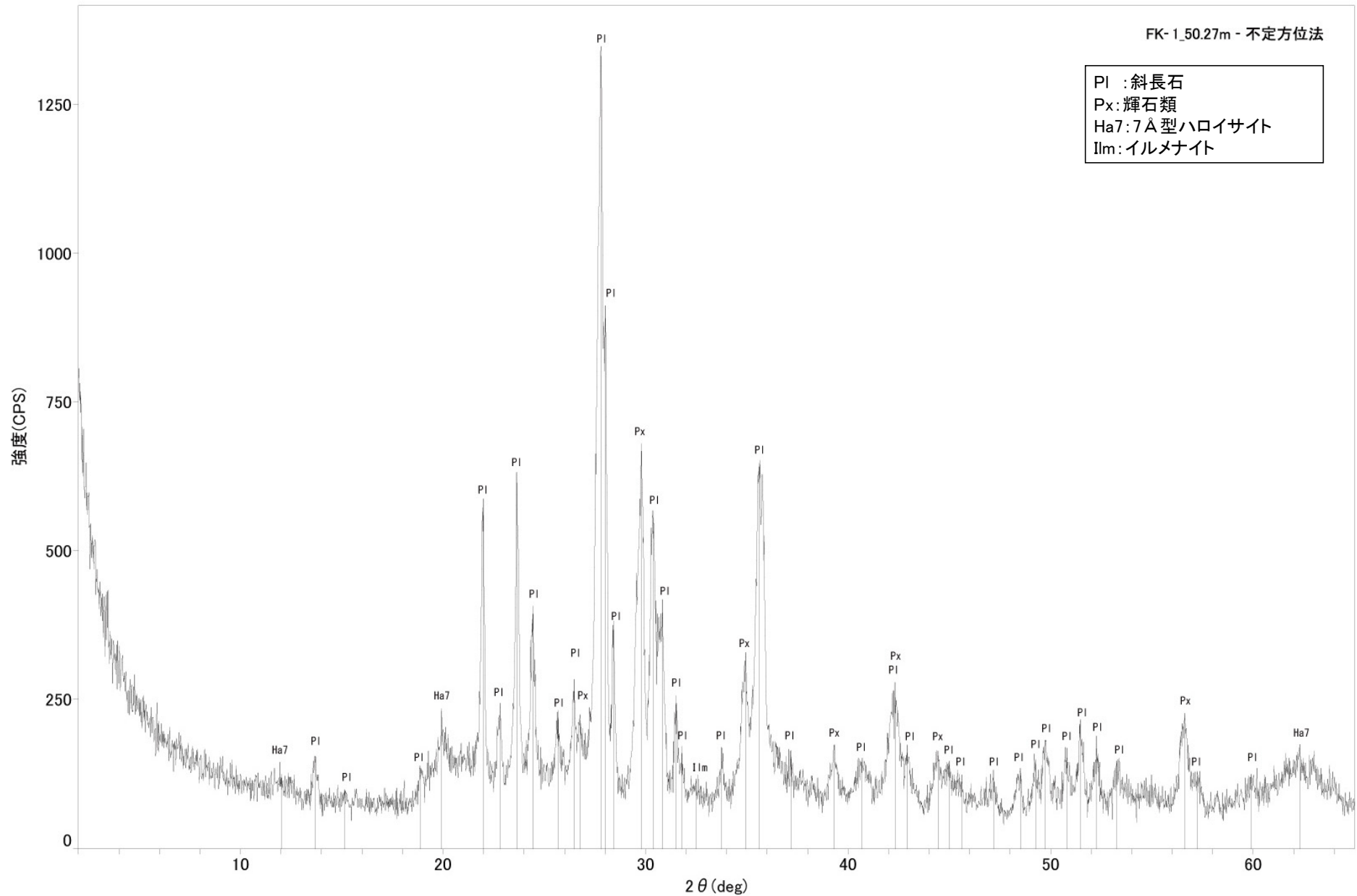
FK-1孔 50.20m -X線回折チャート 不定方位-



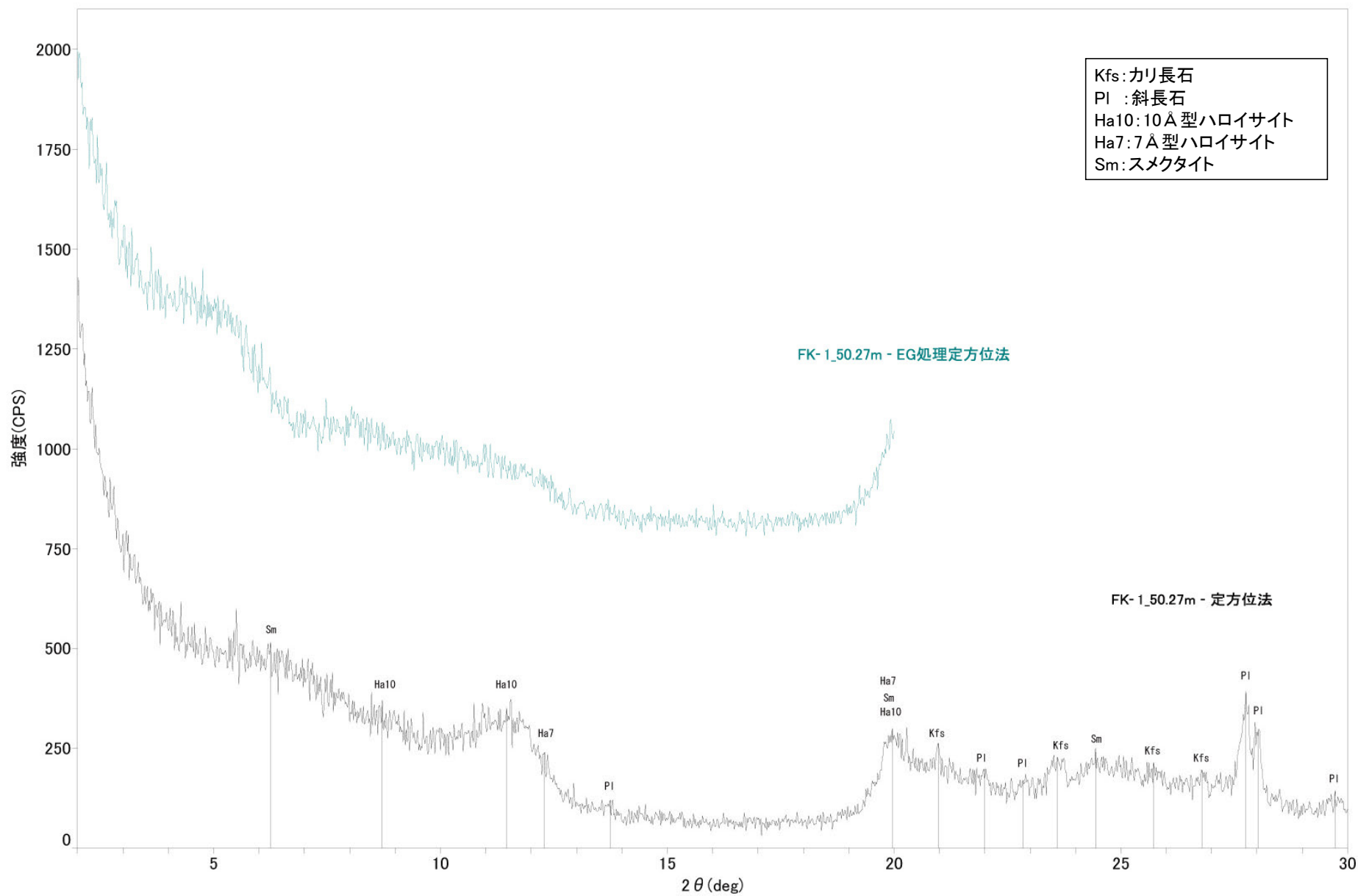
FK-1孔 50.20m - X線回折チャート 定方位 -



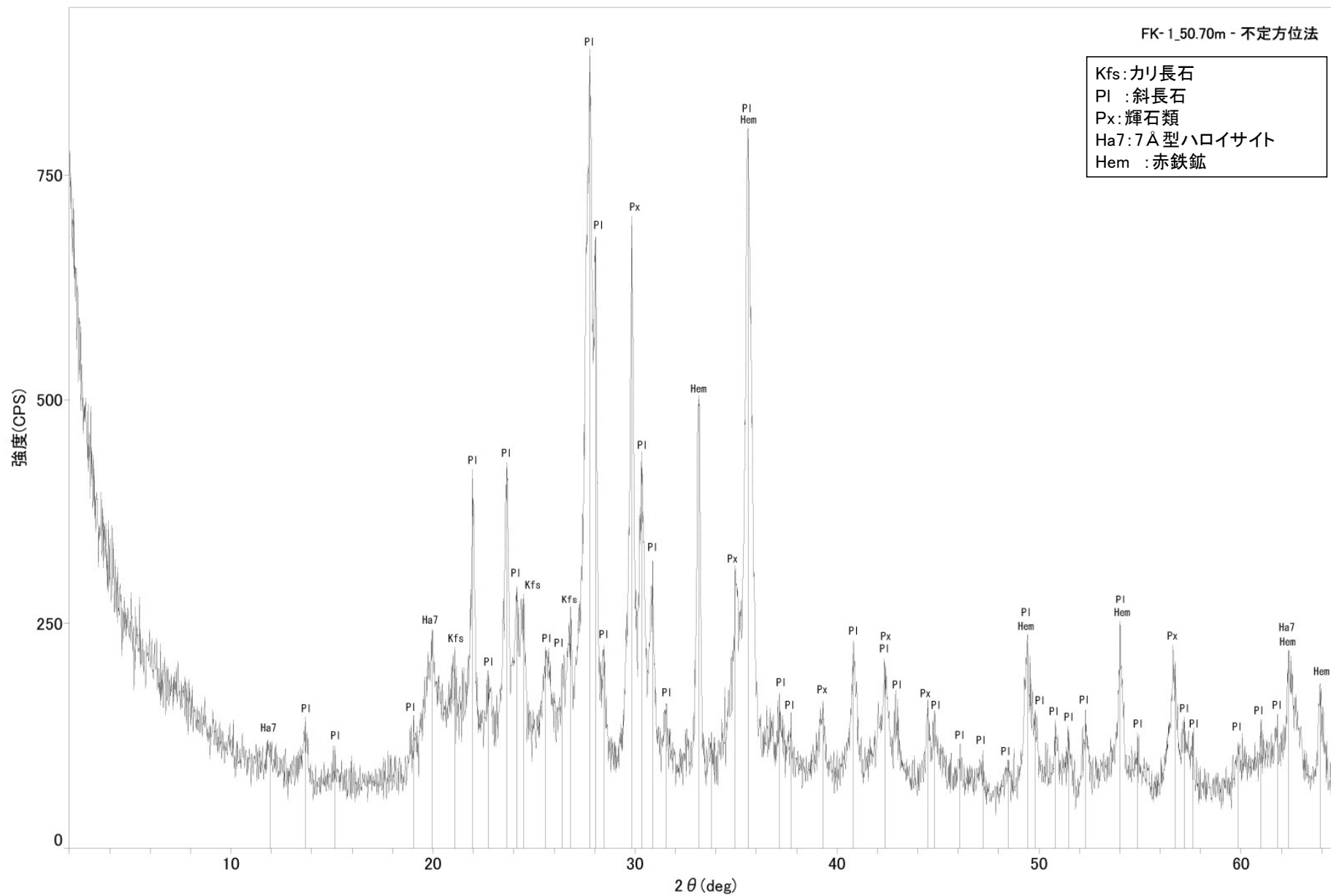
FK-1孔 50.27m -X線回折チャート 不定方位-



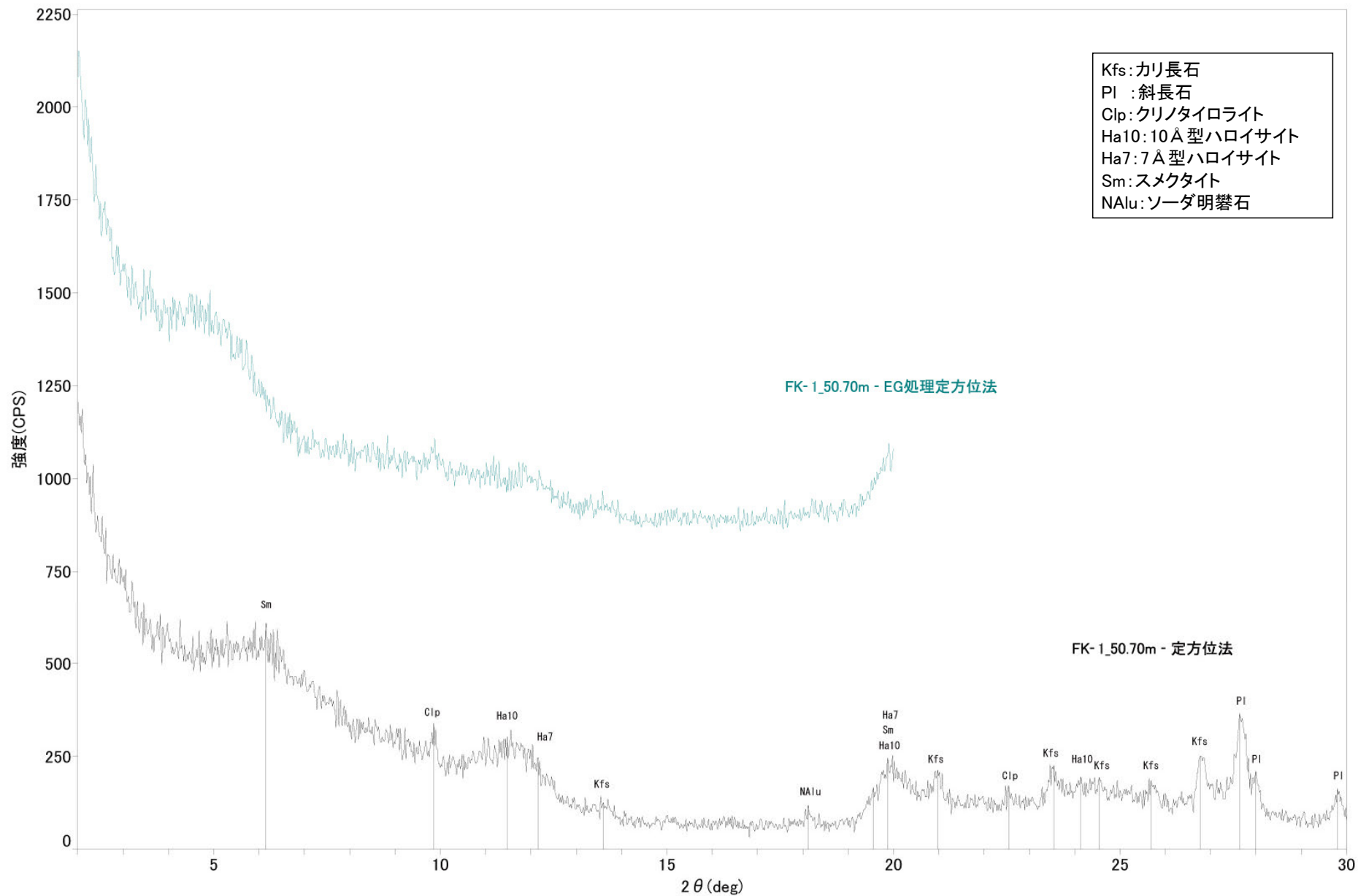
FK-1孔 50.27m -X線回折チャート 定方位-



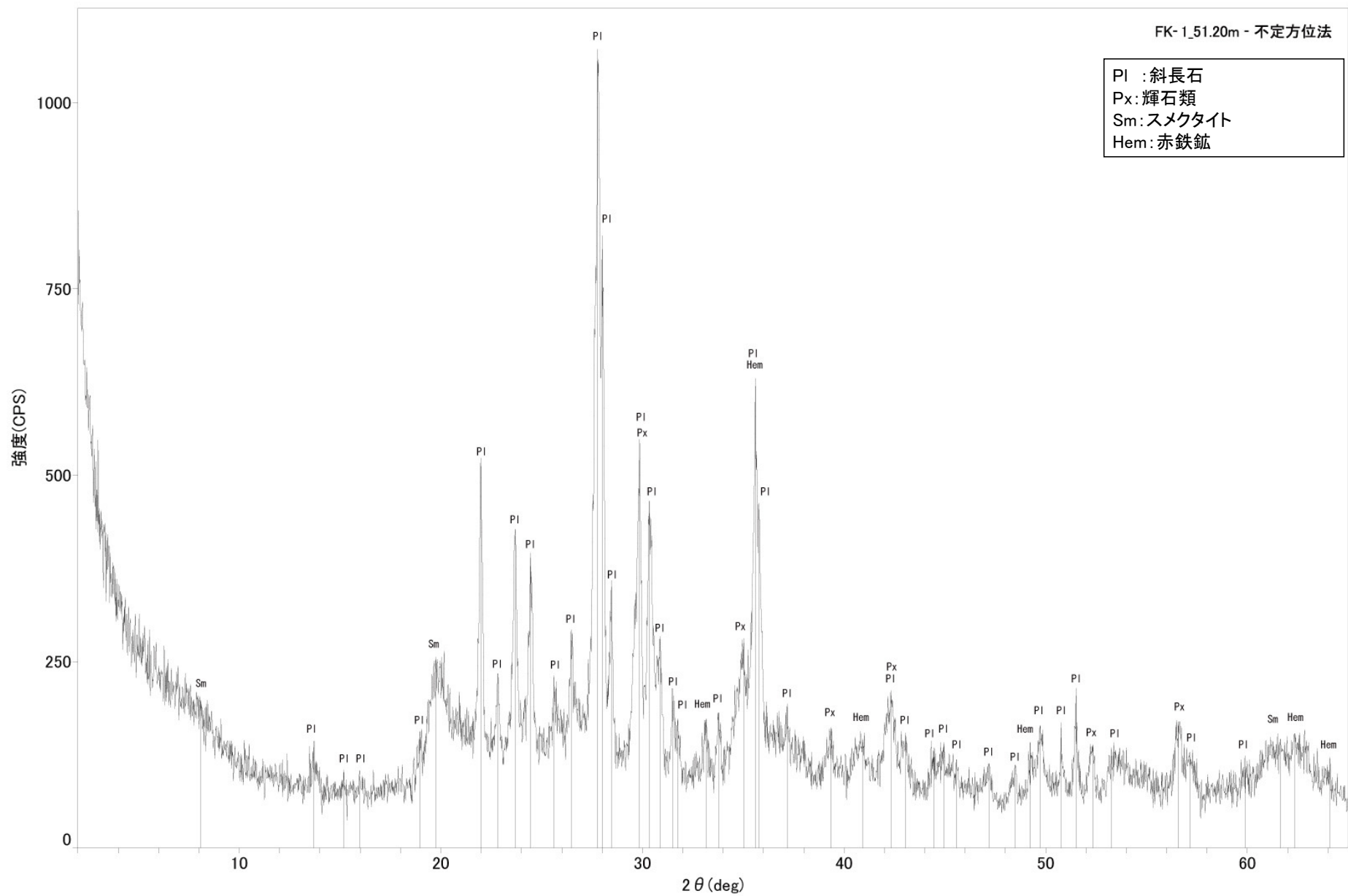
FK-1孔 50.70m -X線回折チャート 不定方位-



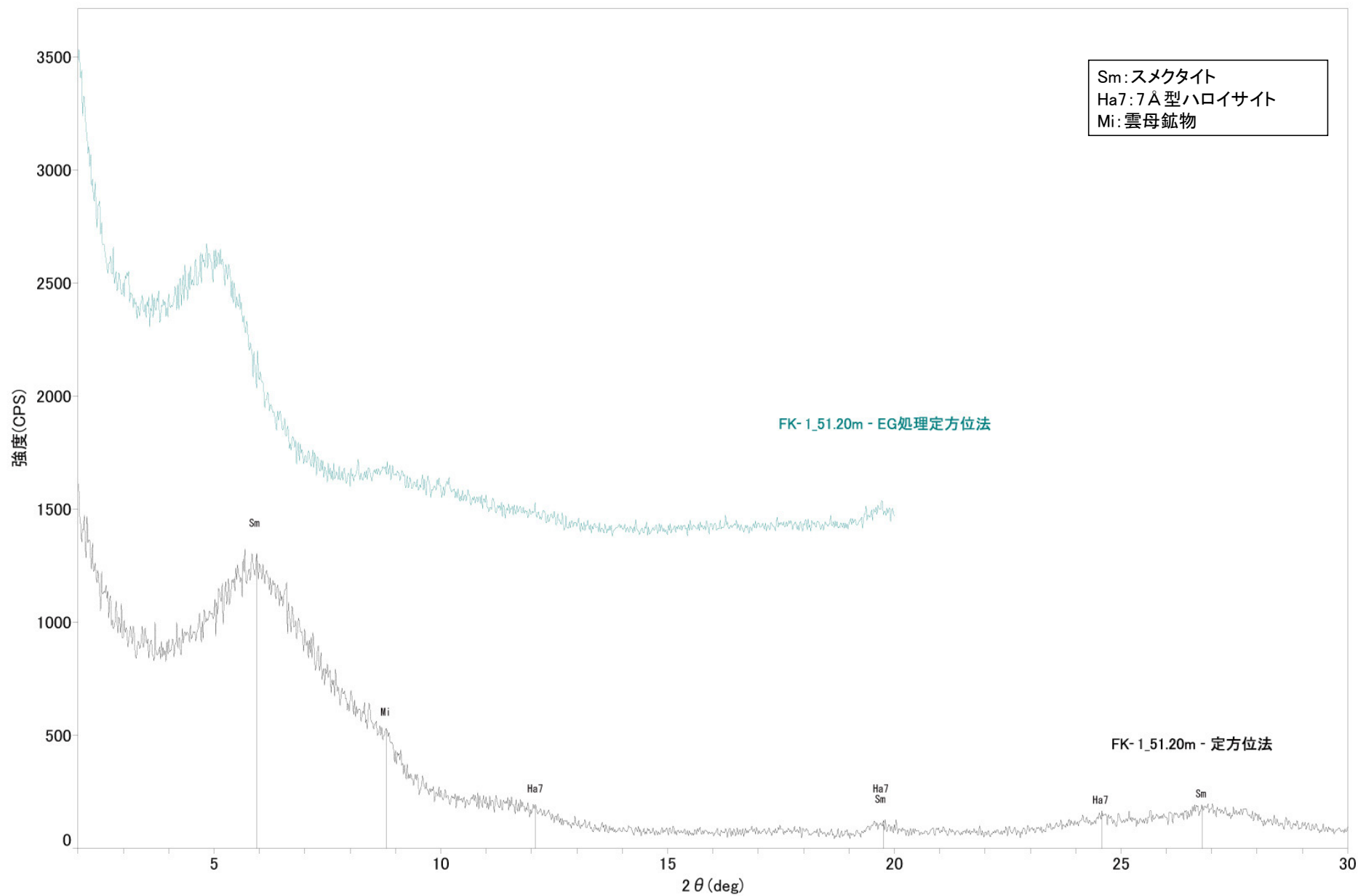
FK-1孔 50.70m -X線回折チャート 定方位-



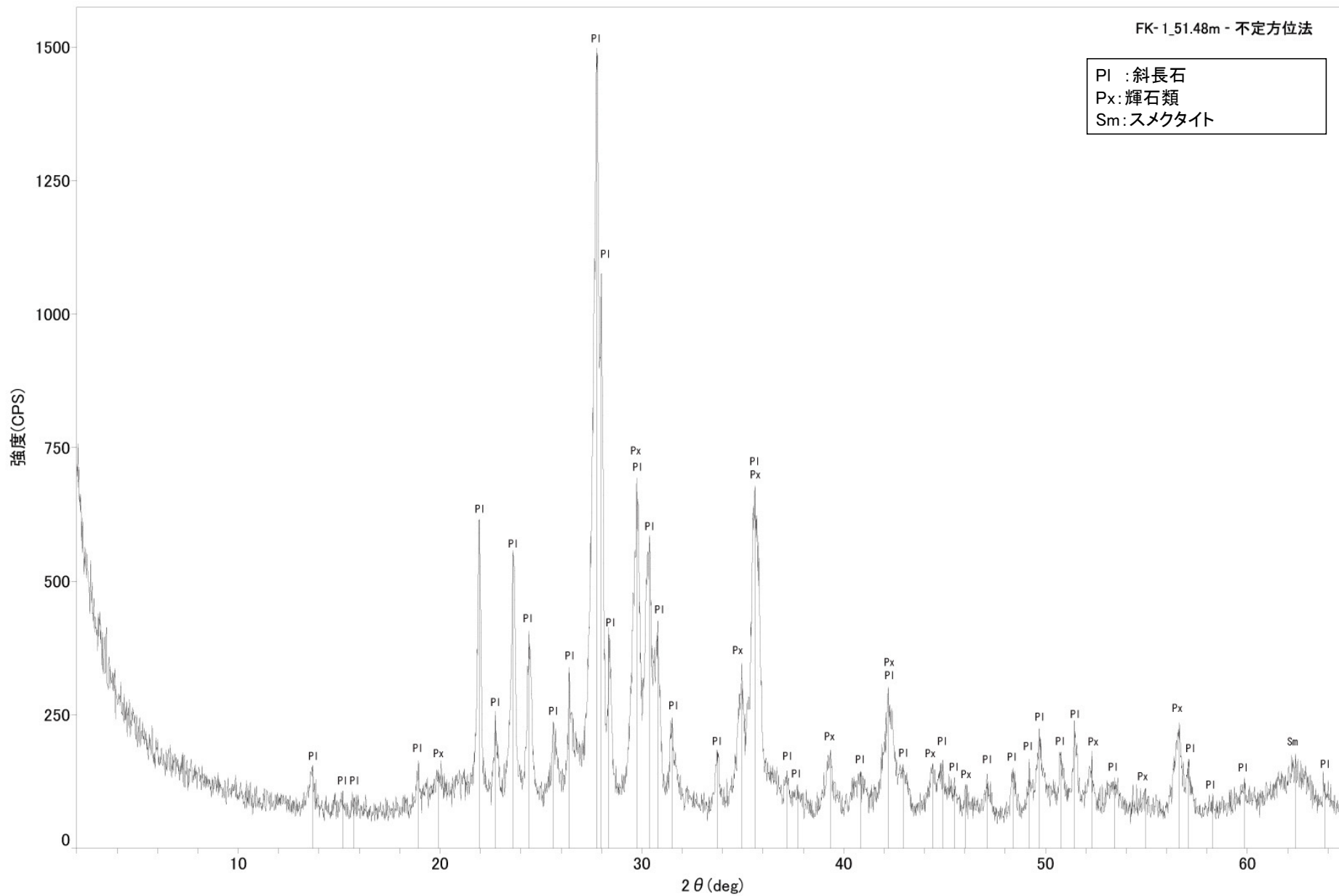
FK-1孔 51.20m -X線回折チャート 不定方位-



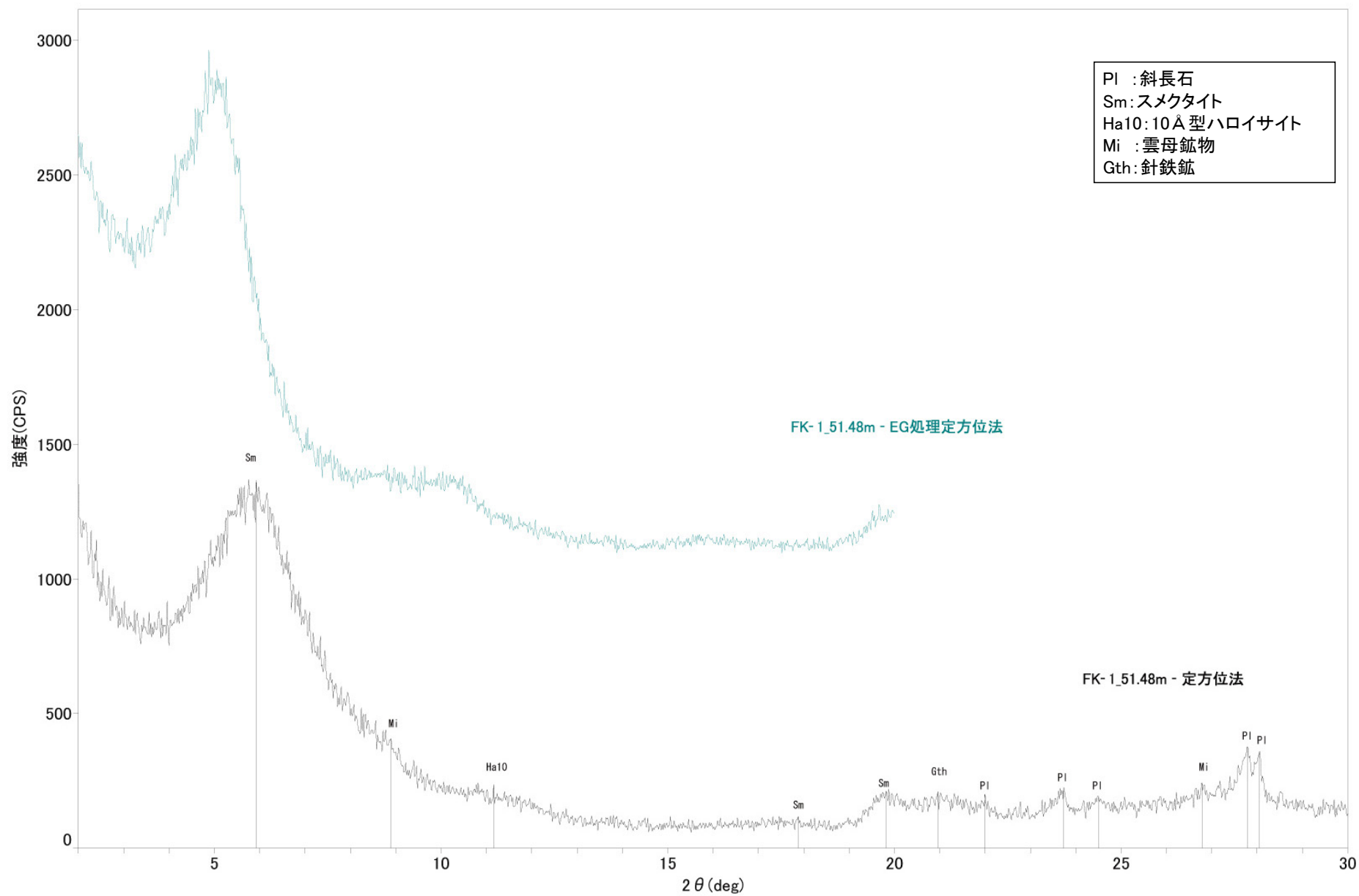
FK-1孔 51.20m -X線回折チャート 定方位-



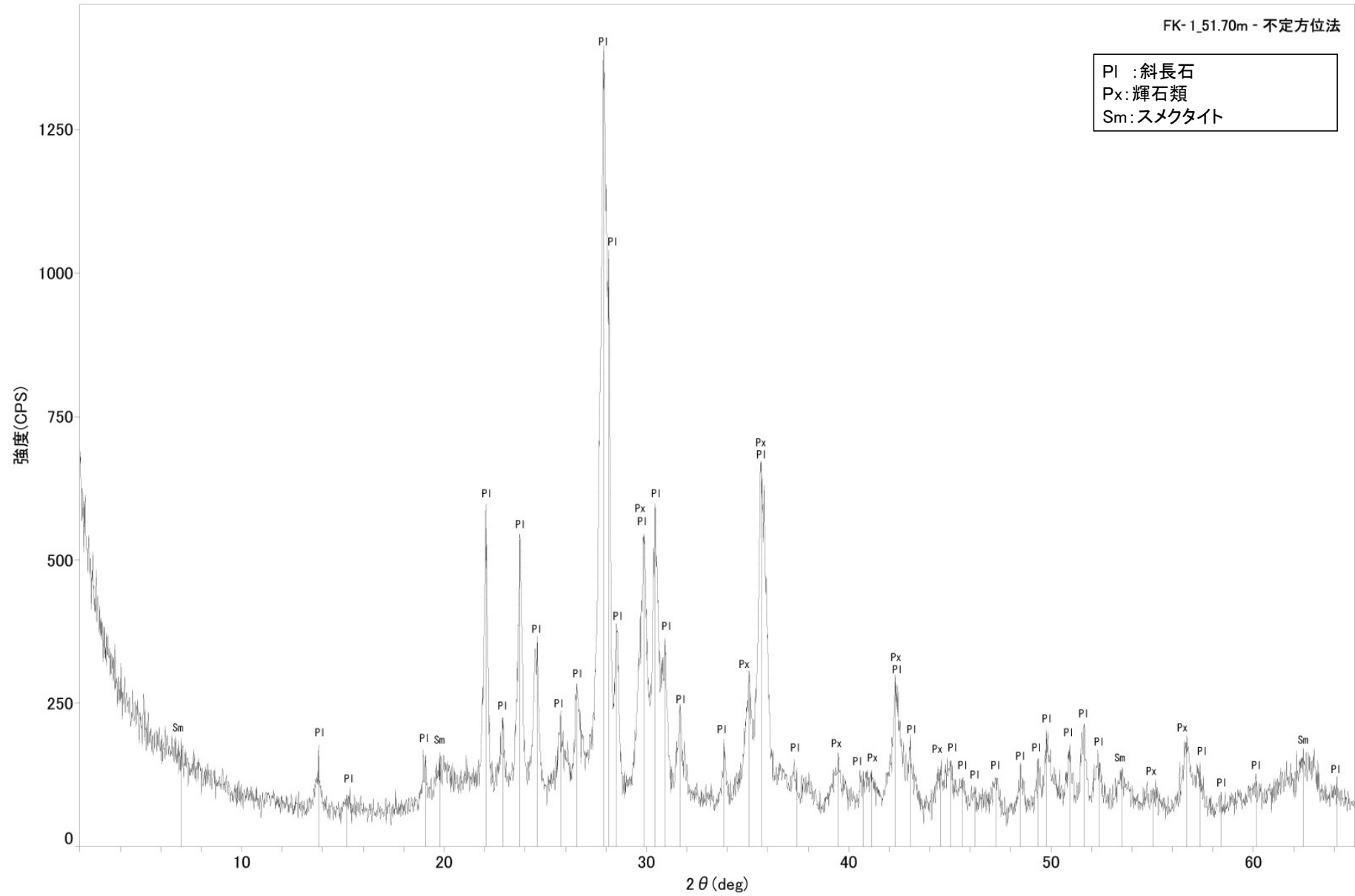
FK-1孔 51.48m -X線回折チャート 不定方位-



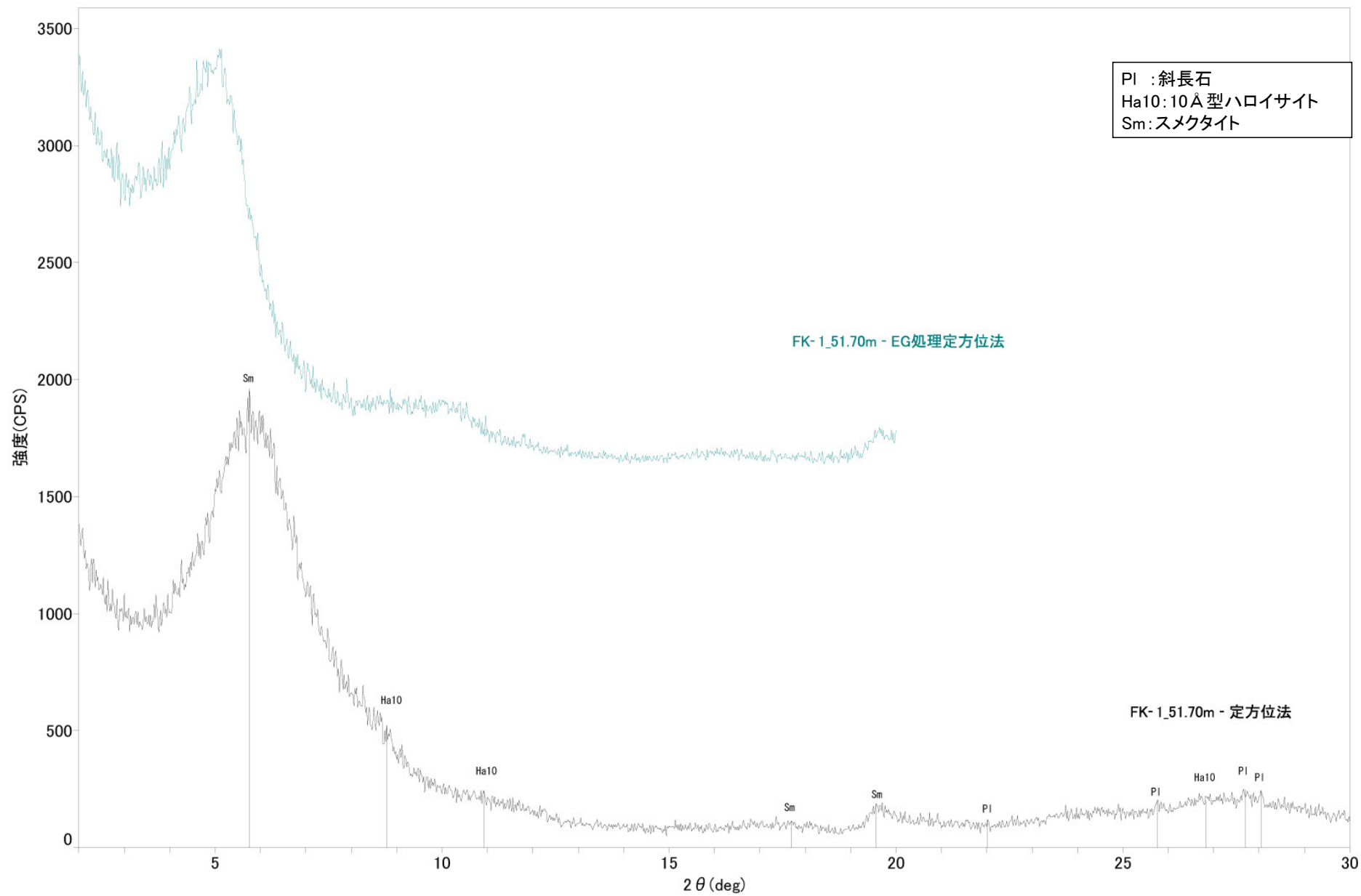
FK-1孔 51.48m -X線回折チャート 定方位-



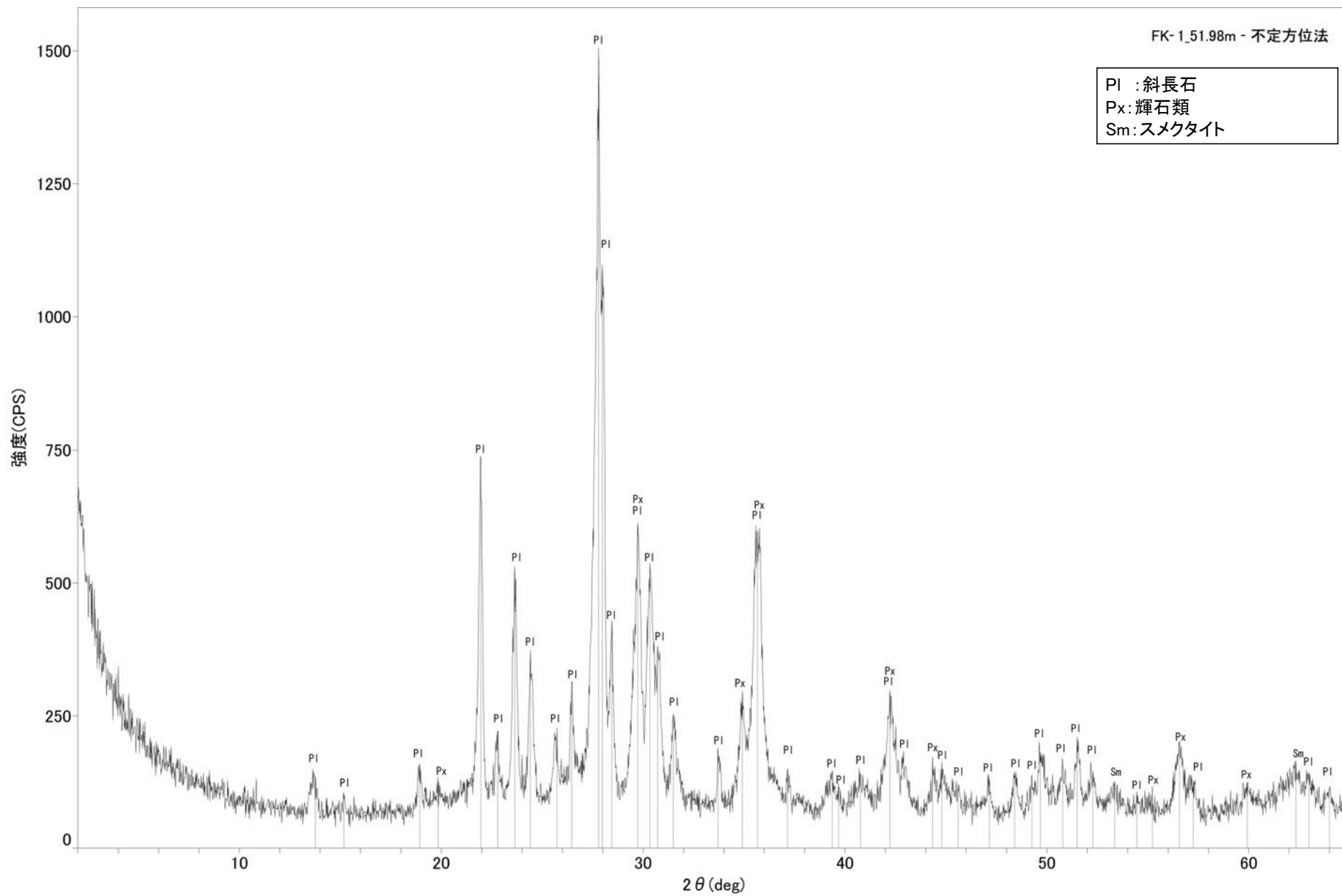
FK-1孔 51.70m -X線回折チャート 不定方位-



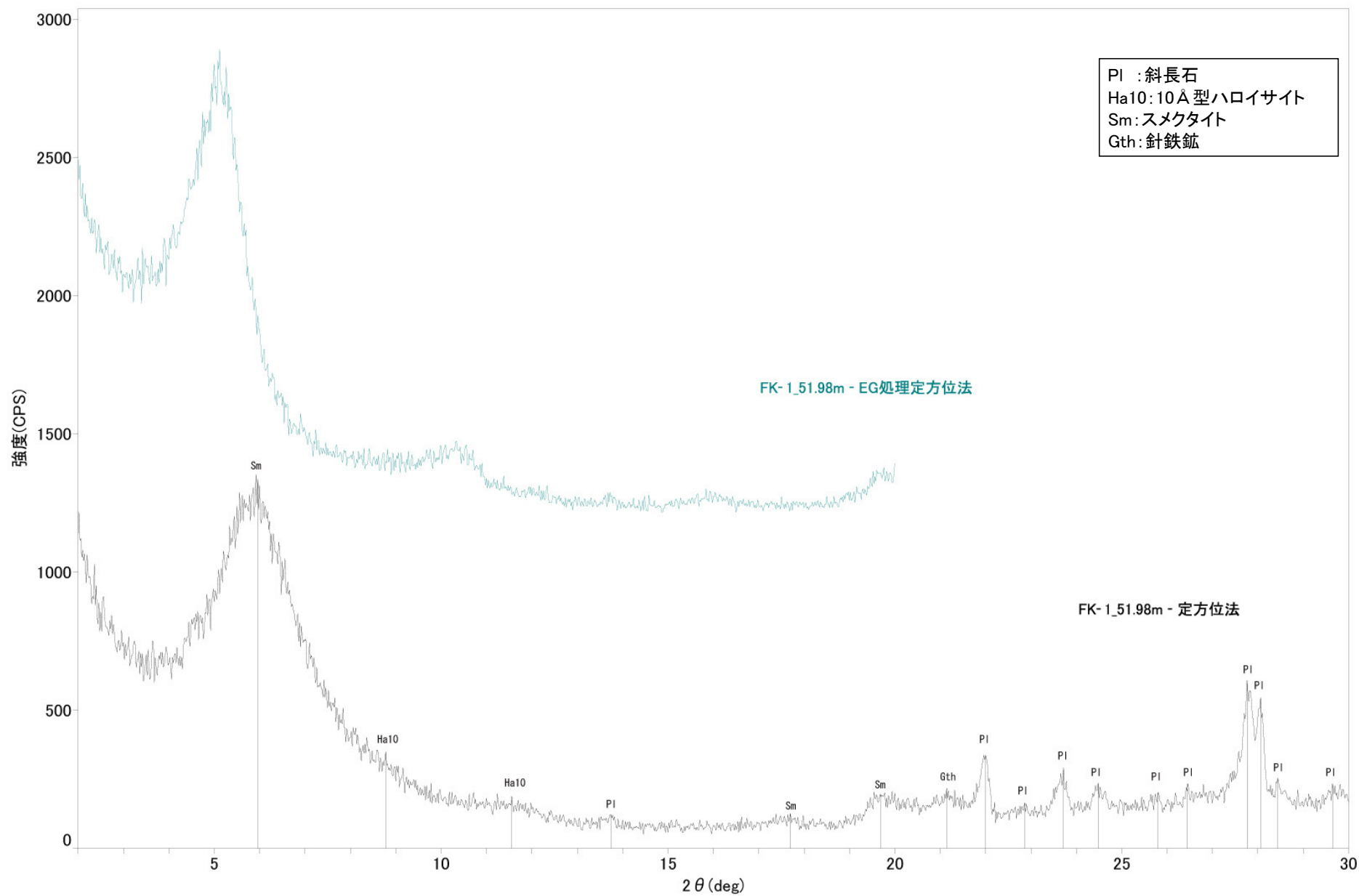
FK-1孔 51.70m -X線回折チャート 定方位-



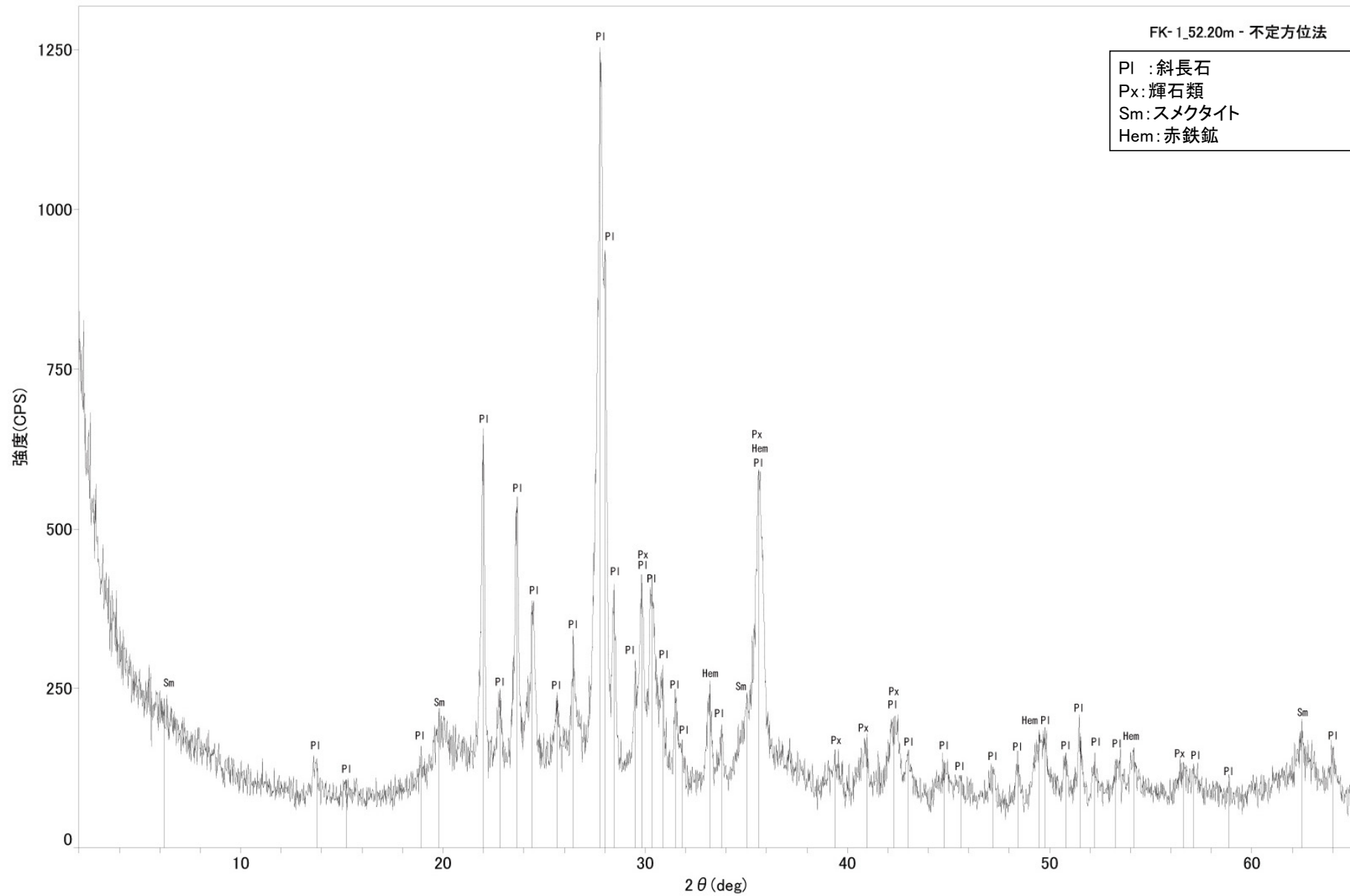
FK-1孔 51.98m -X線回折チャート 不定方位-



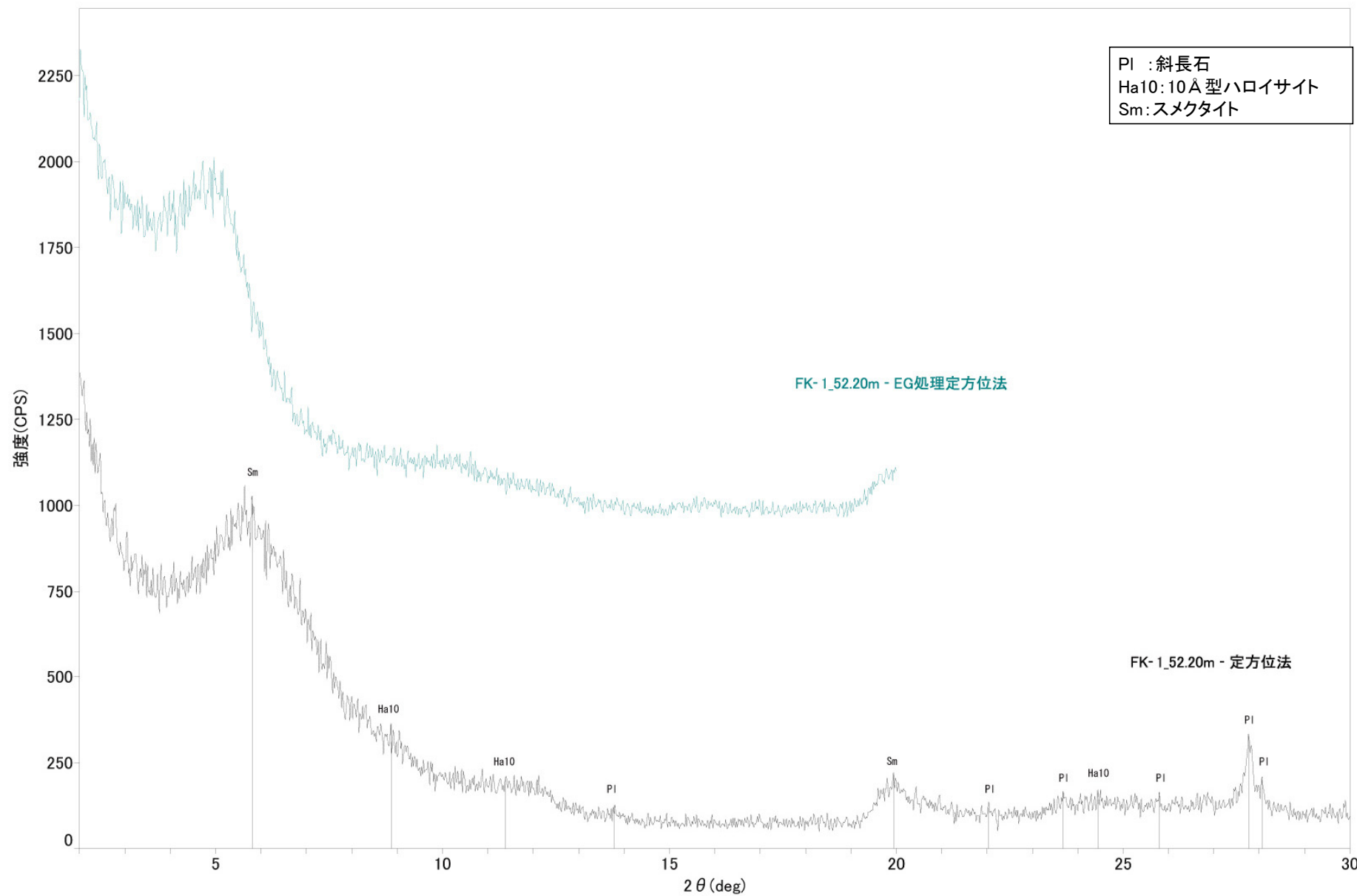
FK-1孔 51.98m -X線回折チャート 定方位-



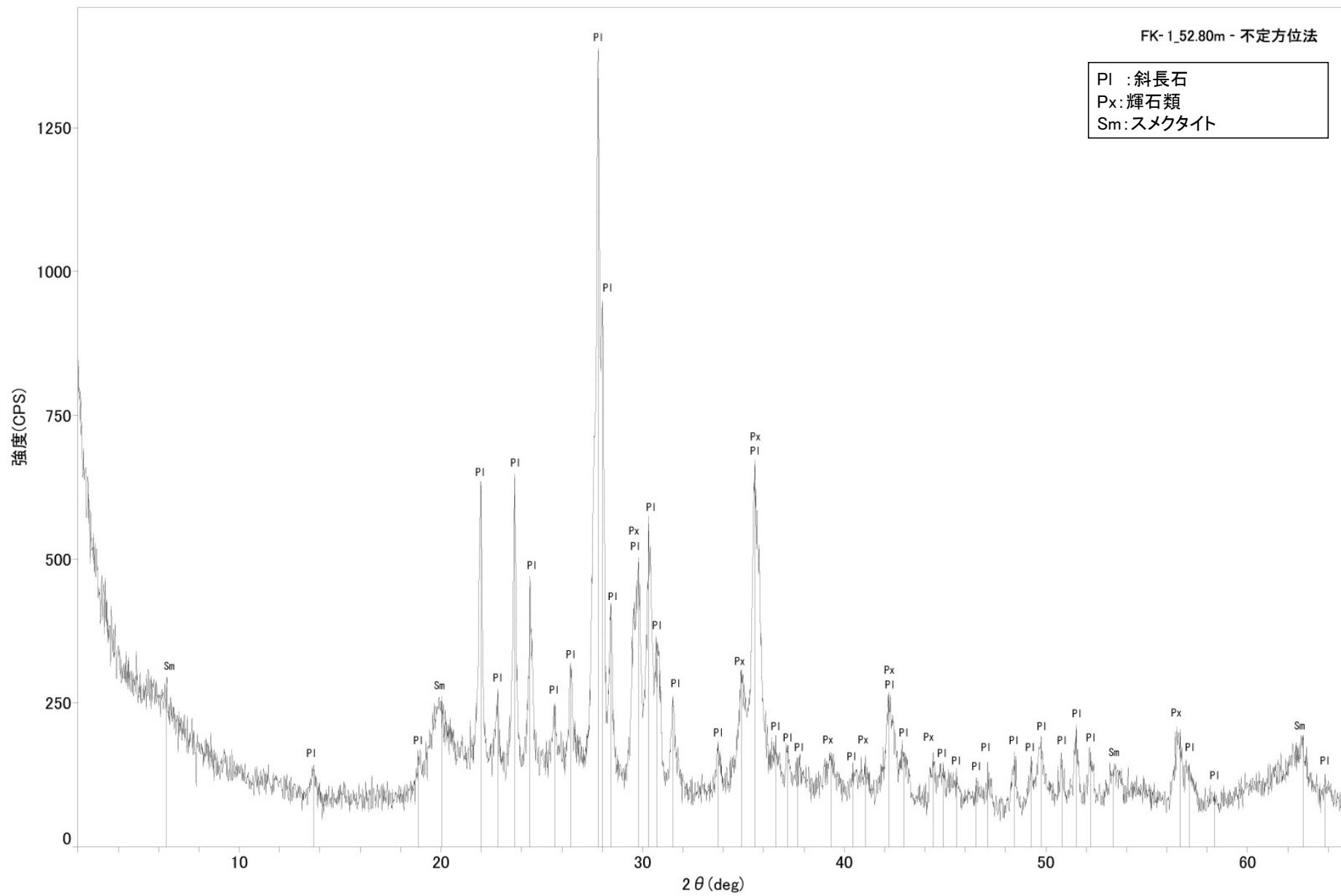
FK-1孔 52.20m -X線回折チャート 不定方位-



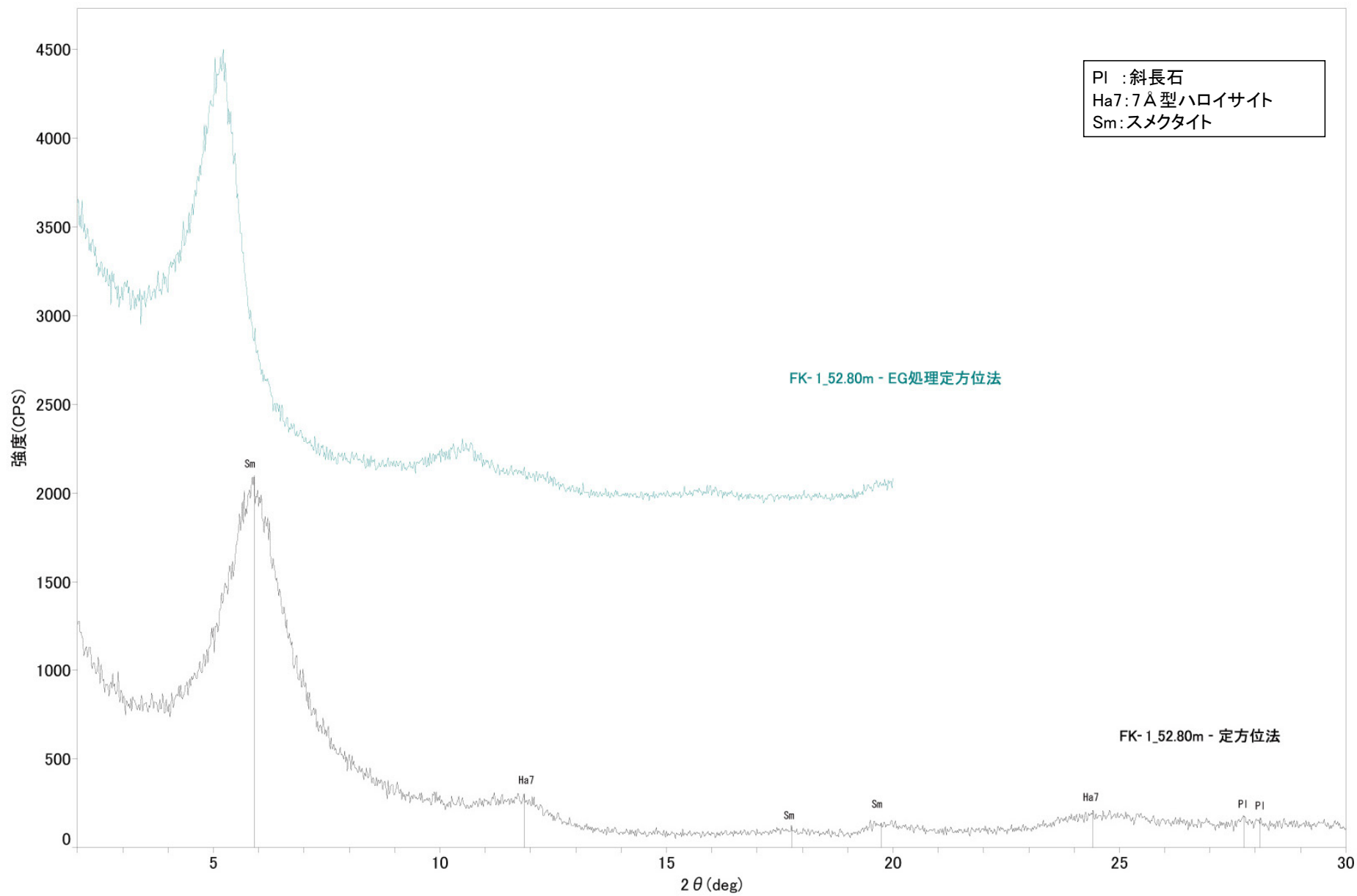
FK-1孔 52.20m -X線回折チャート 定方位-



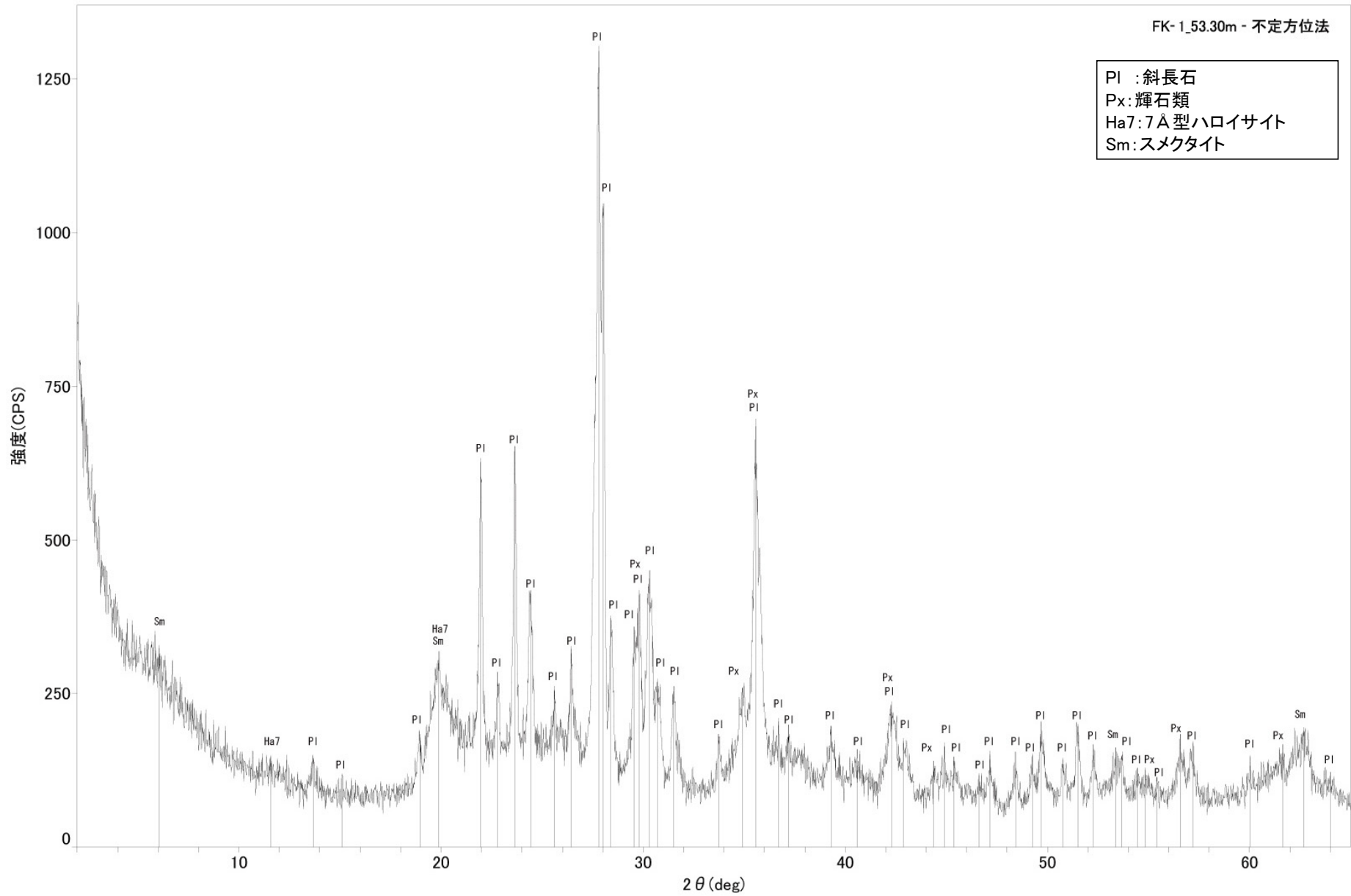
FK-1孔 52.80m -X線回折チャート 不定方位-



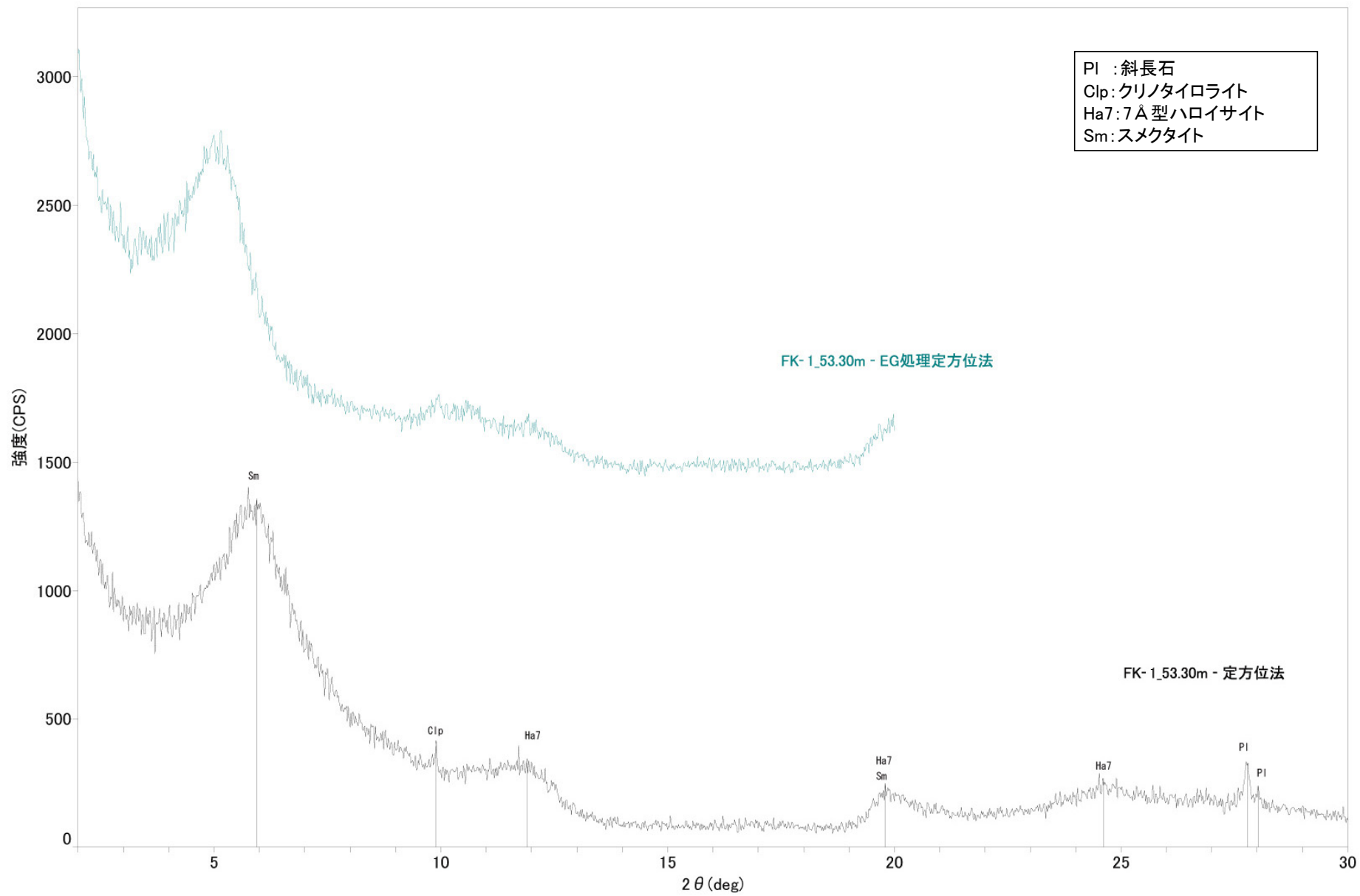
FK-1孔 52.80m -X線回折チャート 定方位-



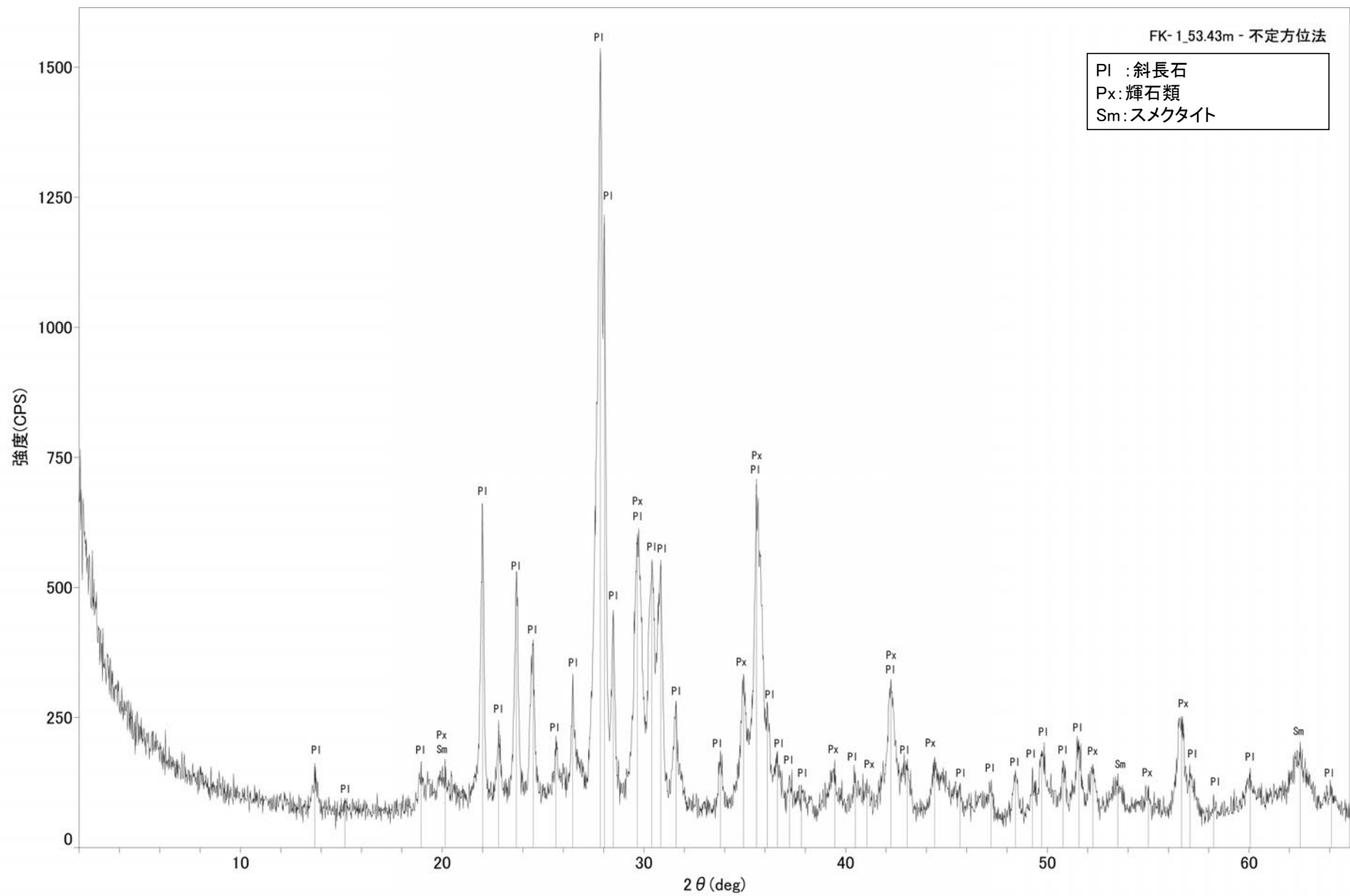
FK-1孔 53.30m -X線回折チャート 不定方位-



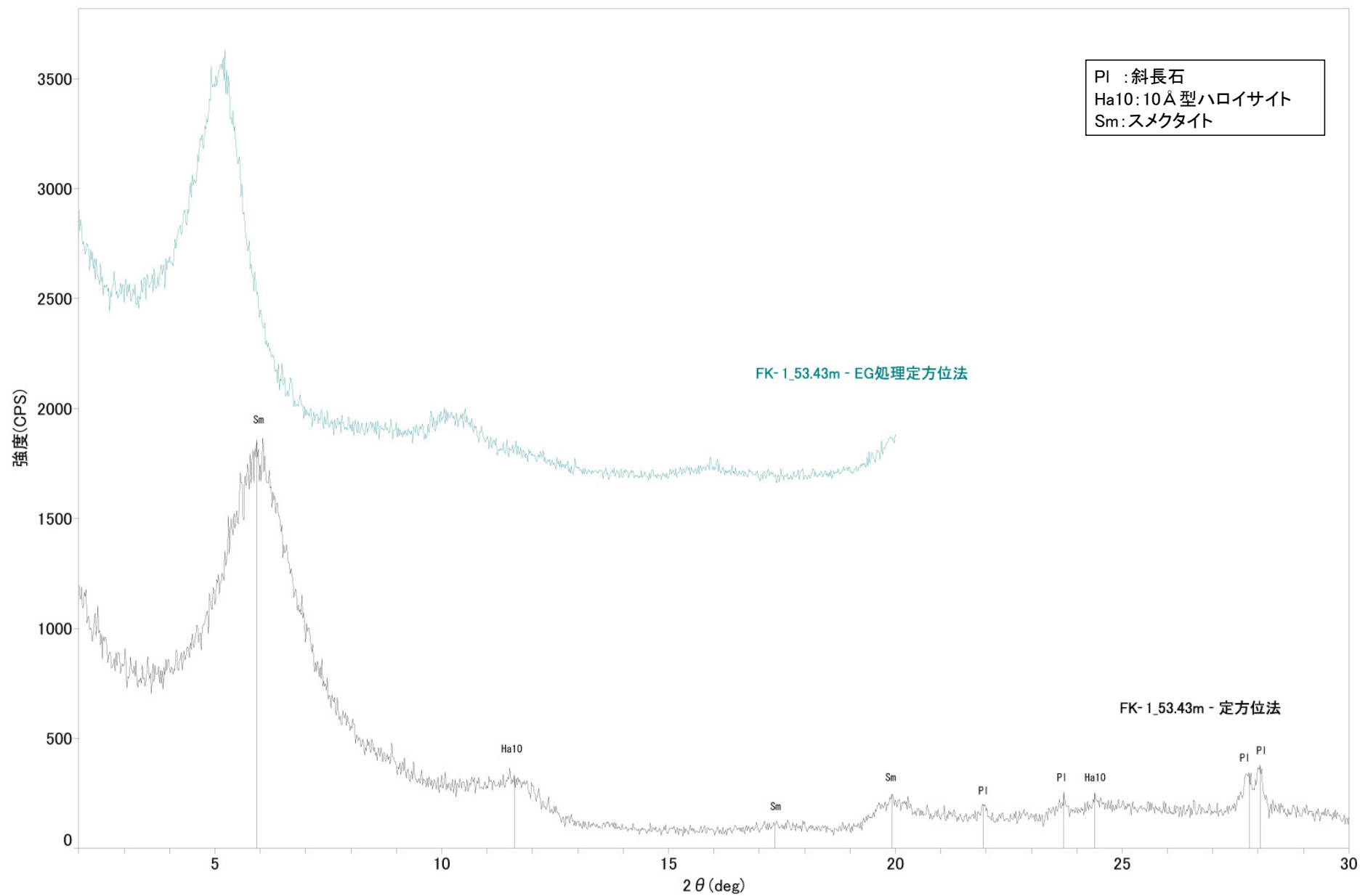
FK-1孔 53.30m -X線回折チャート 定方位-



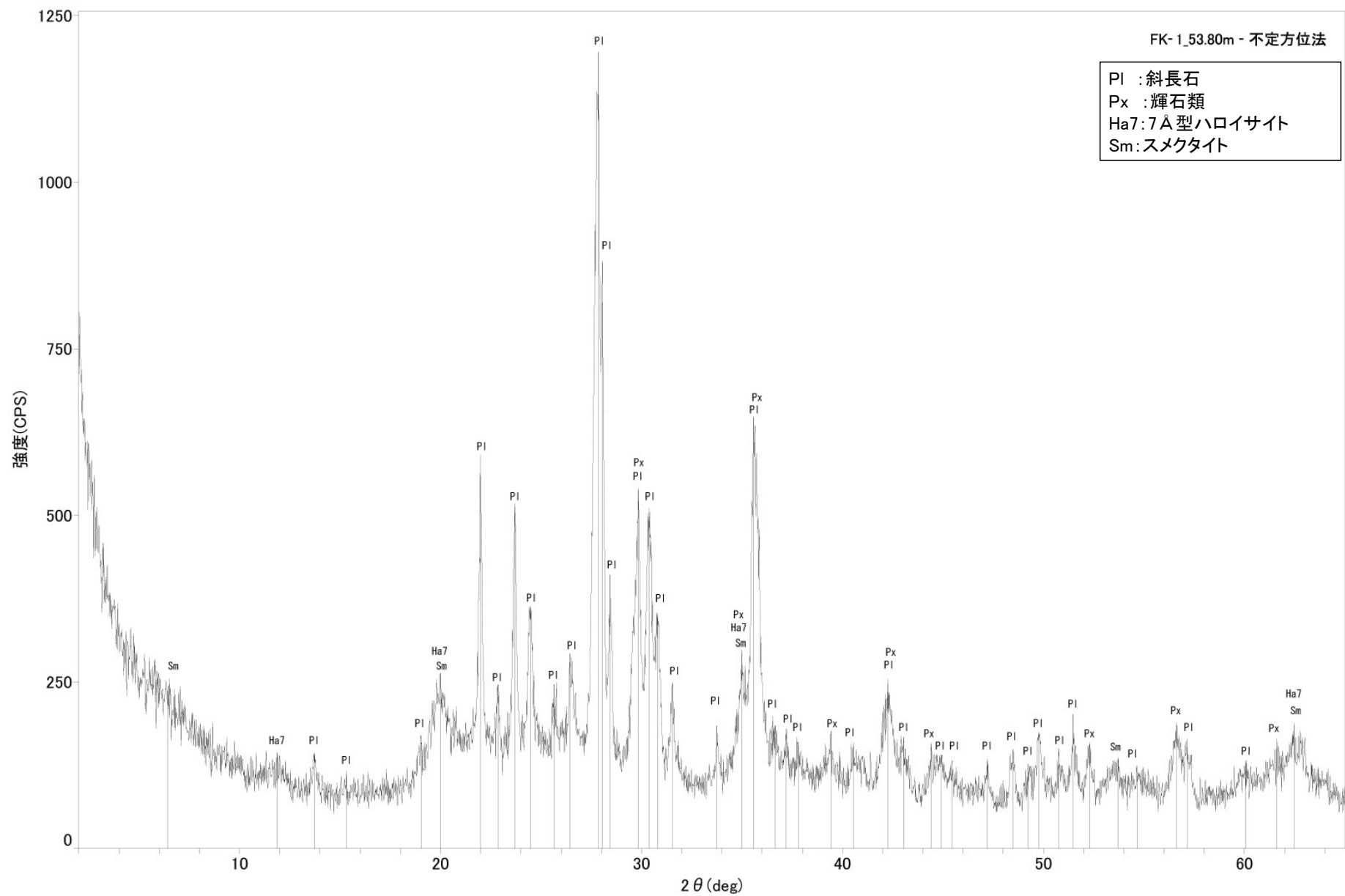
FK-1孔 53.43m -X線回折チャート 不定方位-



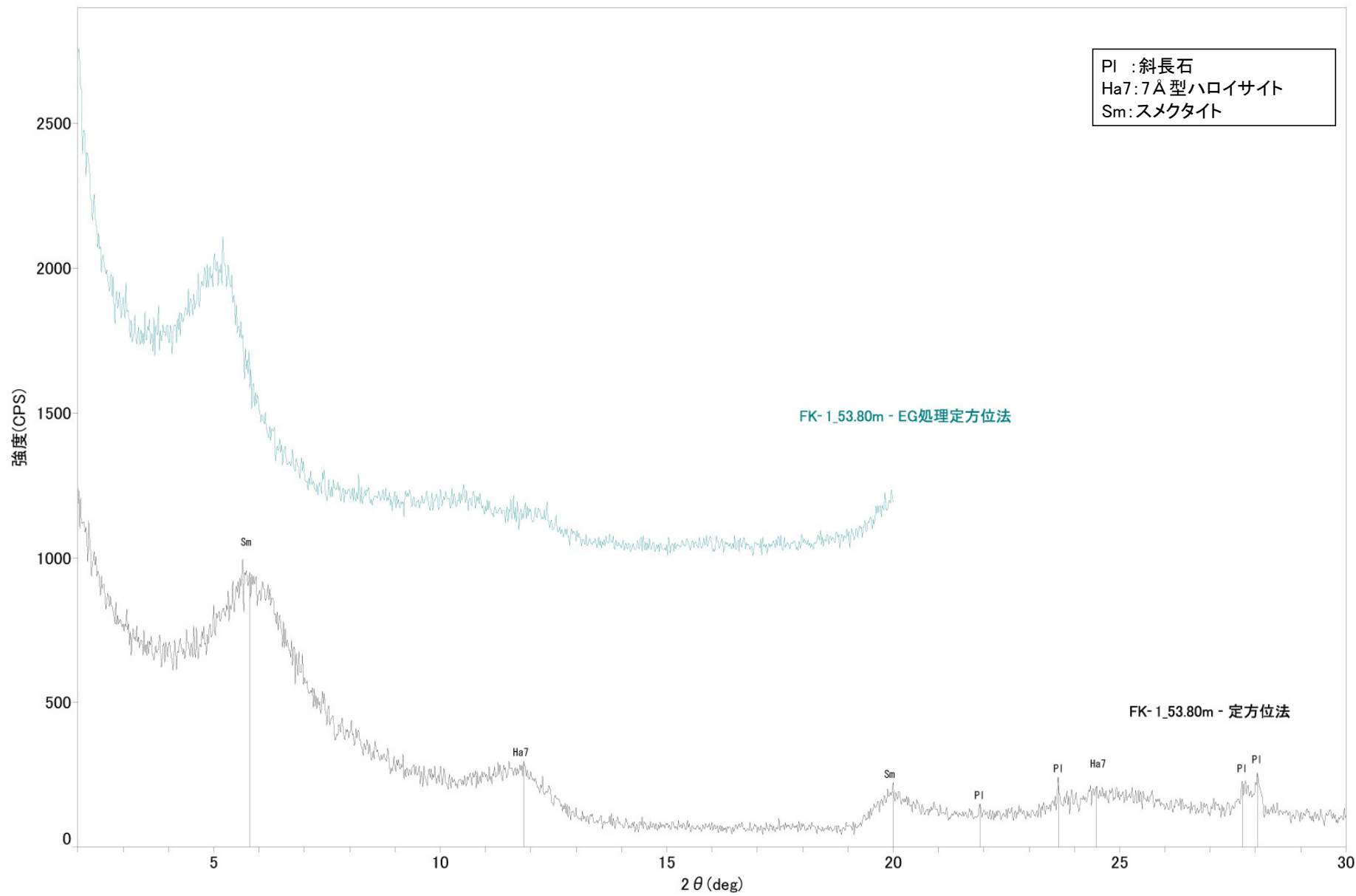
FK-1孔 53.43m -X線回折チャート 定方位-



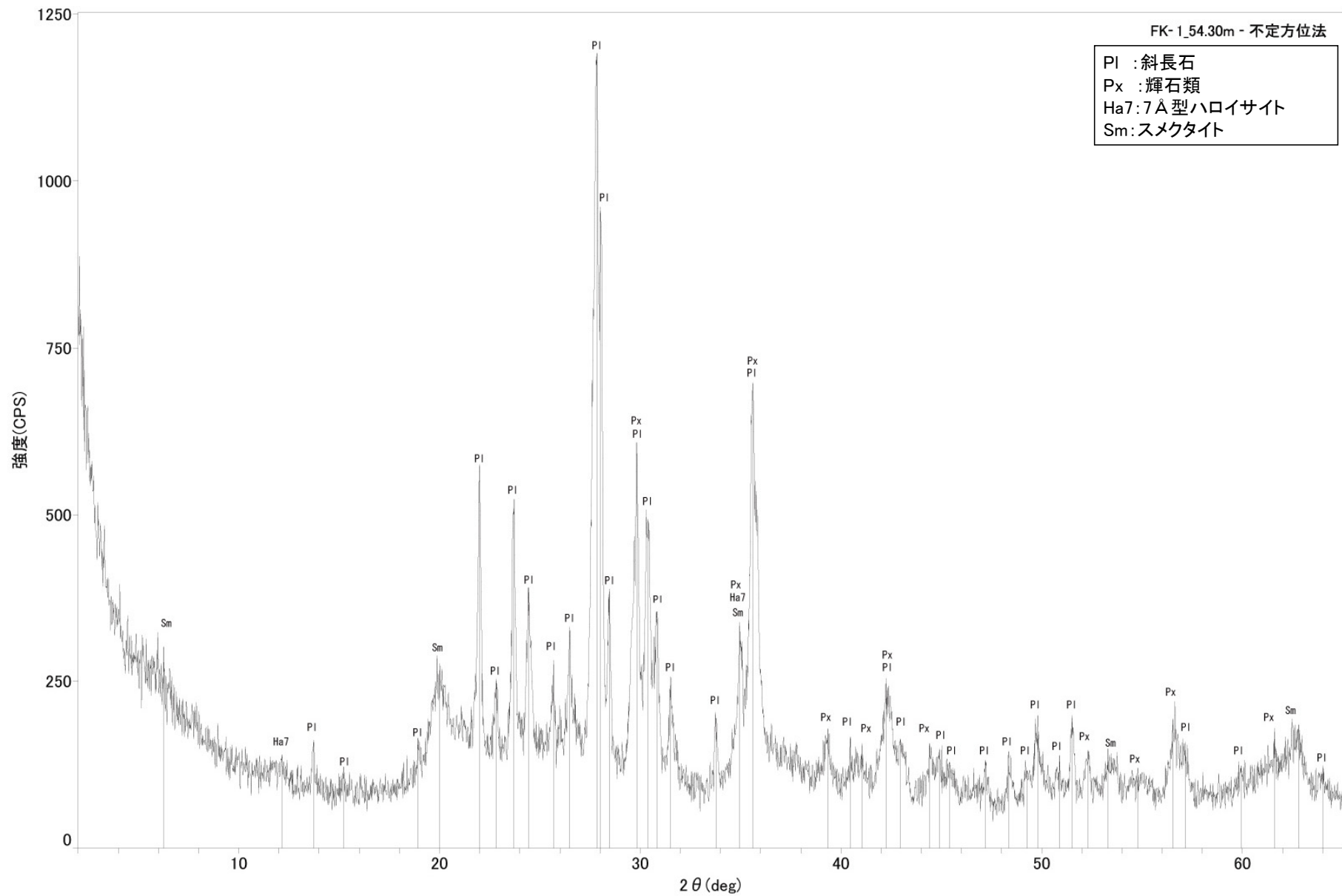
FK-1孔 53.80m -X線回折チャート 不定方位-



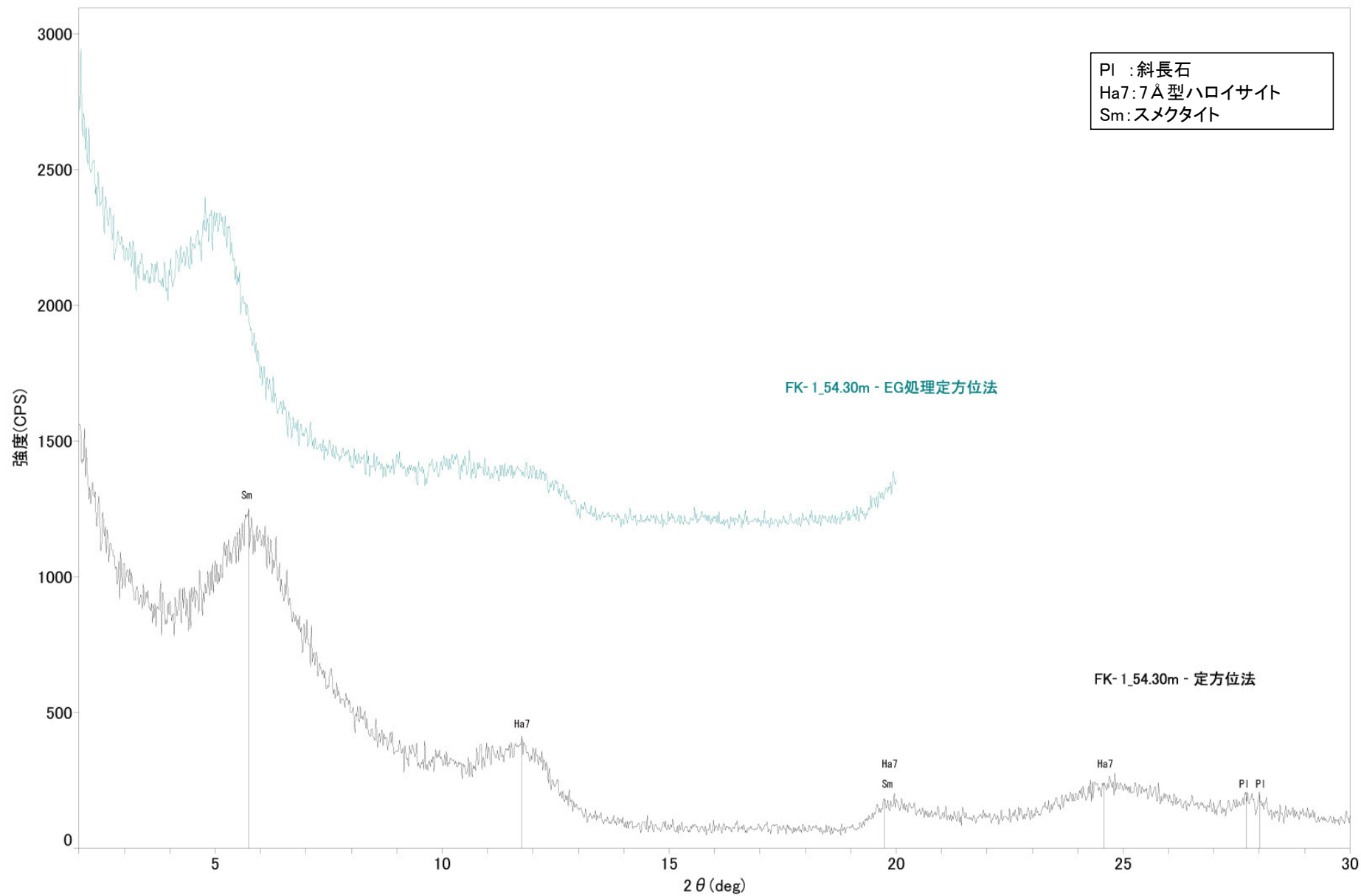
FK-1孔 53.80m -X線回折チャート 定方位-



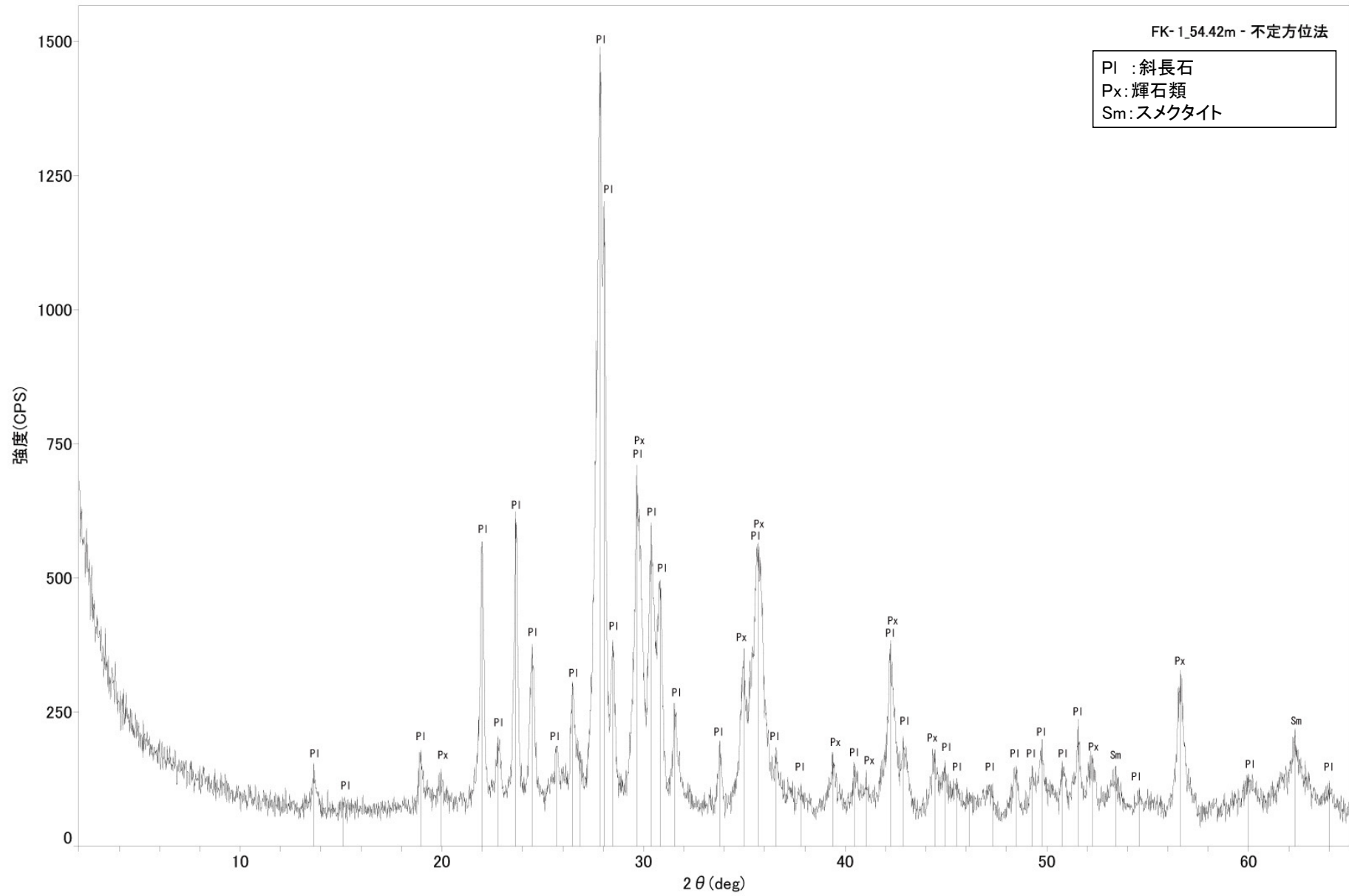
FK-1孔 54.30m -X線回折チャート 不定方位-



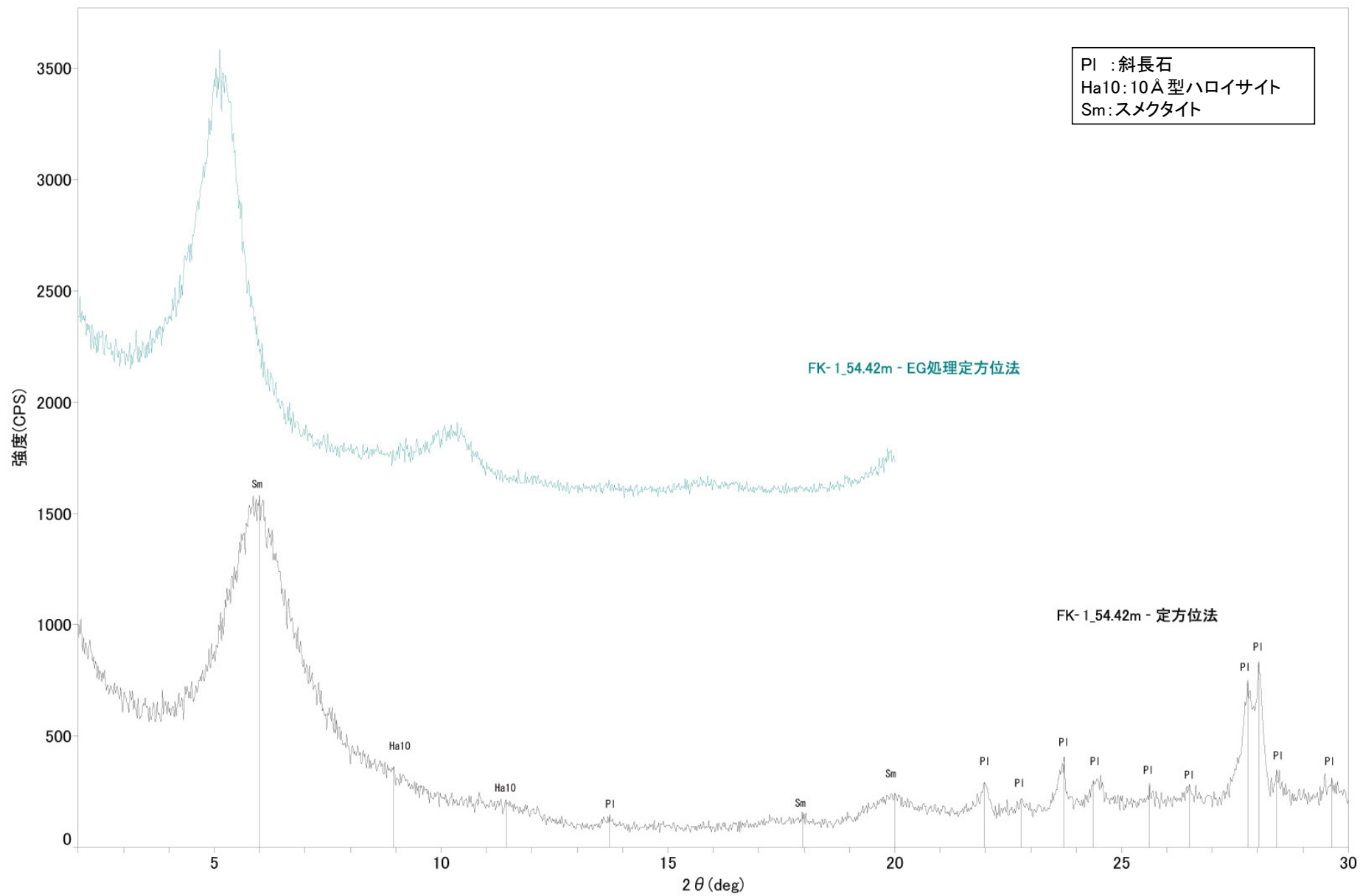
FK-1孔 54.30m -X線回折チャート 定方位-



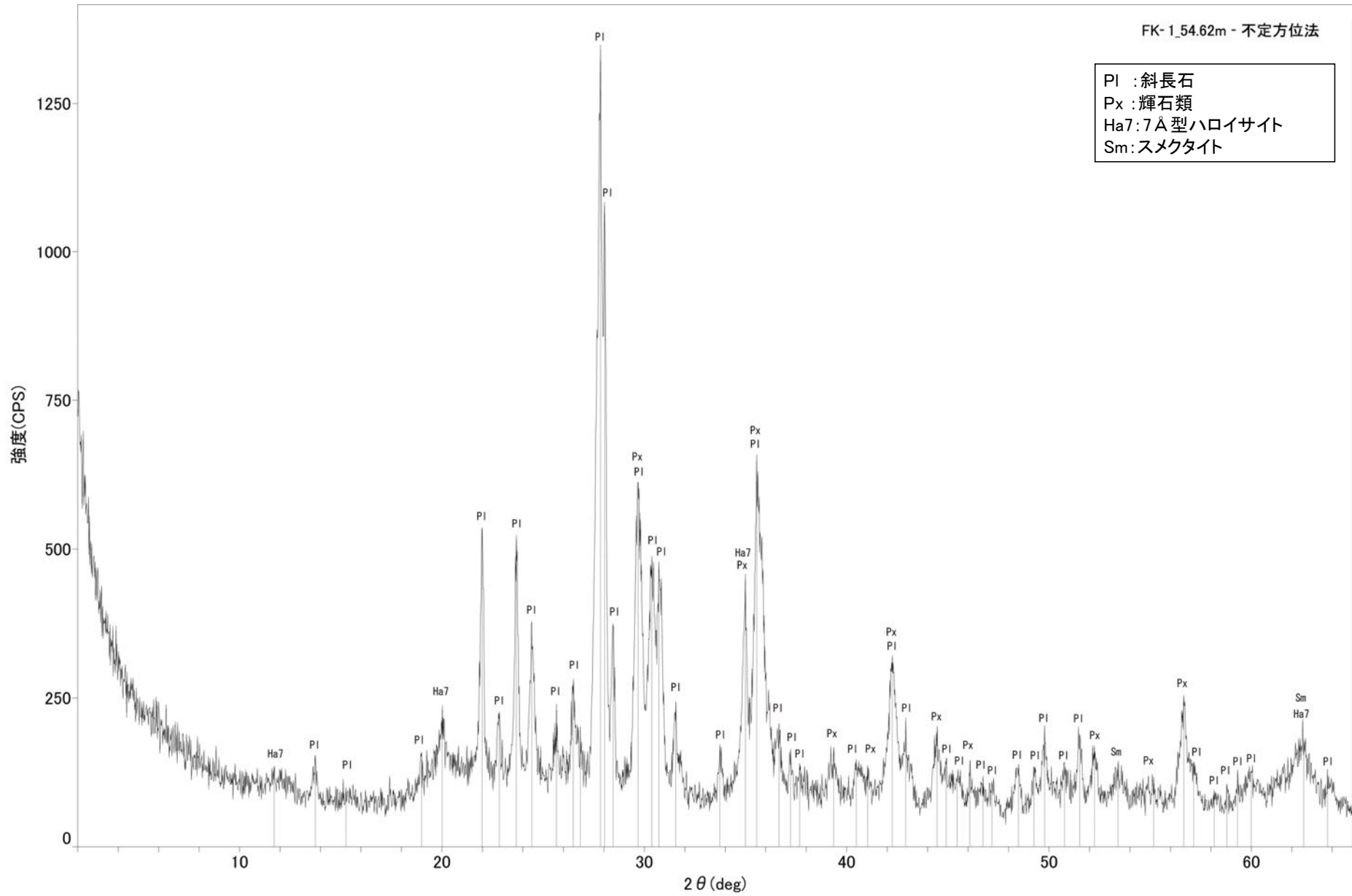
FK-1孔 54.42m -X線回折チャート 不定方位-



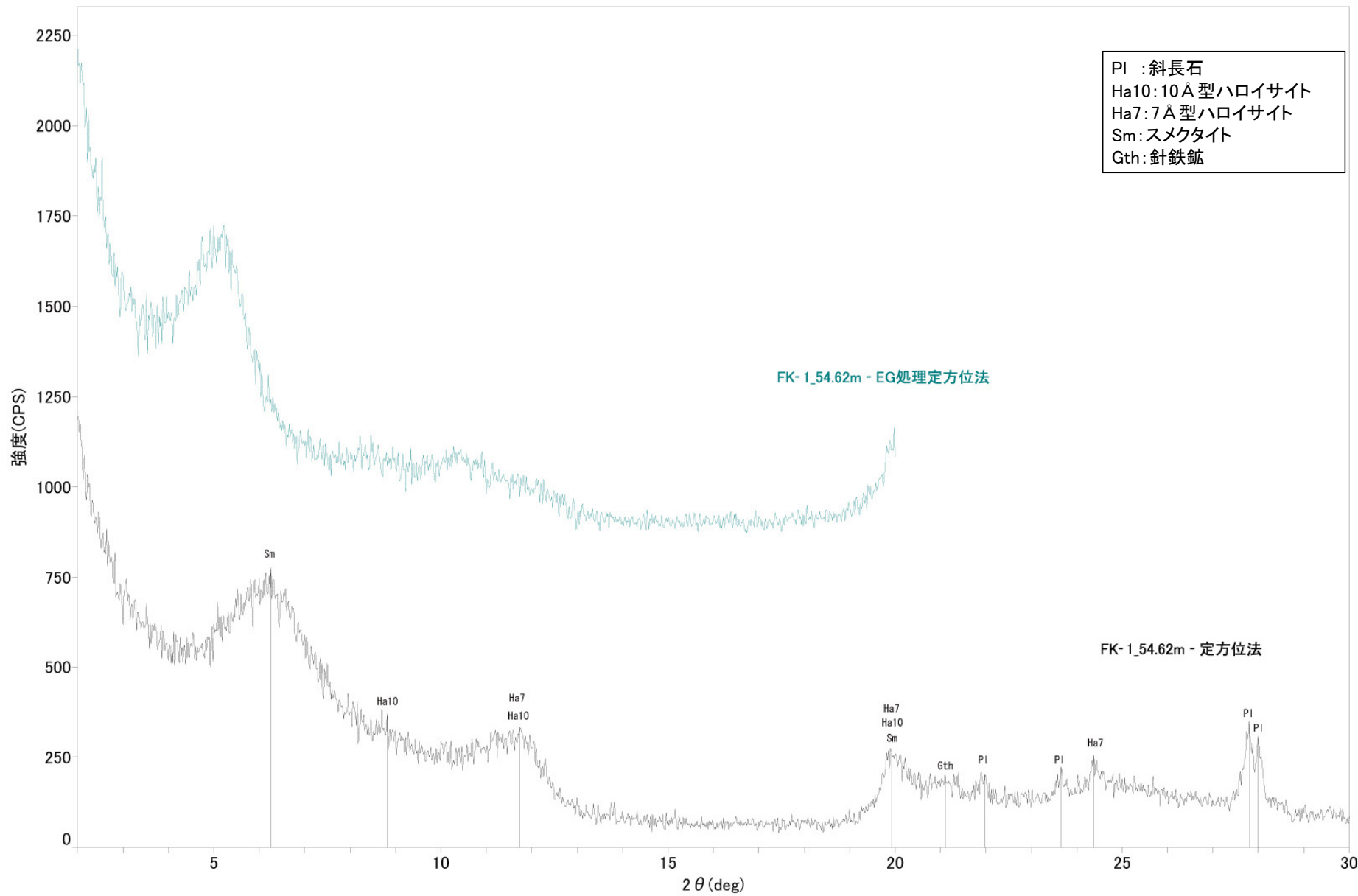
FK-1孔 54.42m -X線回折チャート 定方位-



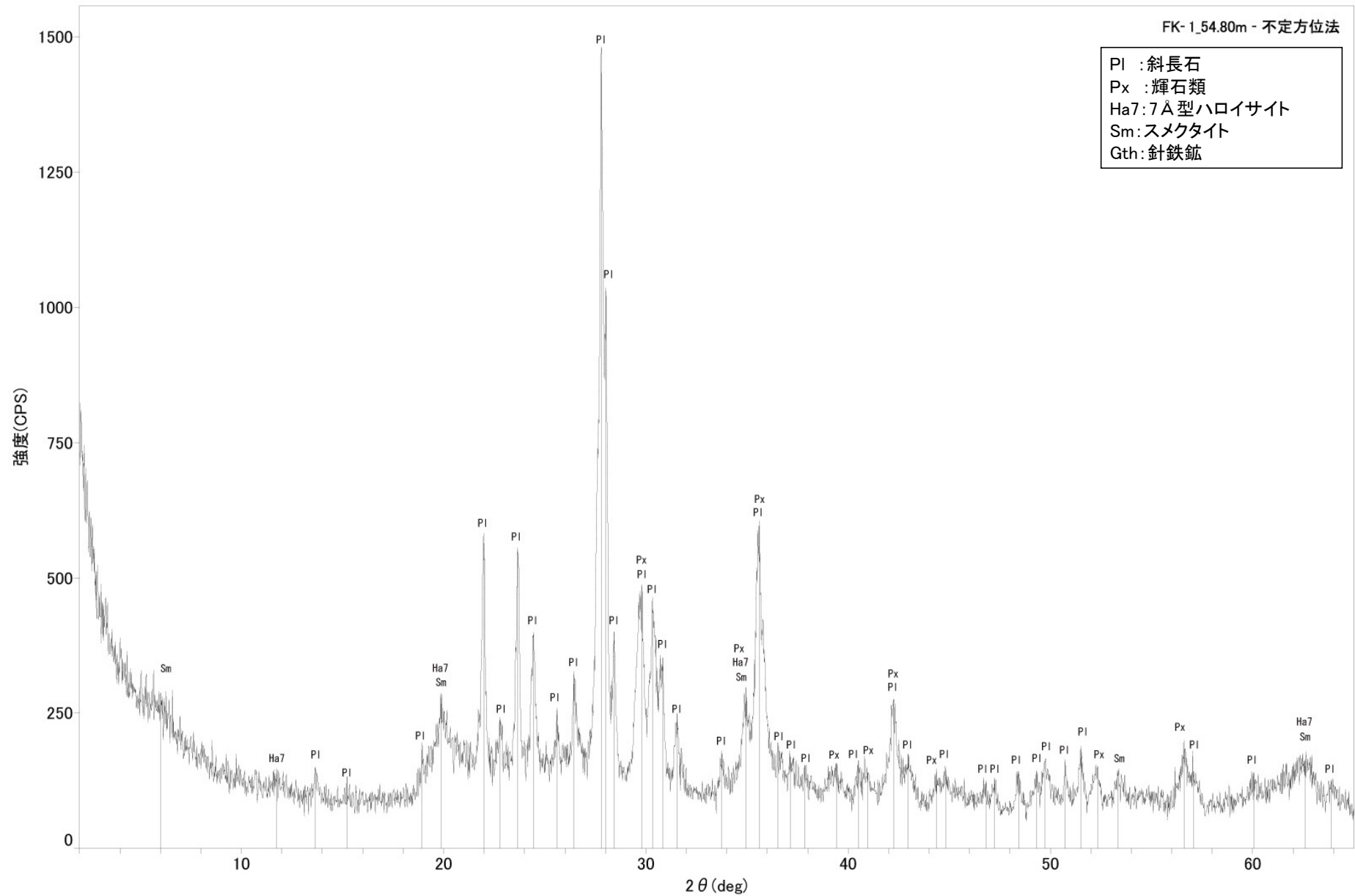
FK-1孔 54.62m -X線回折チャート 不定方位-



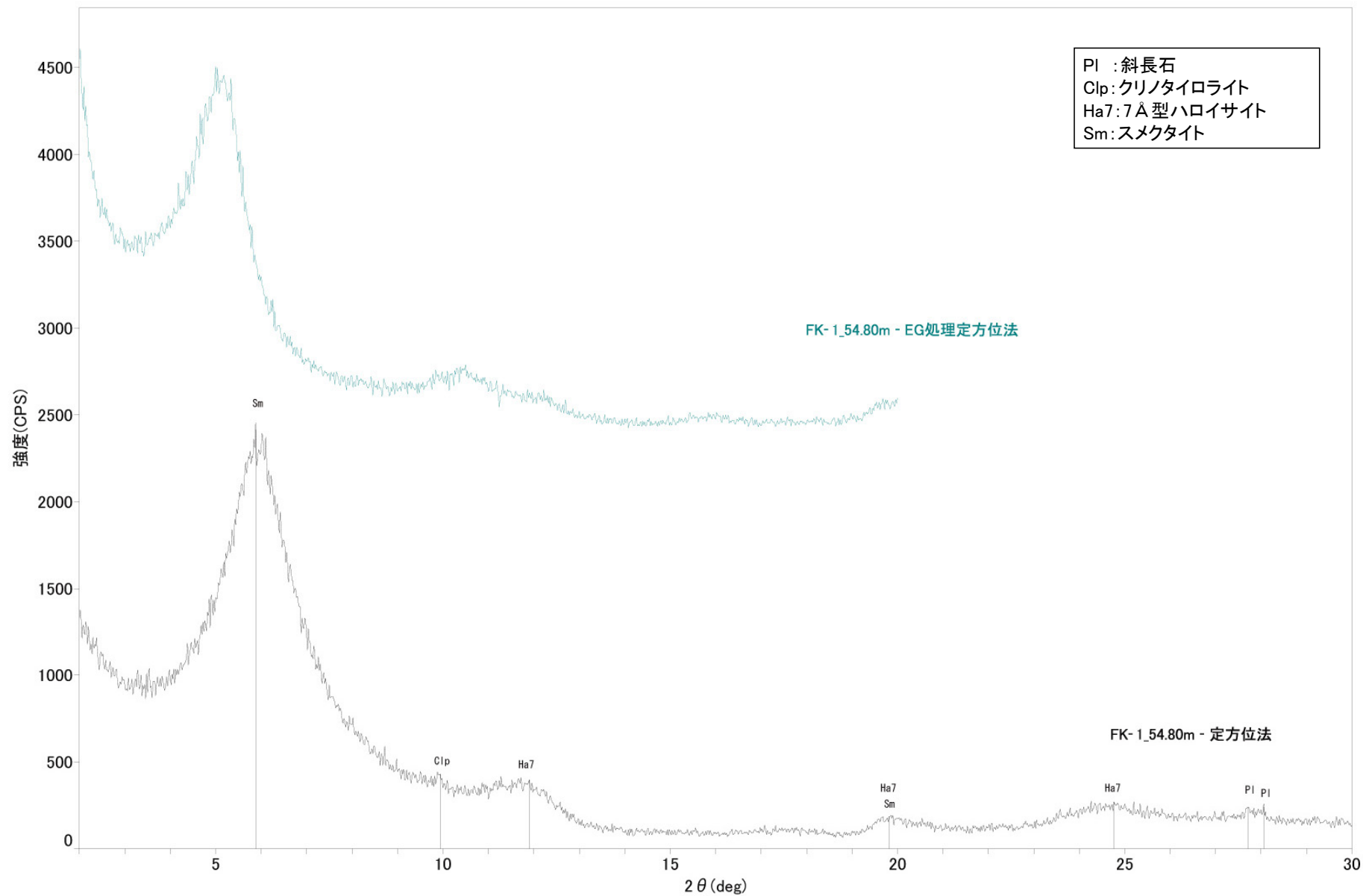
FK-1孔 54.62m -X線回折チャート 定方位-



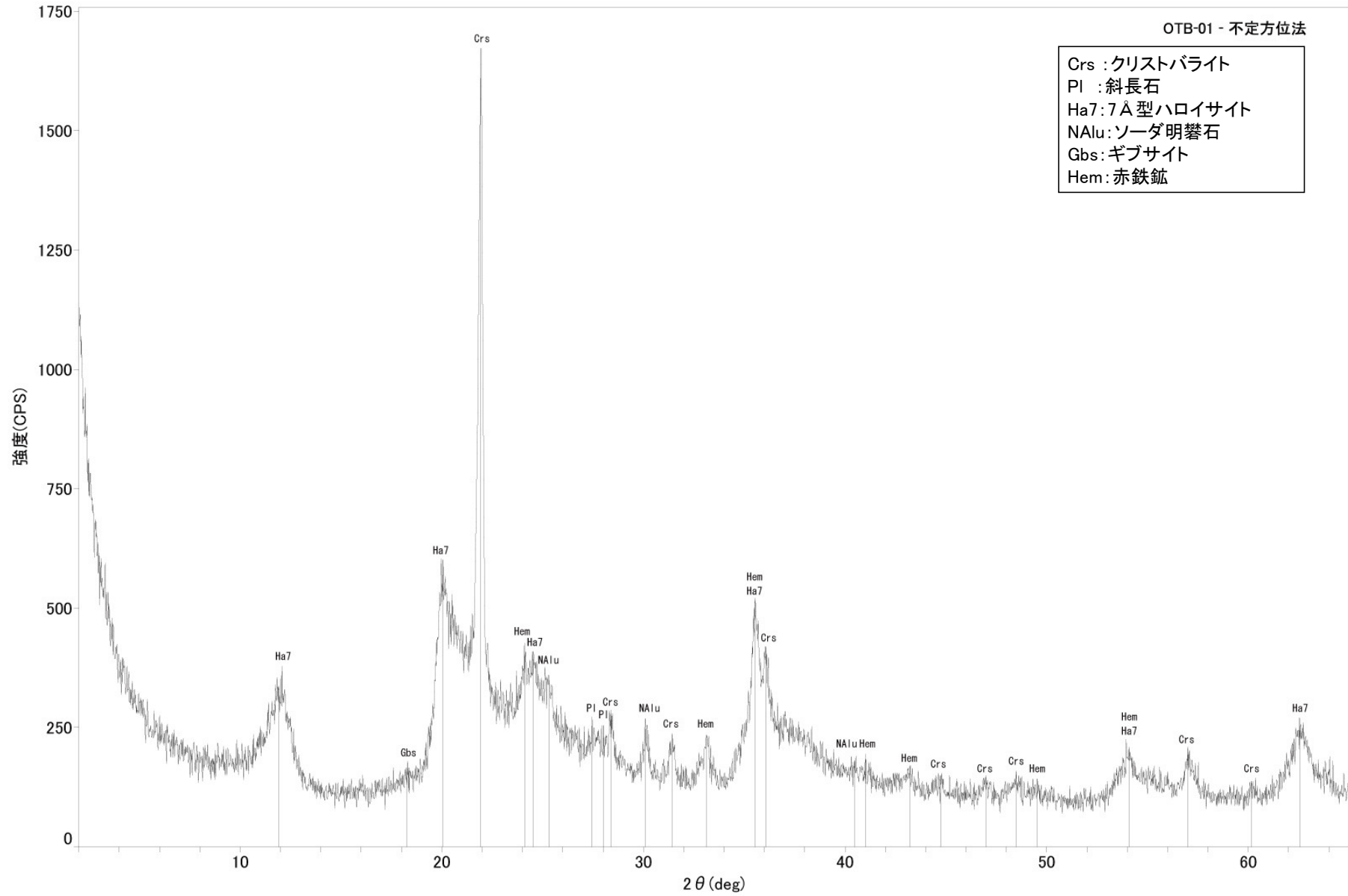
FK-1孔 54.80m -X線回折チャート 不定方位-



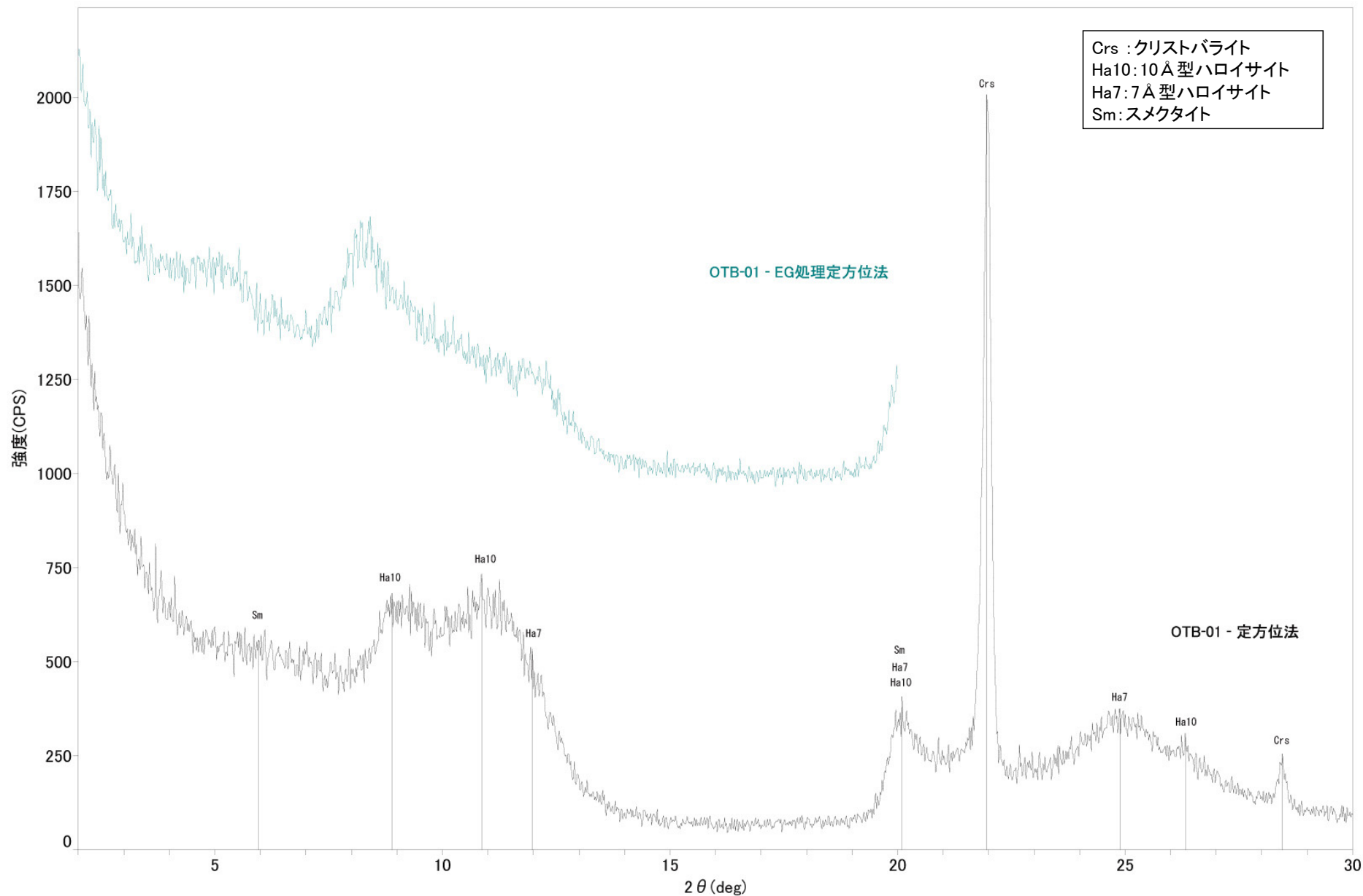
FK-1孔 54.80m -X線回折チャート 定方位-



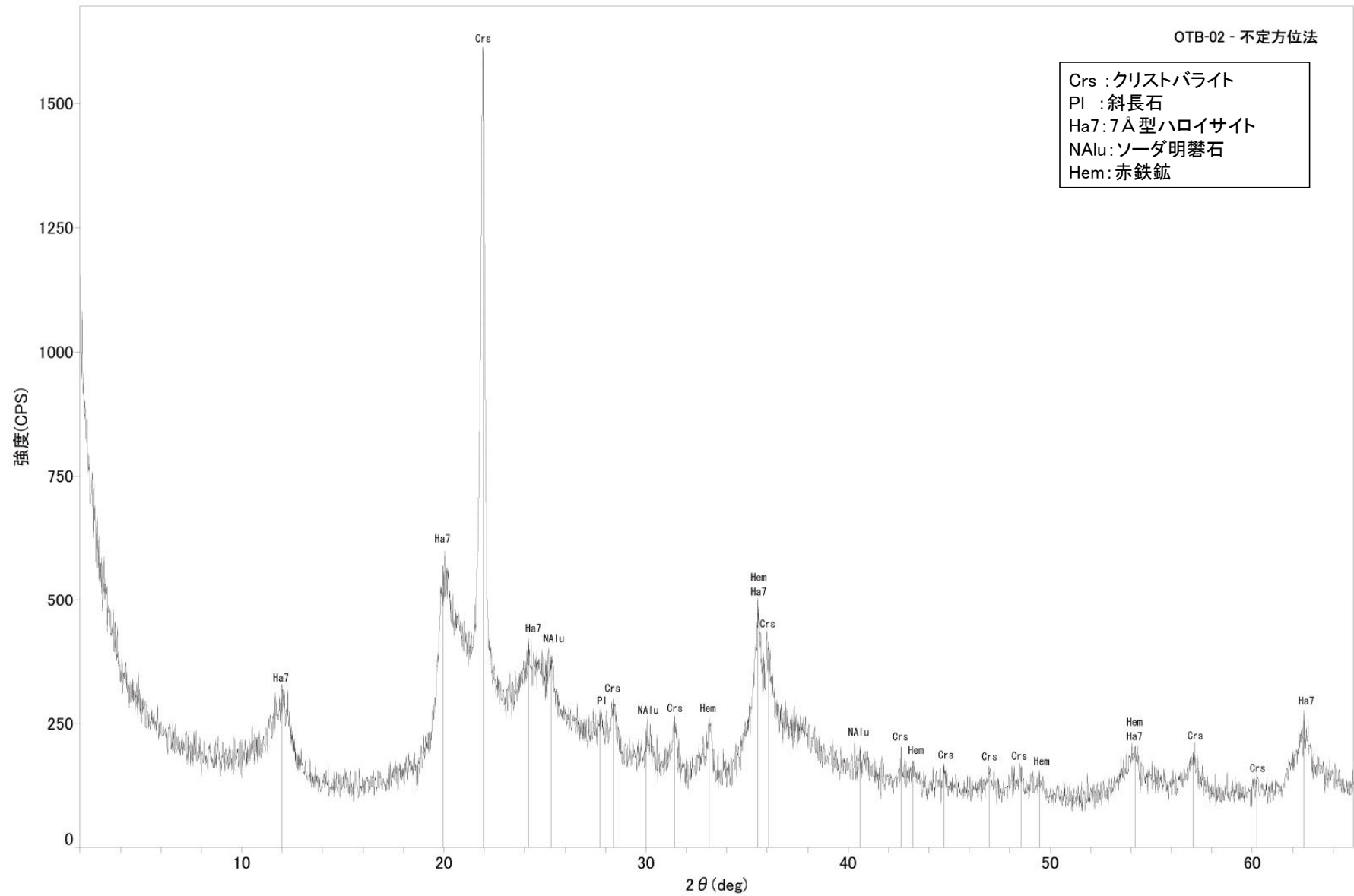
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-01 -X線回折チャート 不定方位-



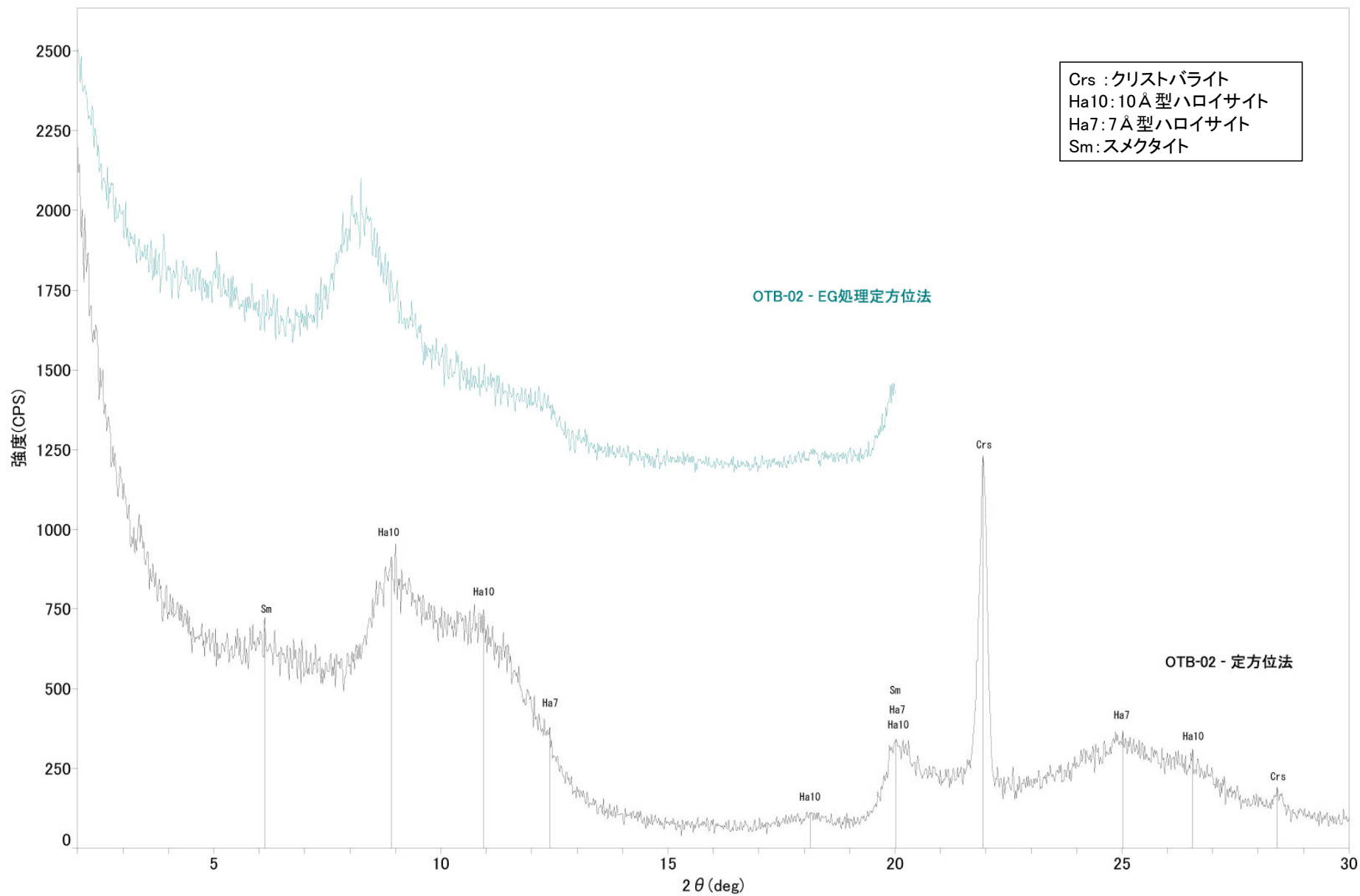
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-01 -X線回折チャート 定方位-



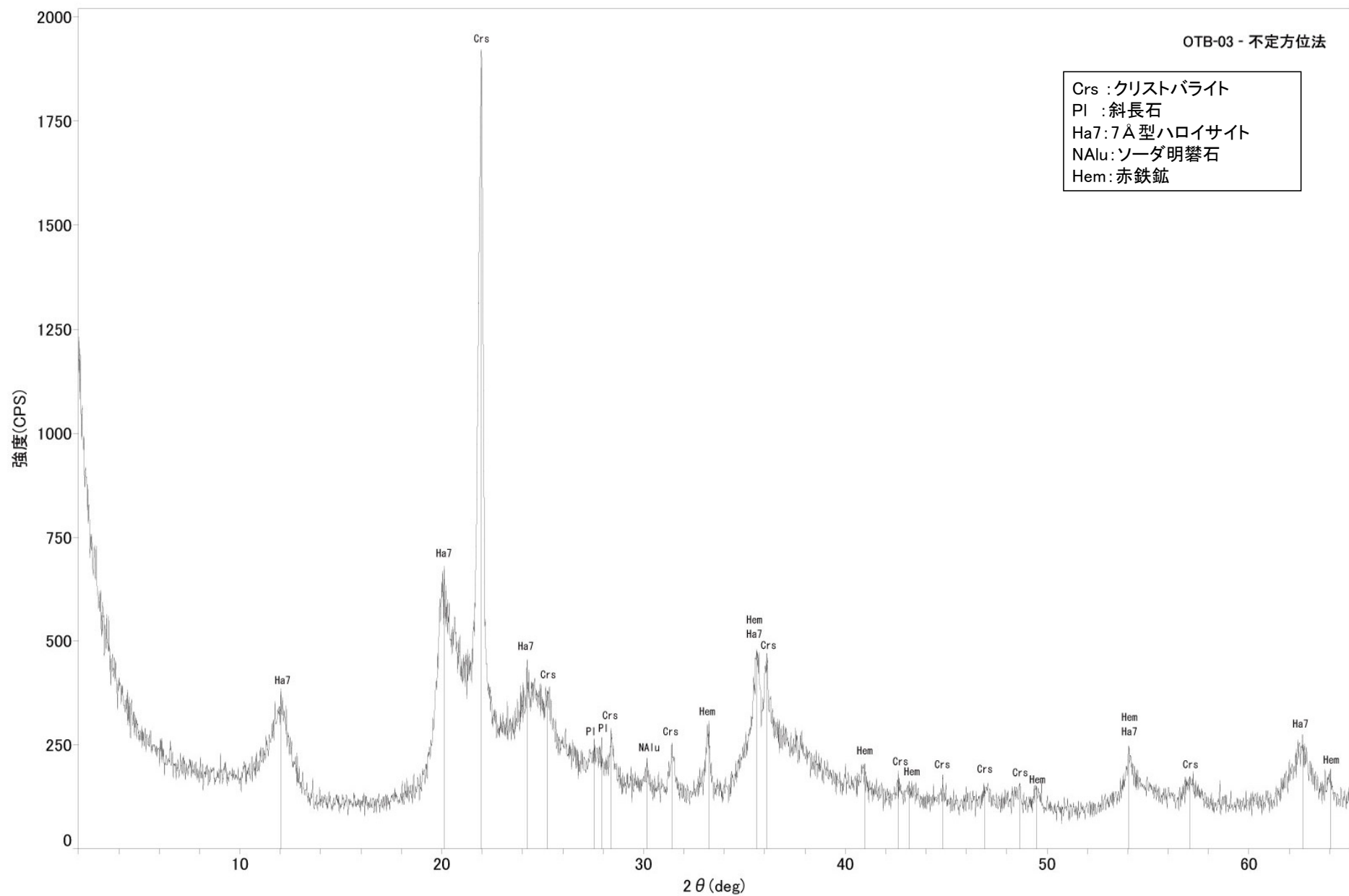
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-02 -X線回折チャート 不定方位-



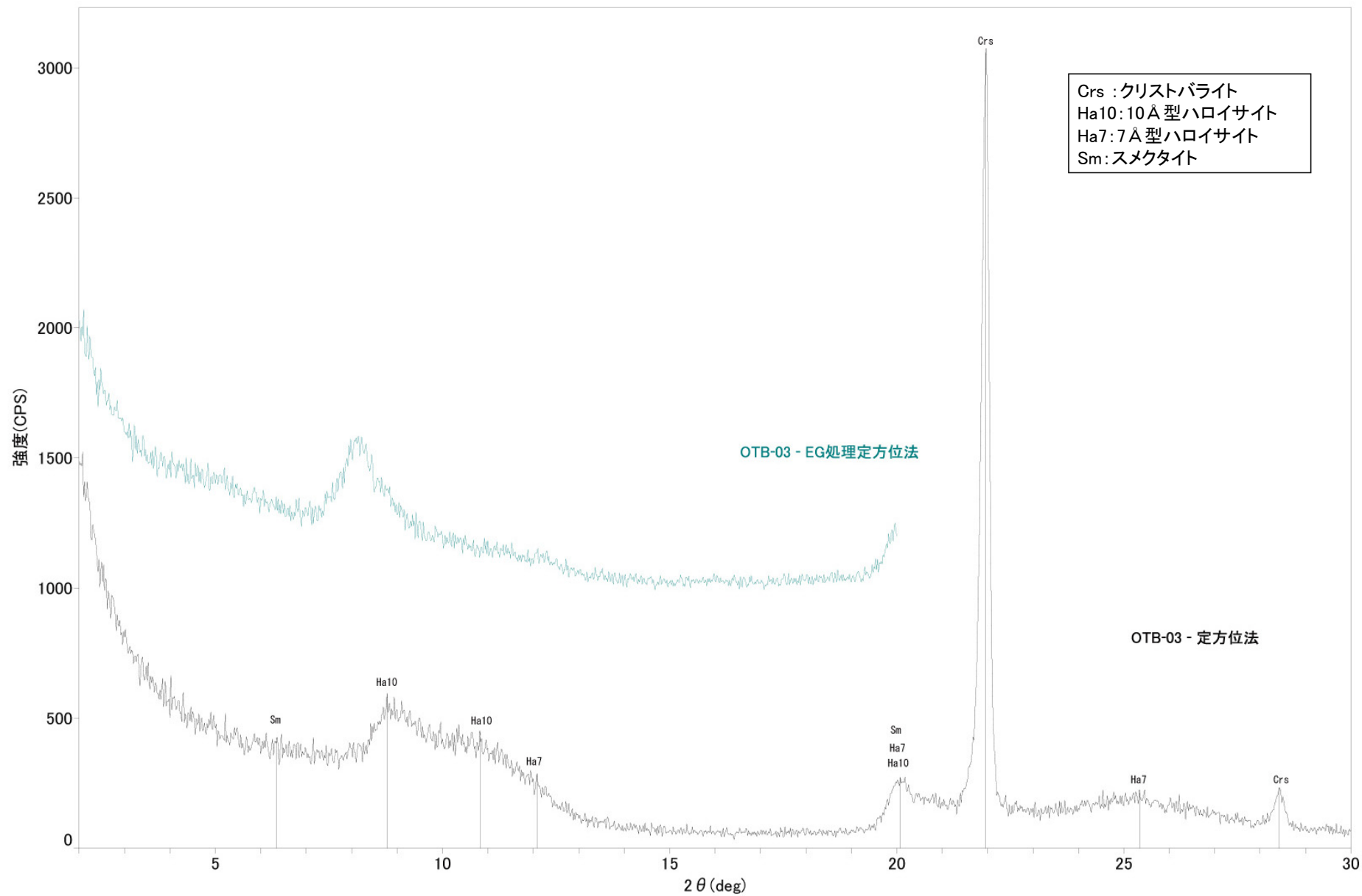
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-02 -X線回折チャート 定方位-



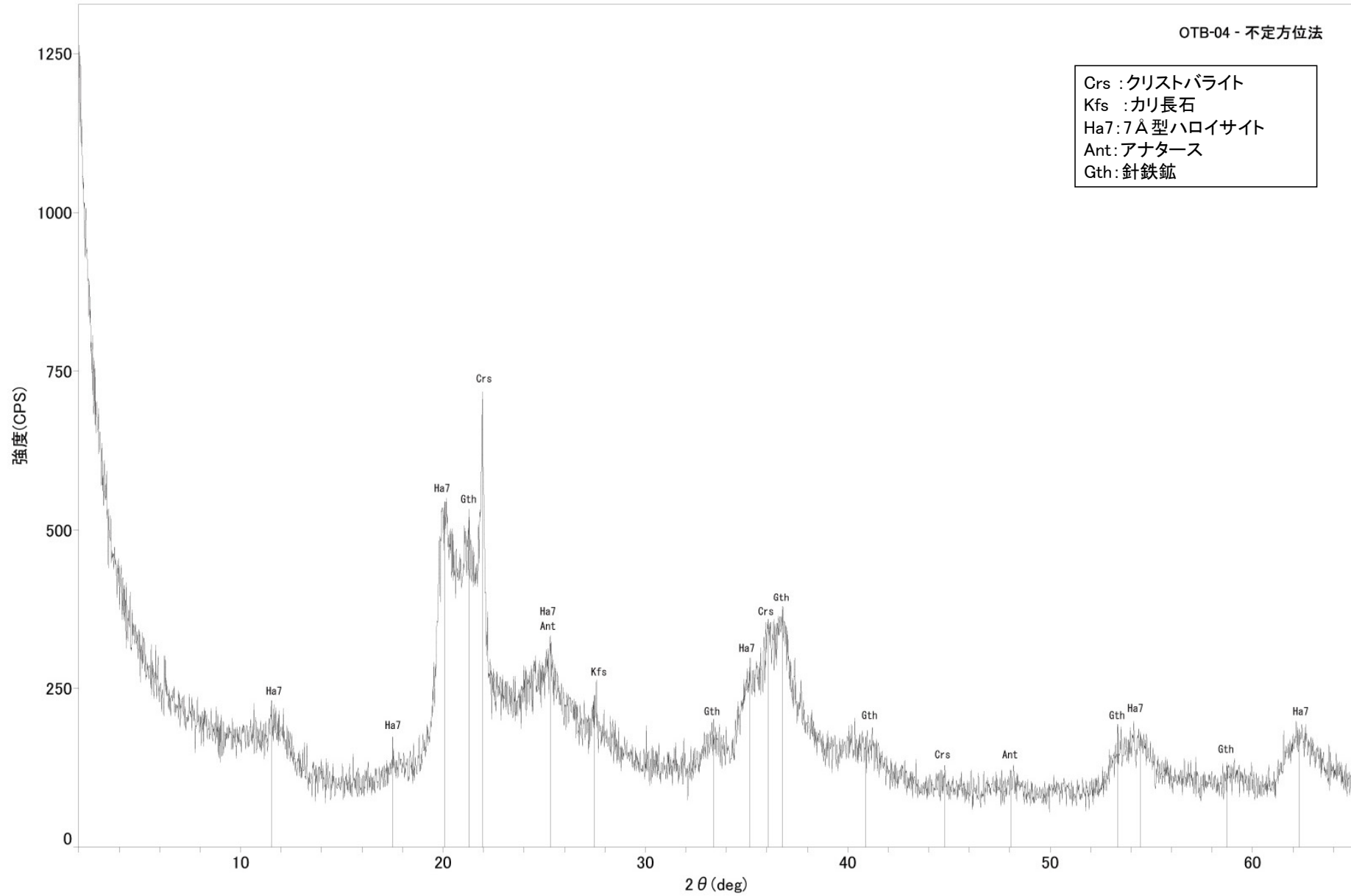
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-03 -X線回折チャート 不定方位-



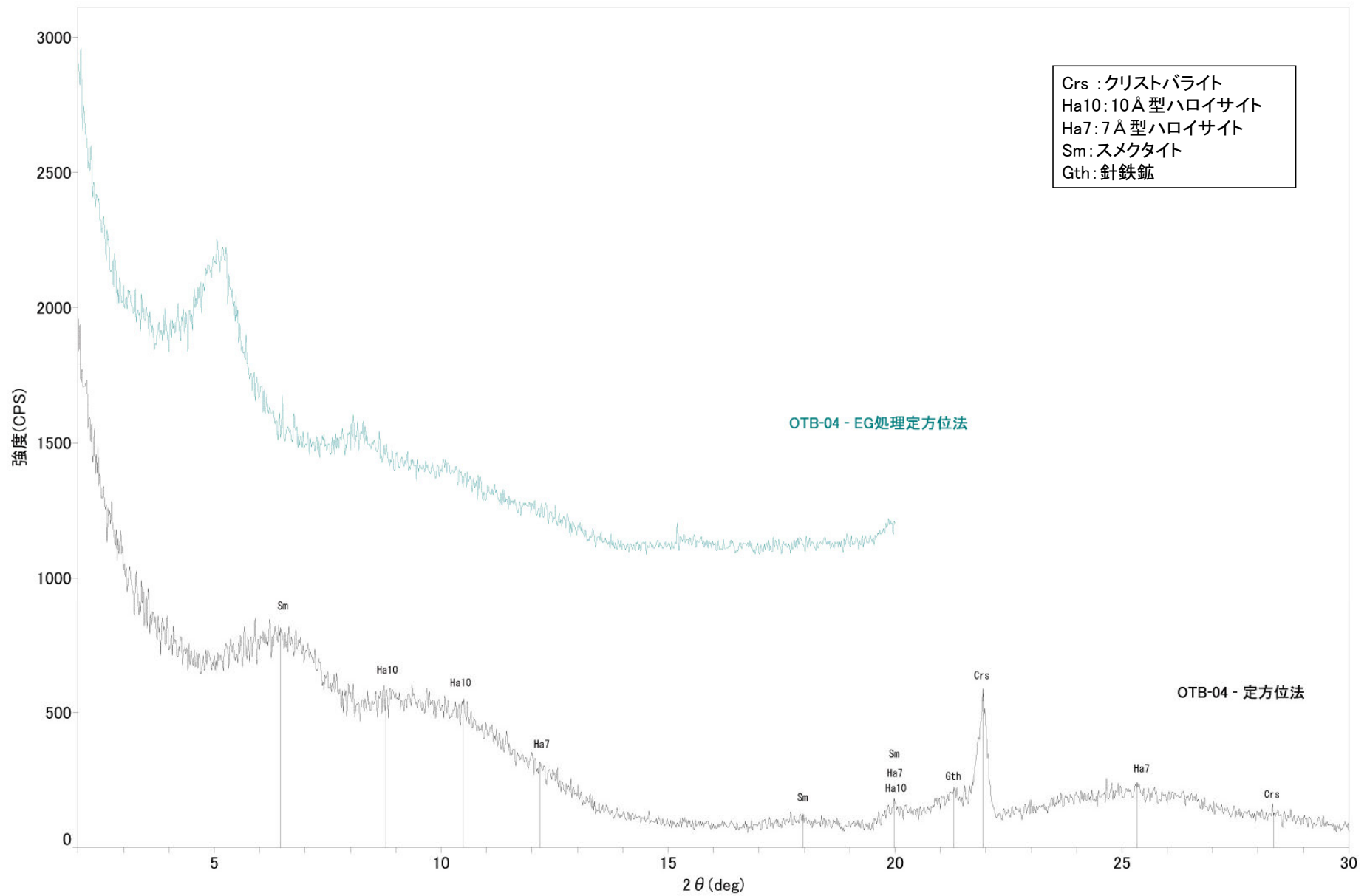
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-03 -X線回折チャート 定方位-



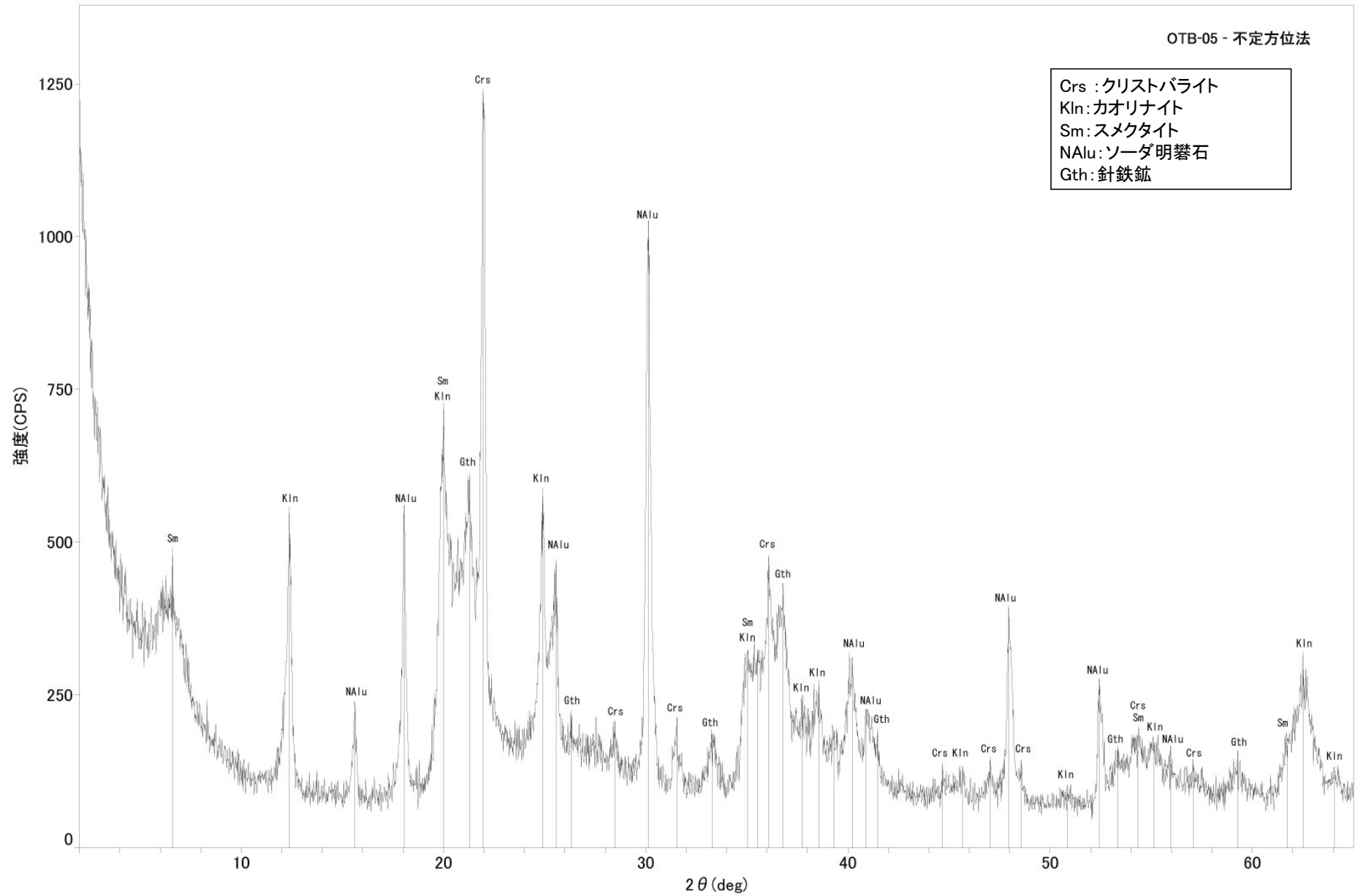
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-04 -X線回折チャート 不定方位-



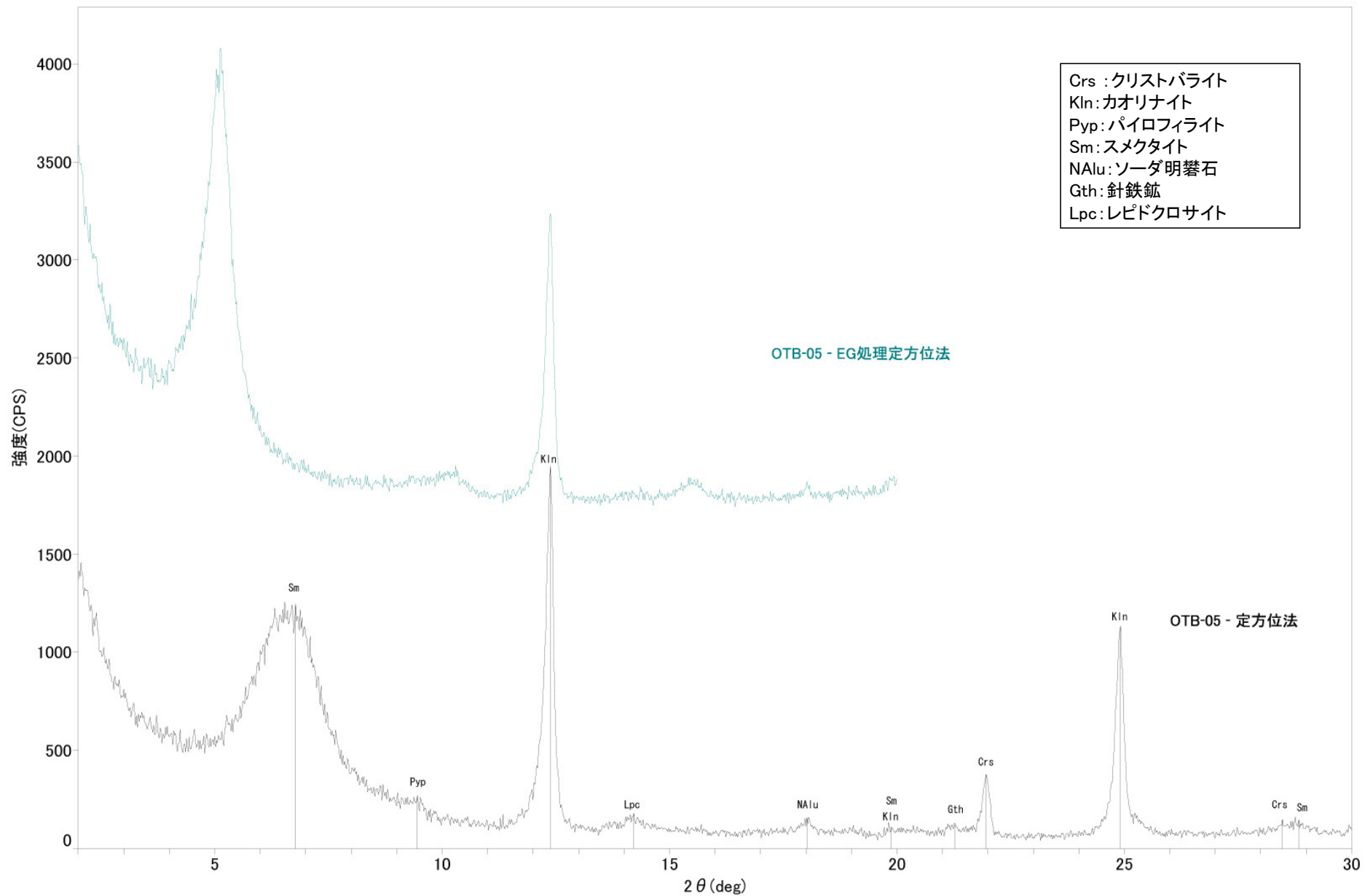
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-04 -X線回折チャート 定方位-



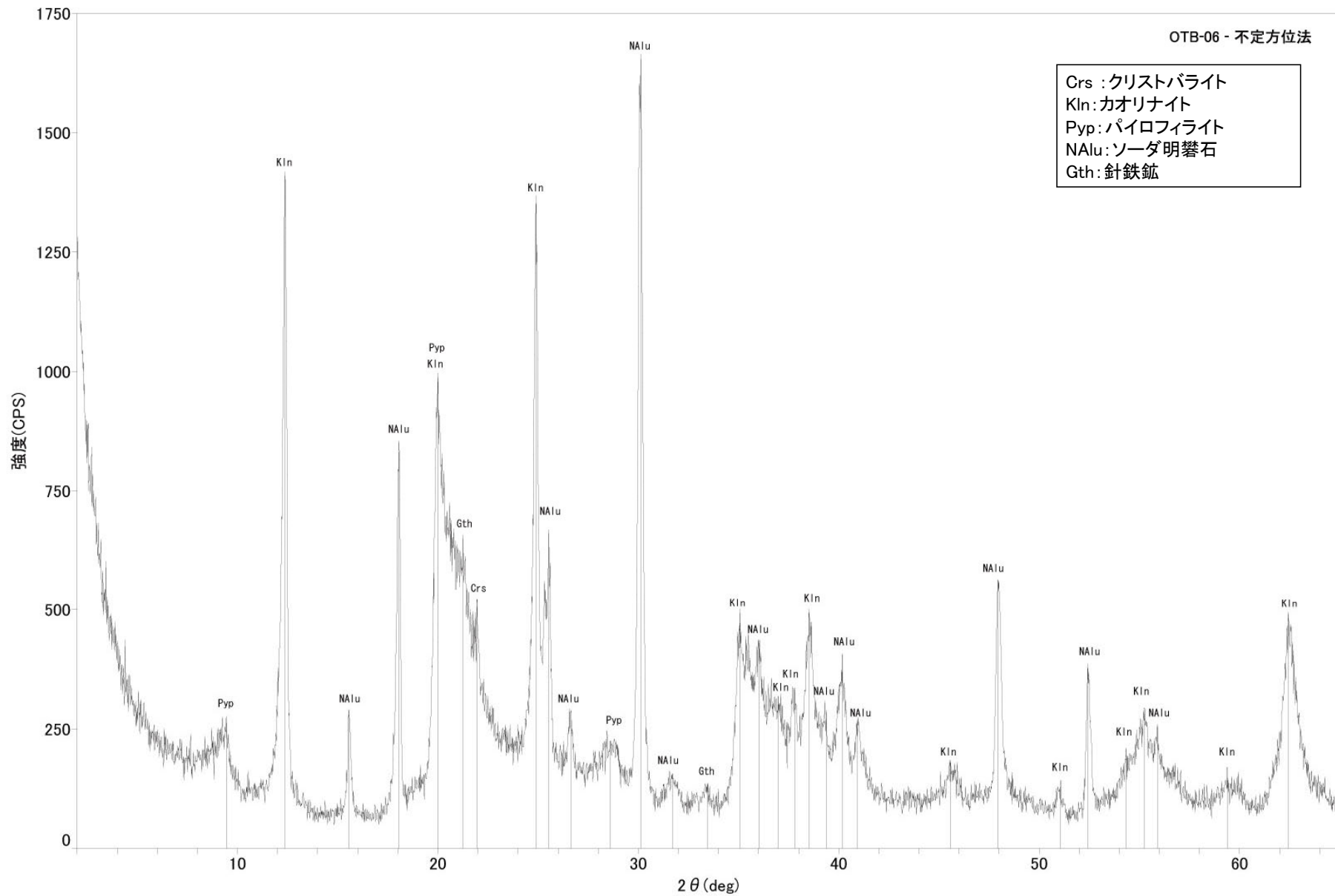
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-05 -X線回折チャート 不定方位-



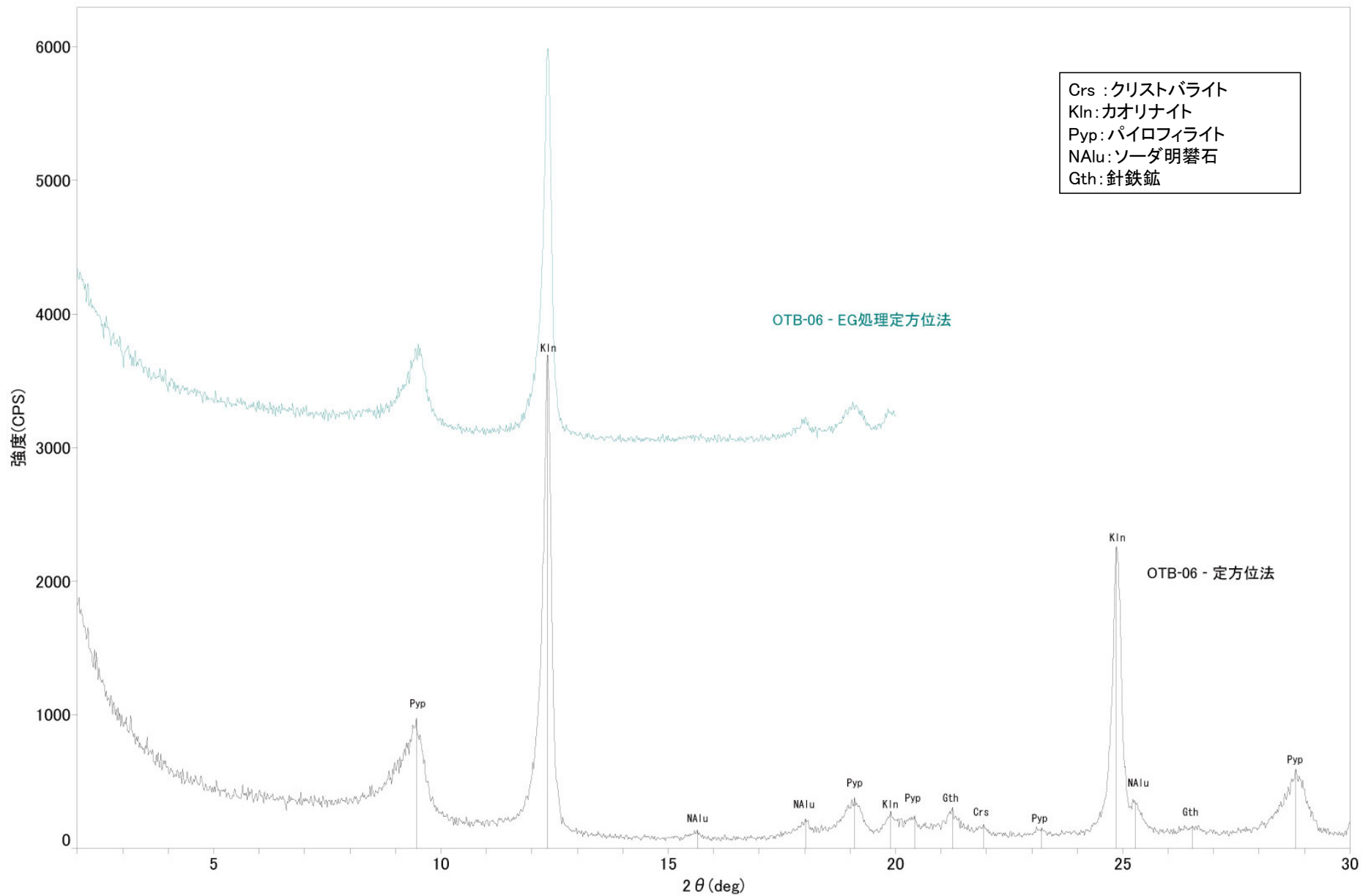
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-05 -X線回折チャート 定方位-



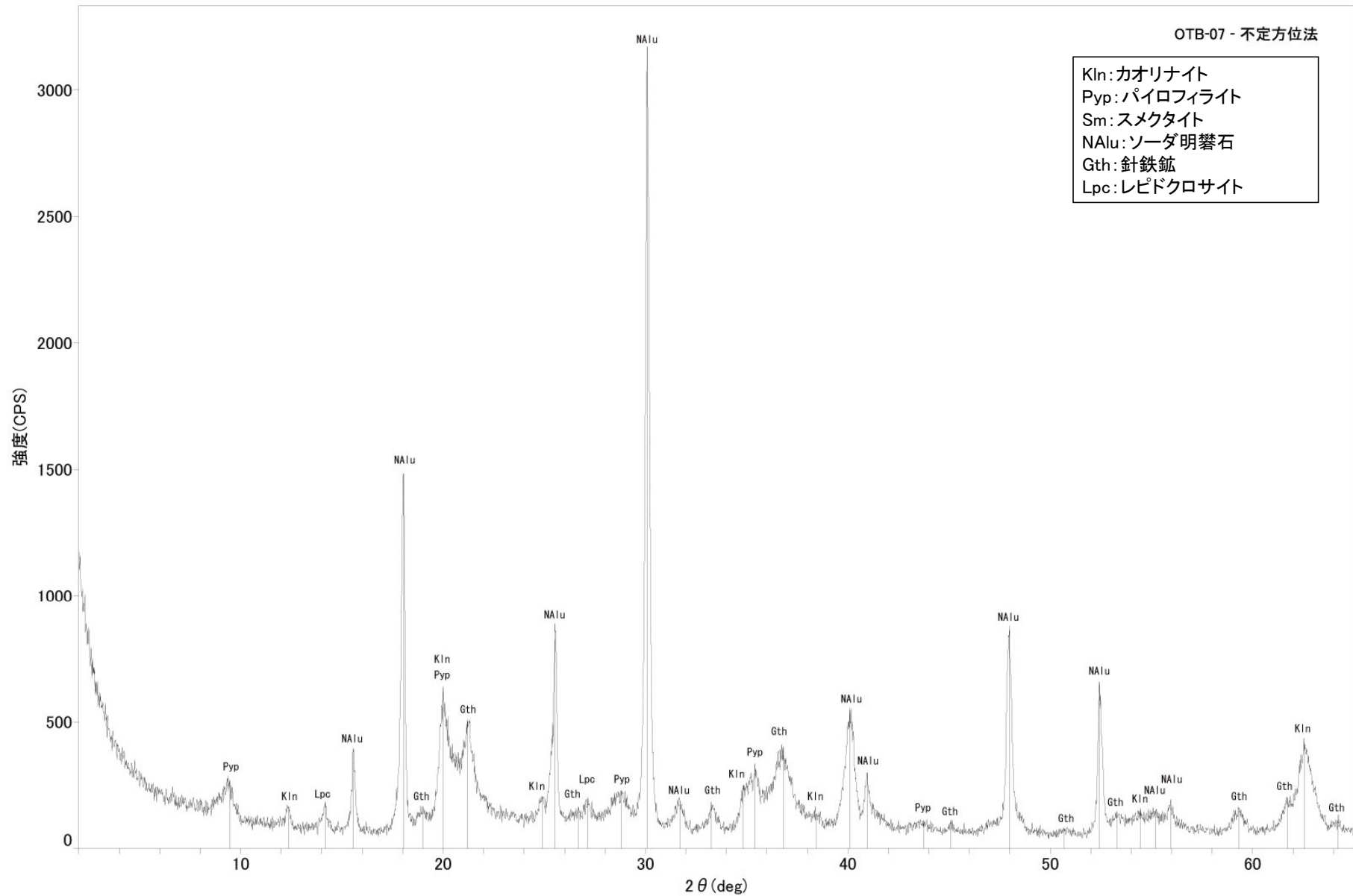
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-06 -X線回折チャート 不定方位-



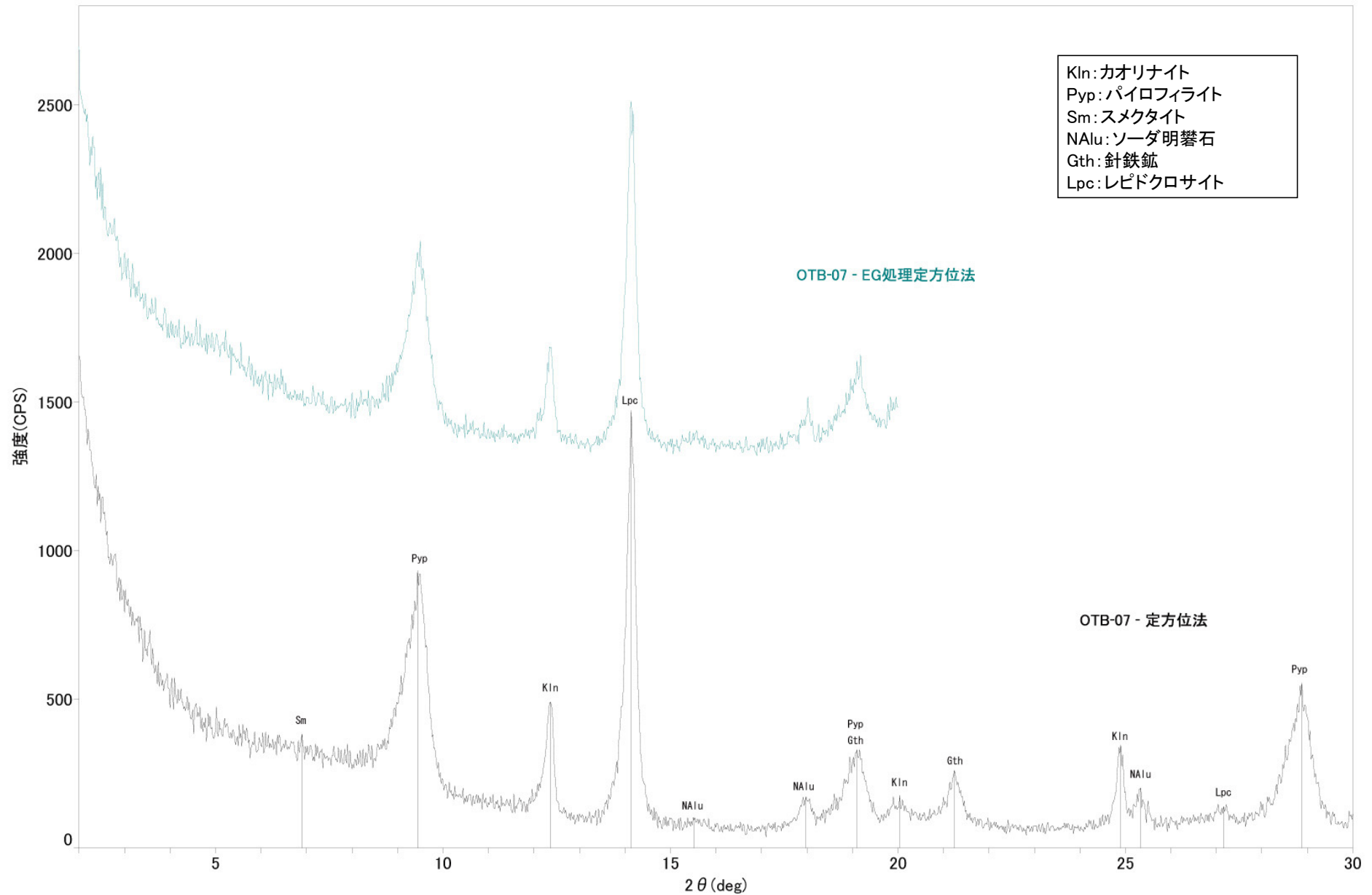
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-06 -X線回折チャート 定方位-



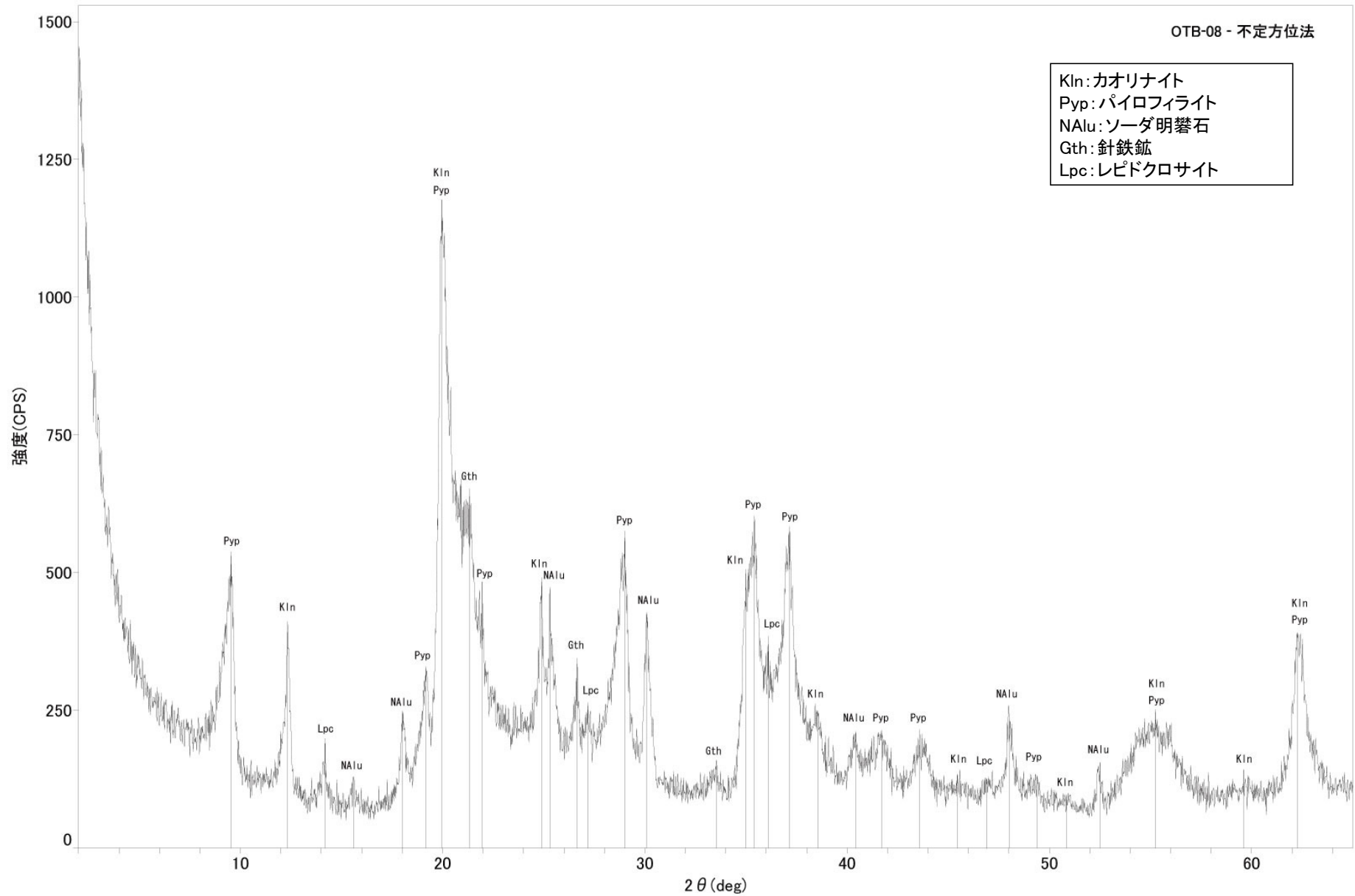
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-07 -X線回折チャート 不定方位-



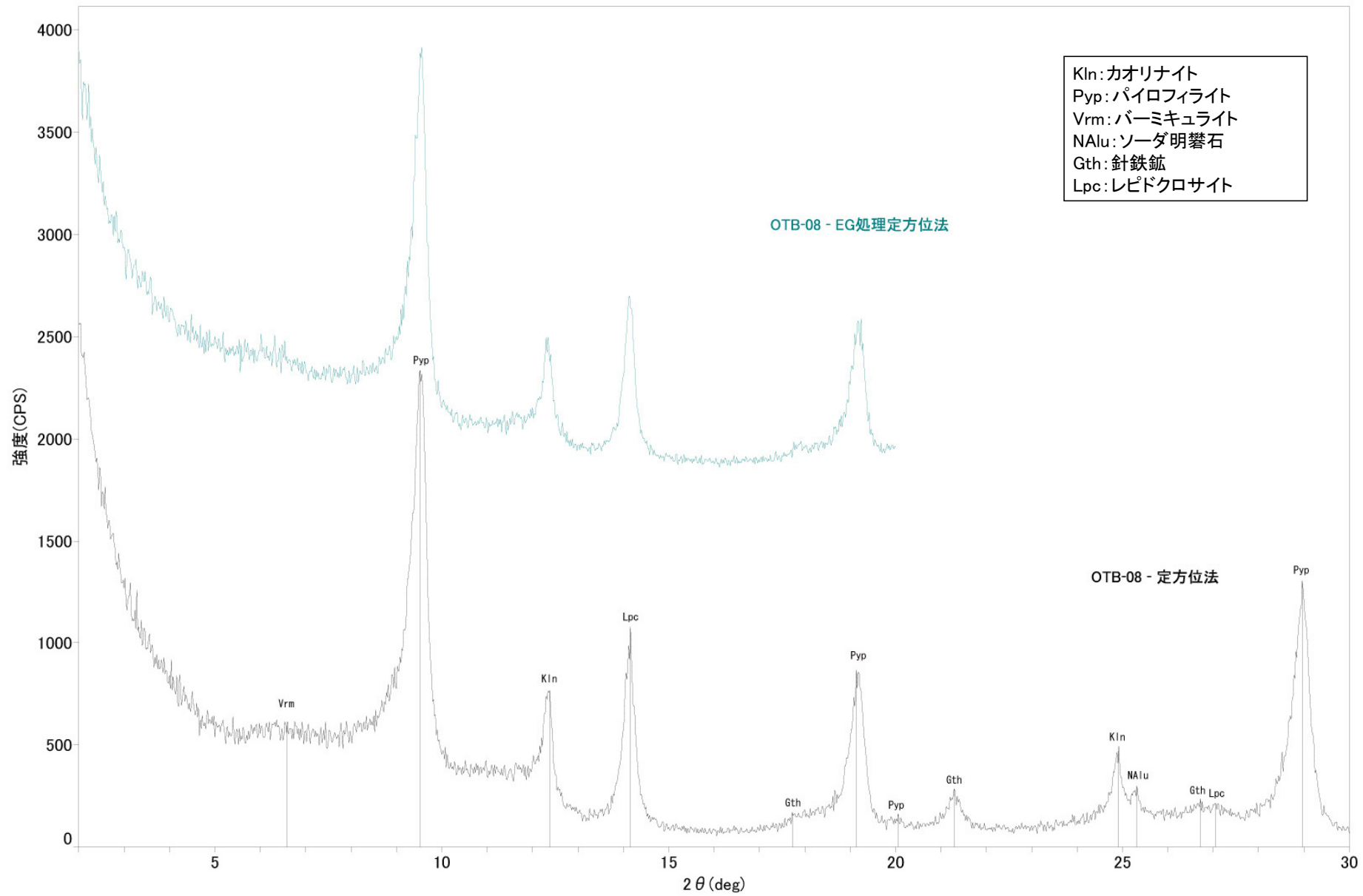
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-07 -X線回折チャート 定方位-



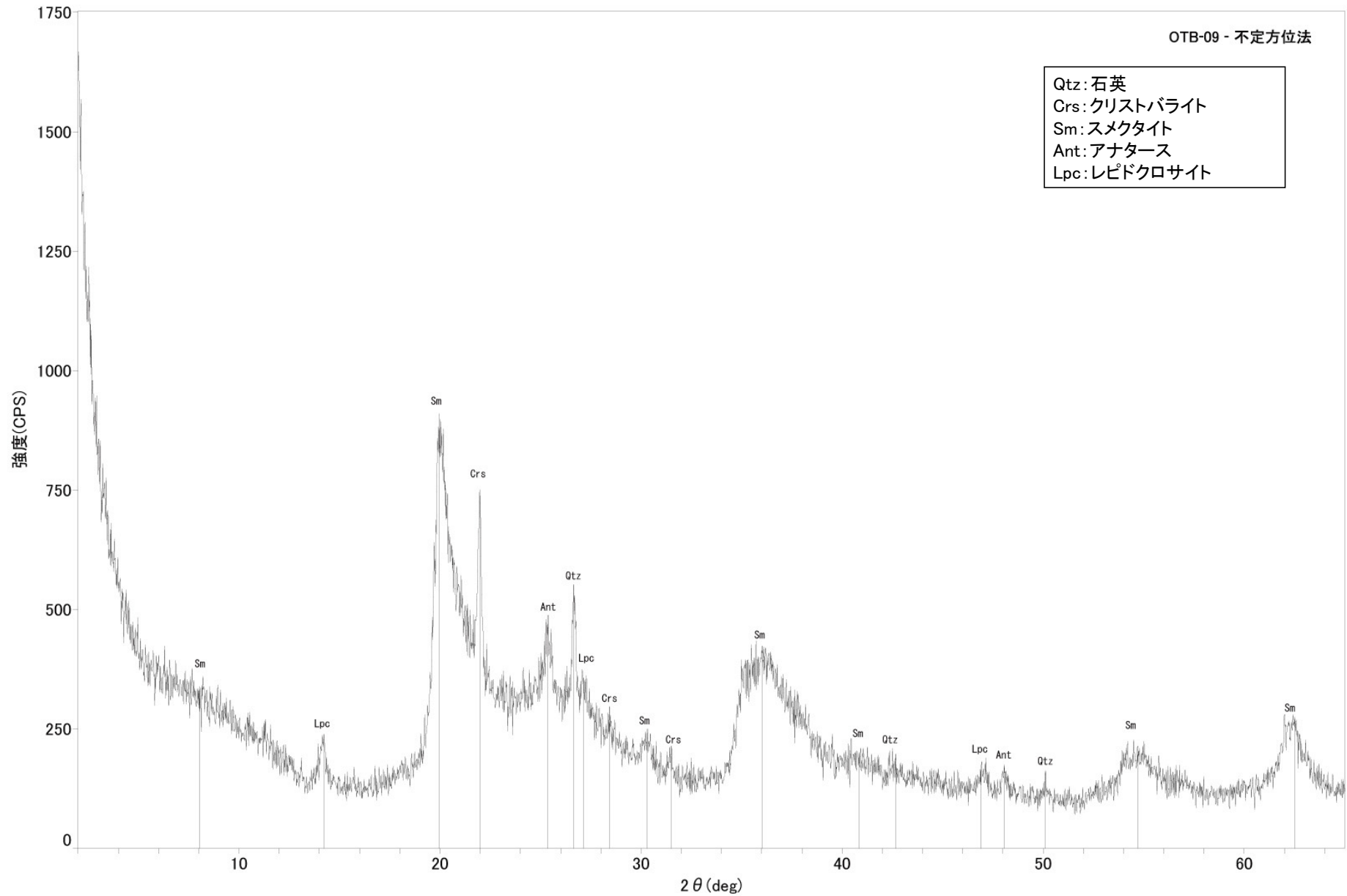
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-08 -X線回折チャート 不定方位-



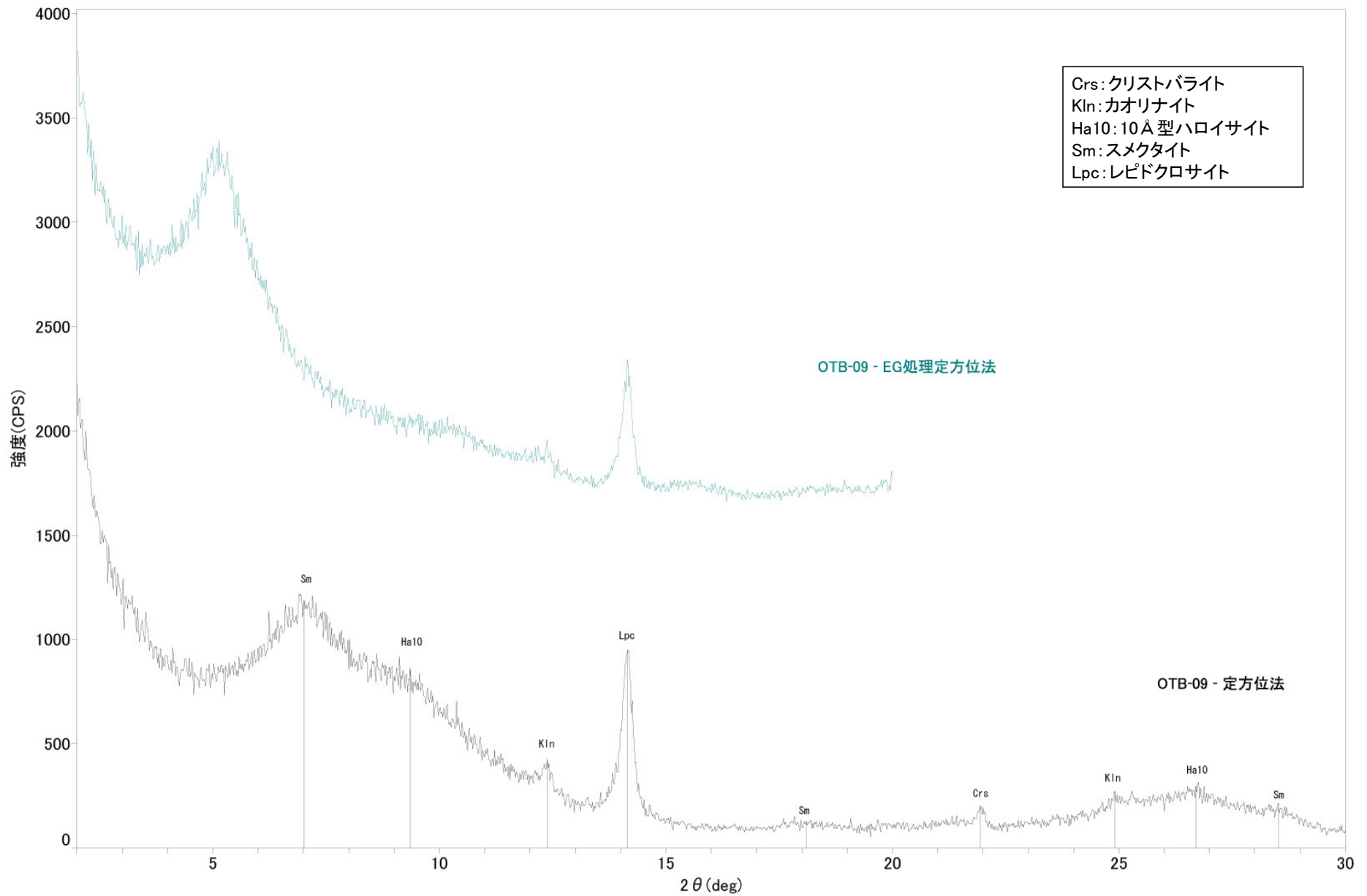
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-08 -X線回折チャート 定方位-



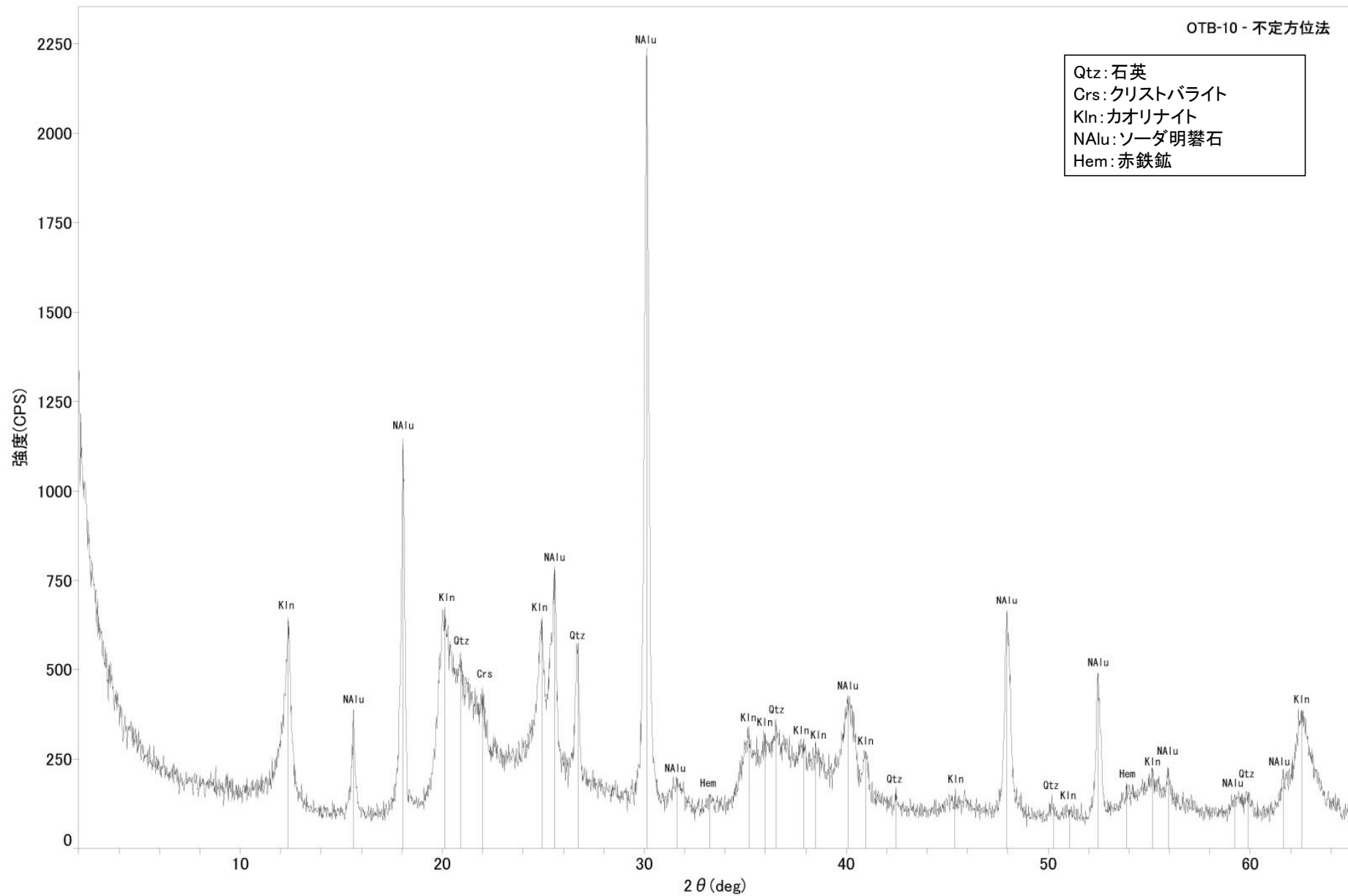
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-09 -X線回折チャート 不定方位-



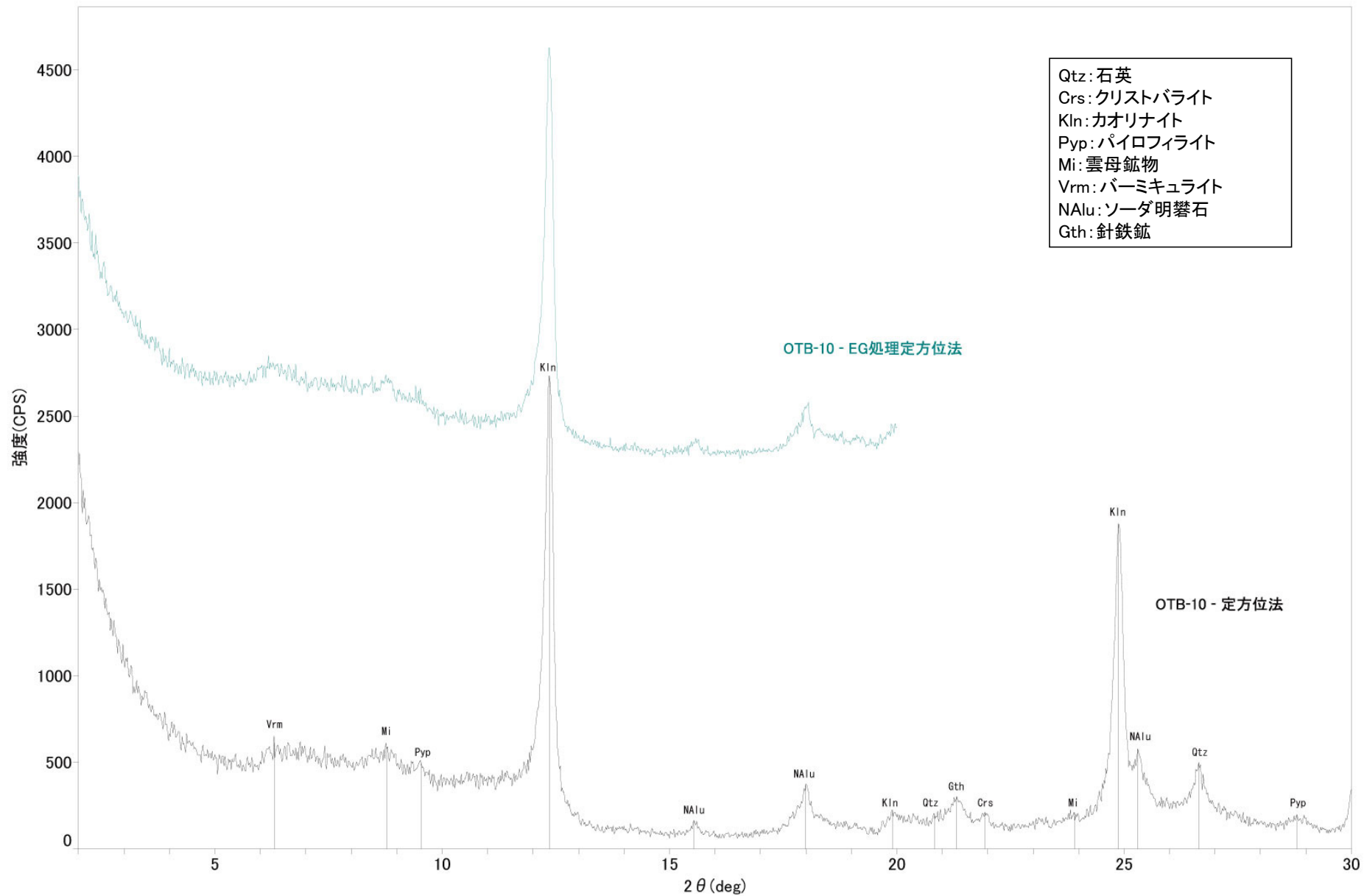
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-09 -X線回折チャート 定方位-



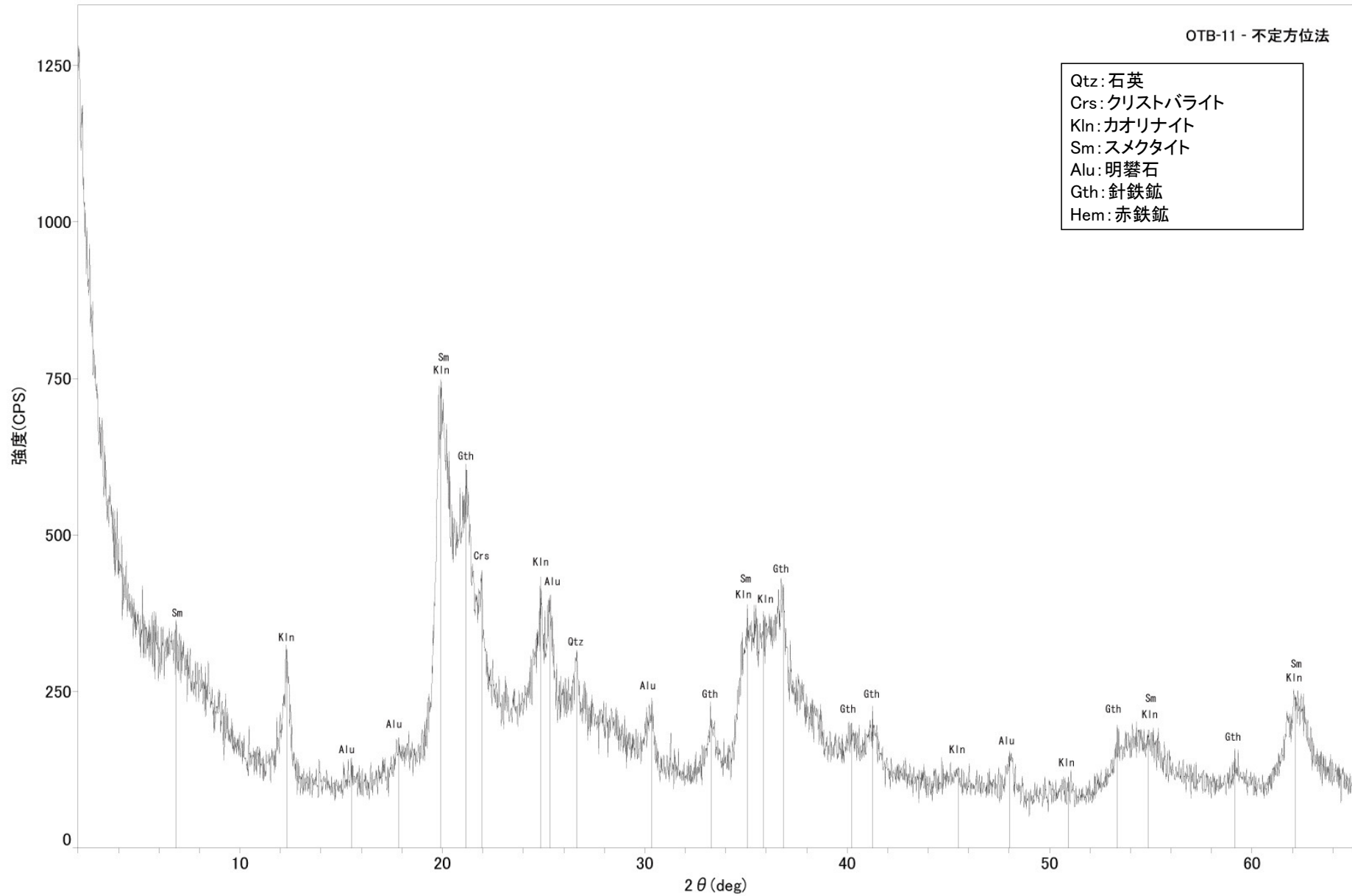
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-10 -X線回折チャート 不定方位-



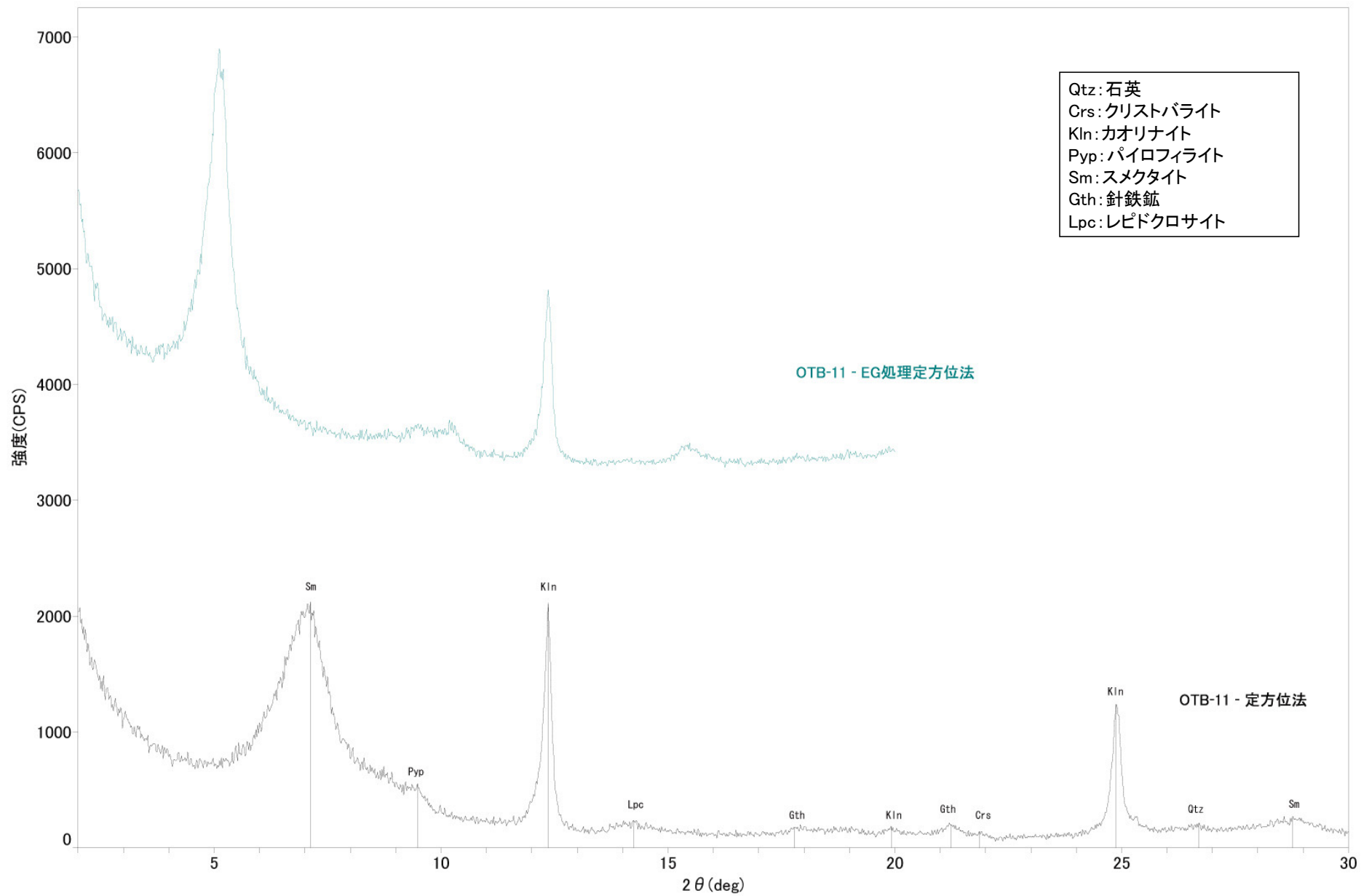
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-10 -X線回折チャート 定方位-



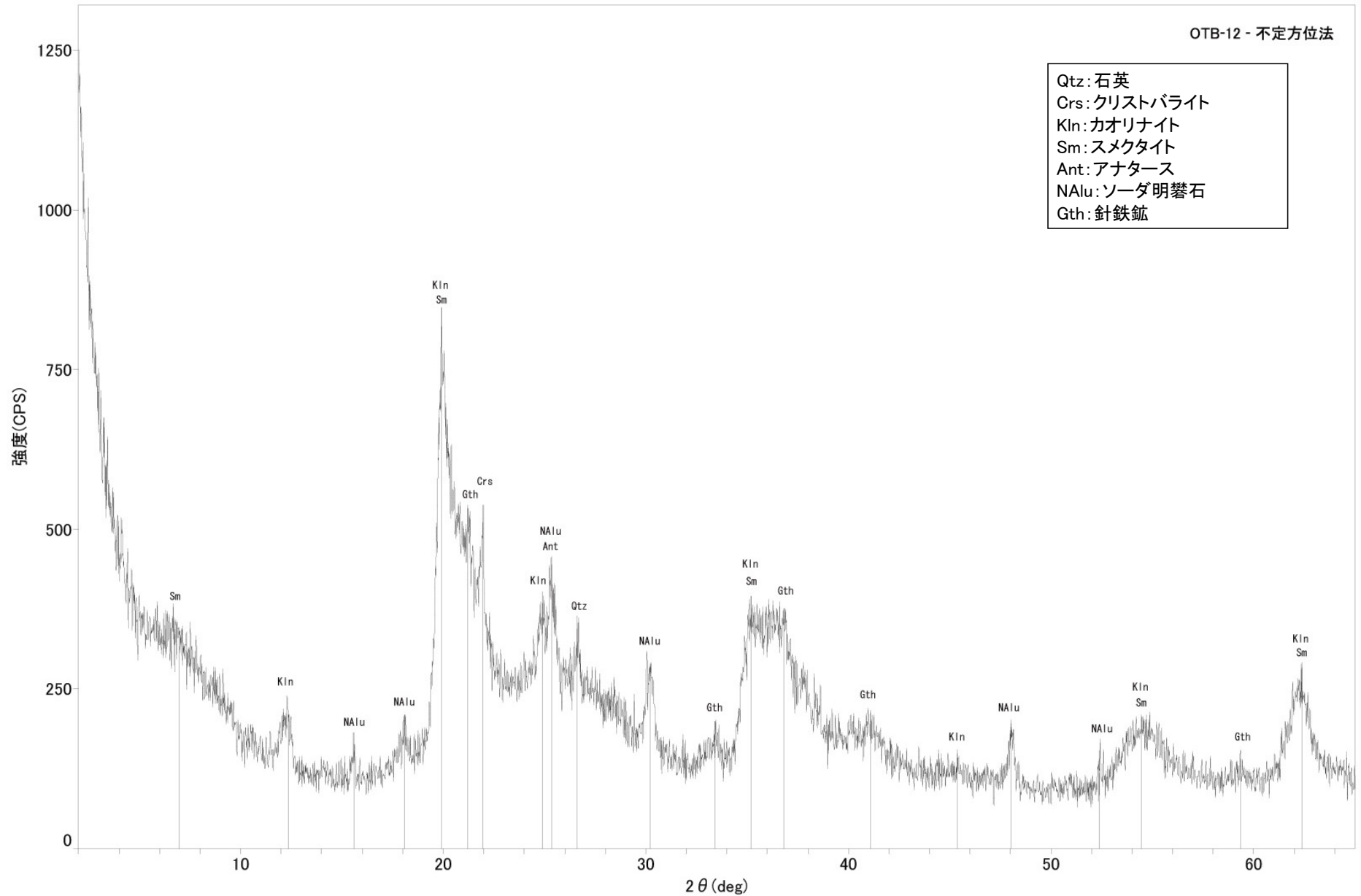
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-11 -X線回折チャート 不定方位-



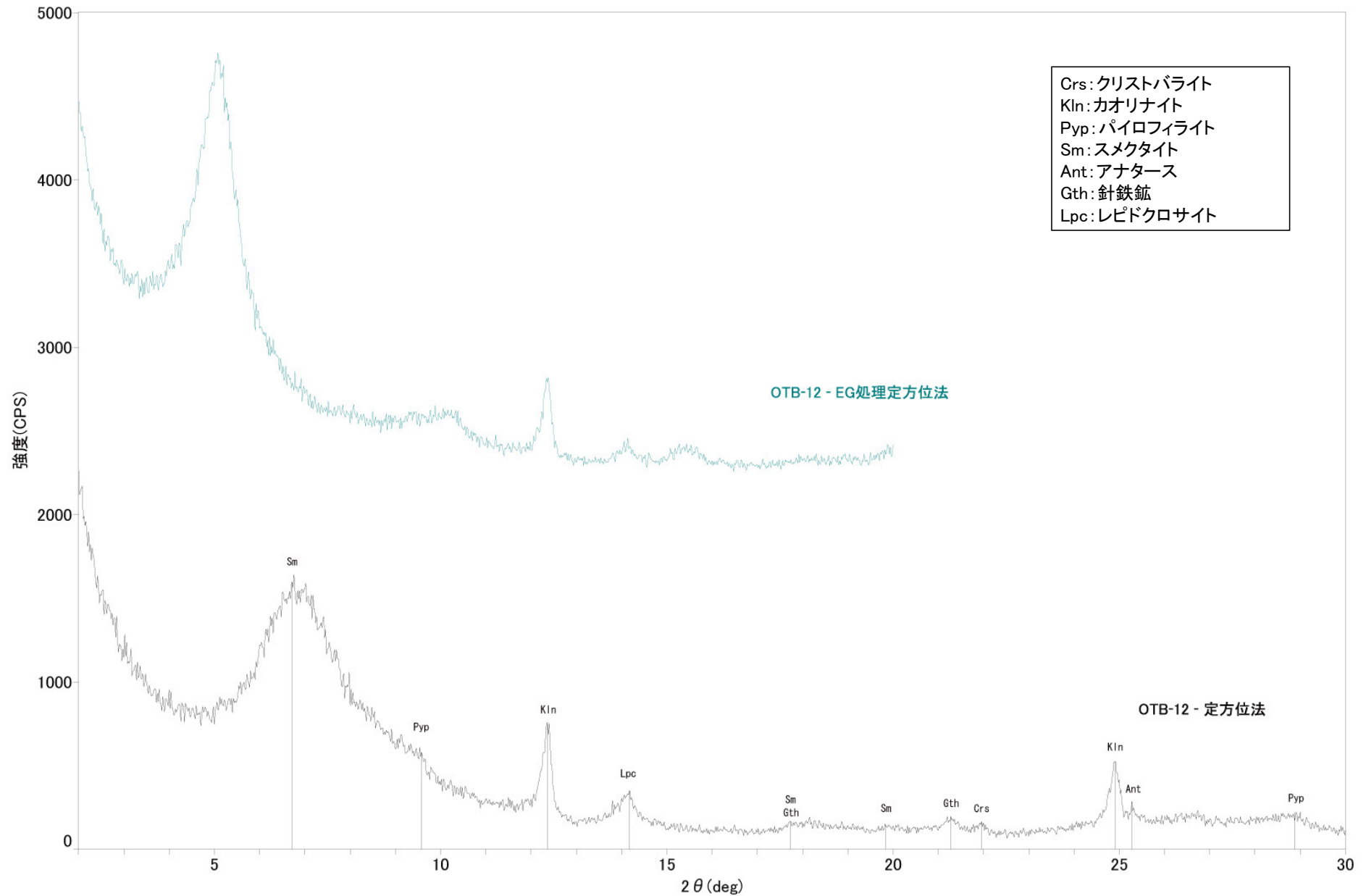
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-11 -X線回折チャート 定方位-



大坪川ダム右岸トレンチ OTB-12 -X線回折チャート 不定方位-



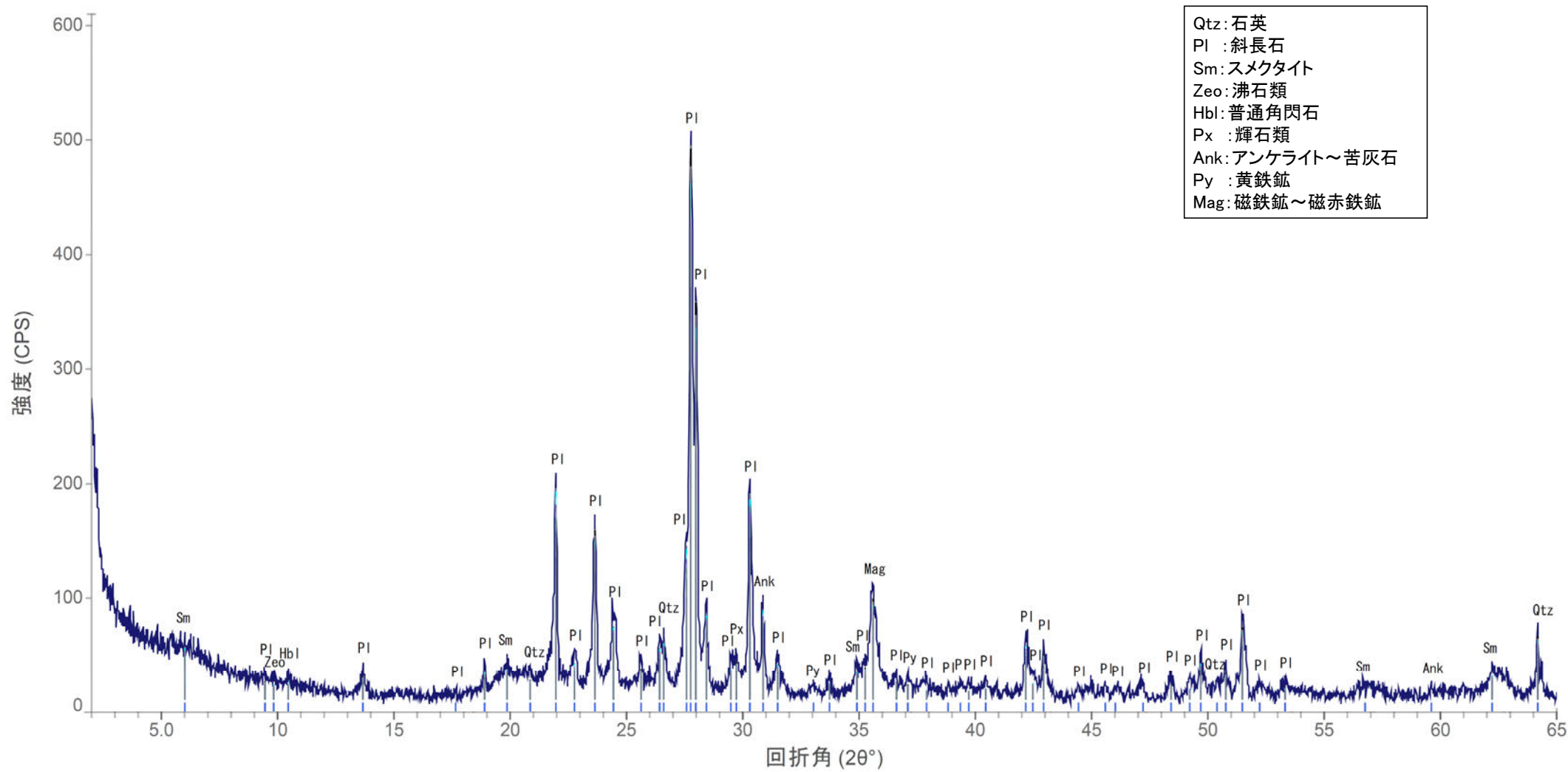
大坪川ダム右岸トレンチ OTB-12 -X線回折チャート 定方位-



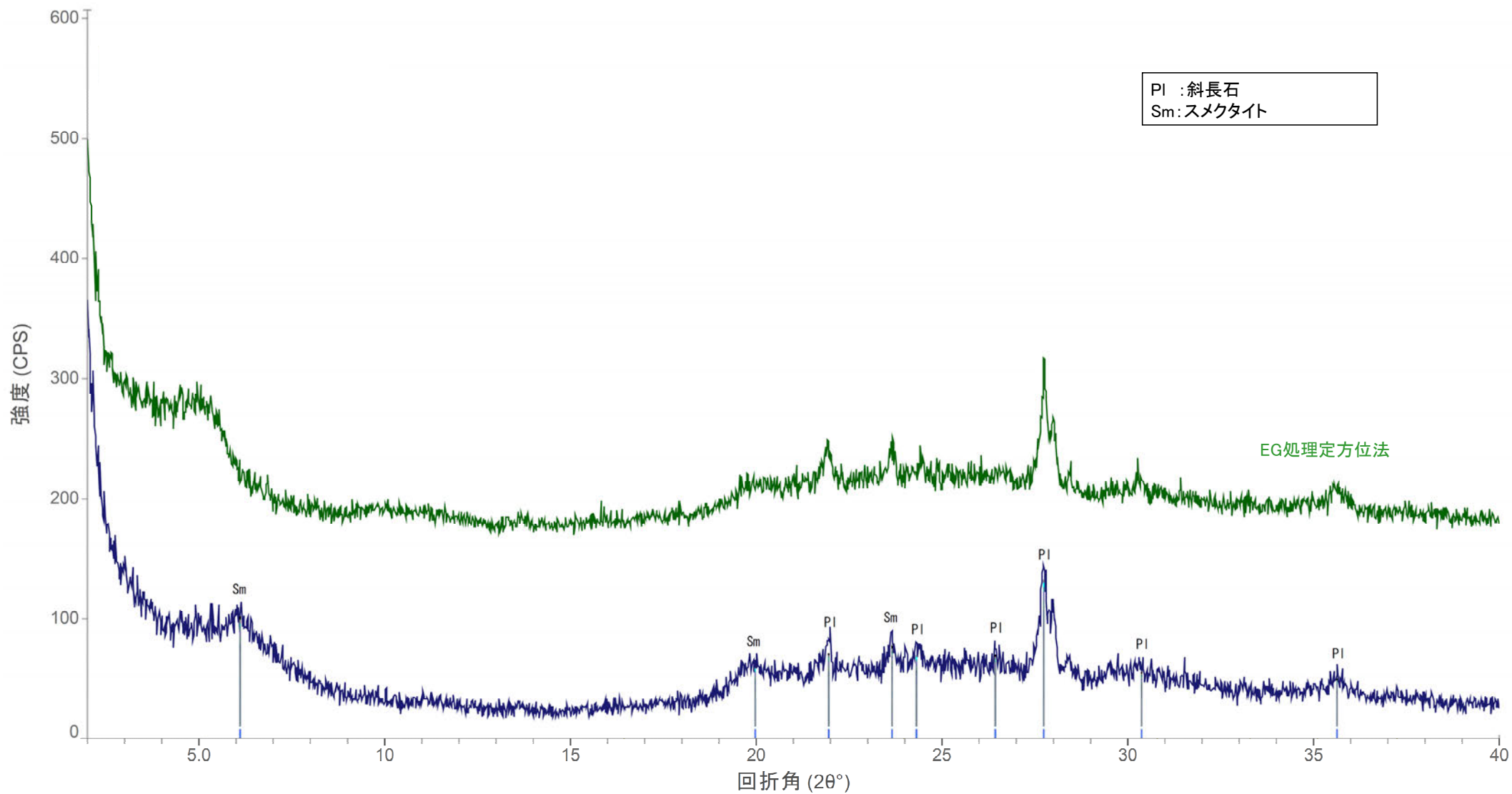
余白

(9) 福浦断層北端付近 XRD分析

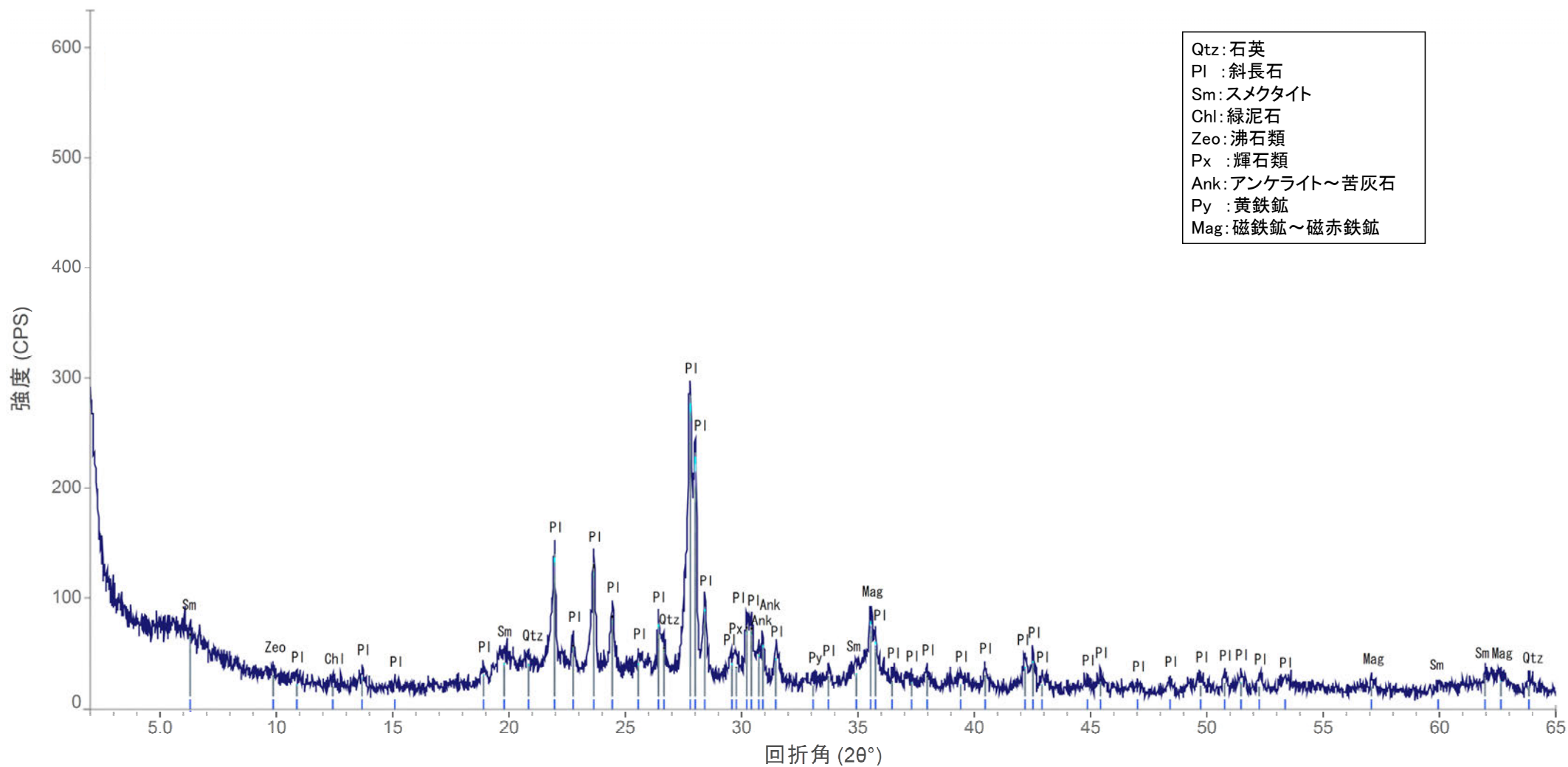
DE_E X線回折チャート 不定方位



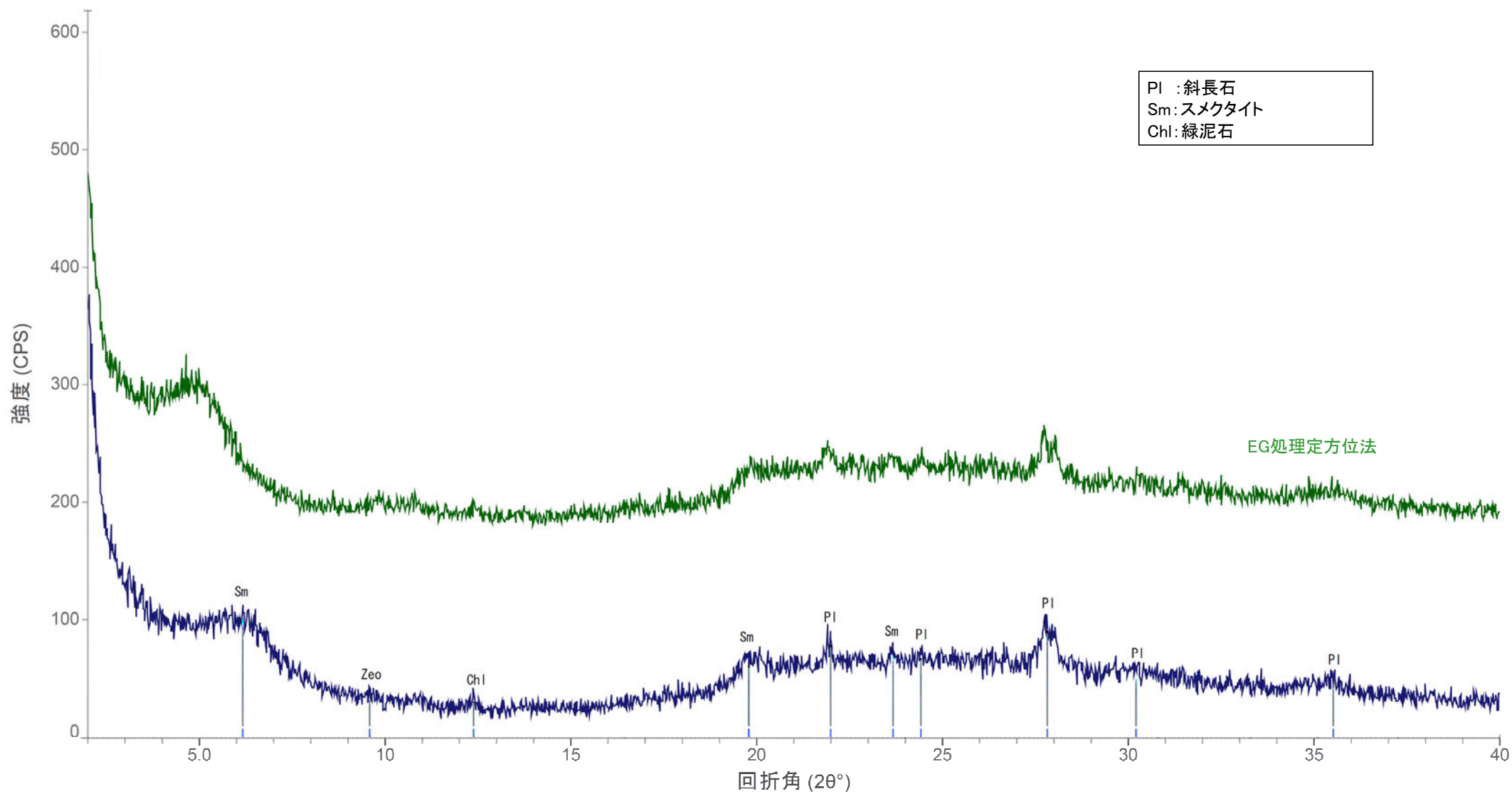
DE_E X線回折チャート 定方位, EG処理



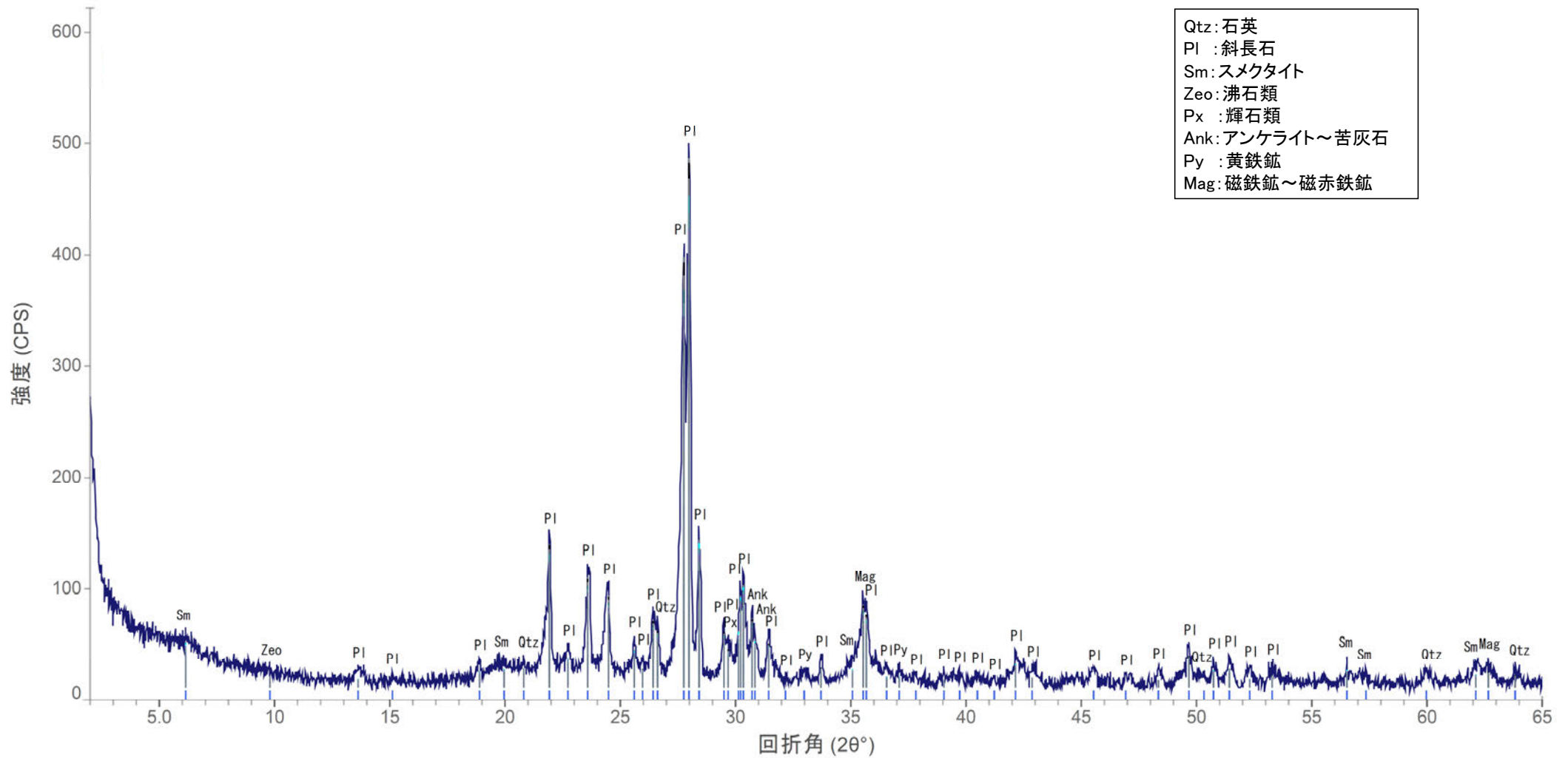
DE_M X線回折チャート 不定方位



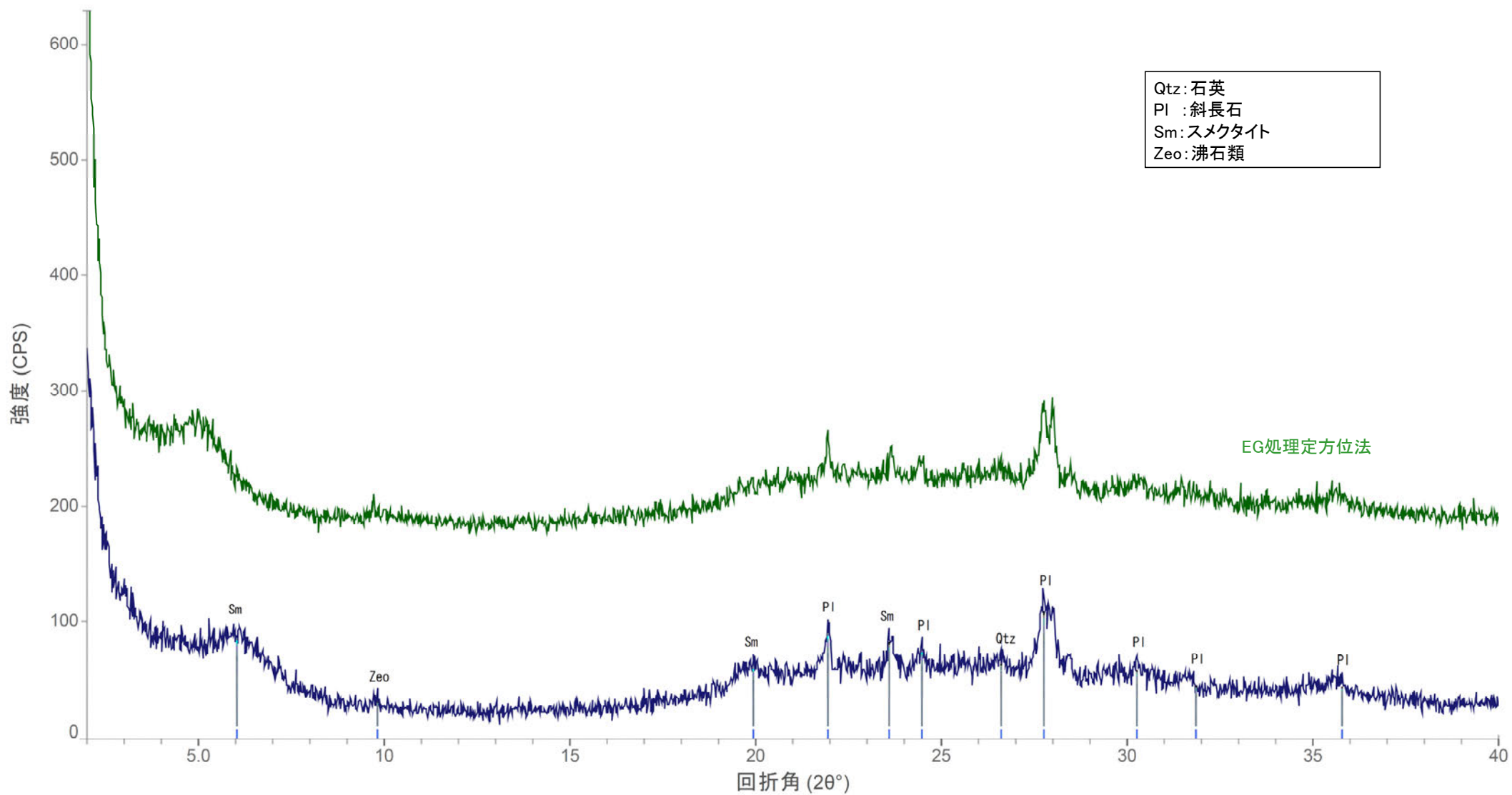
DE_M X線回折チャート 定方位, EG処理



DE_W X線回折チャート 不定方位



DE_W X線回折チャート 定方位, EG処理

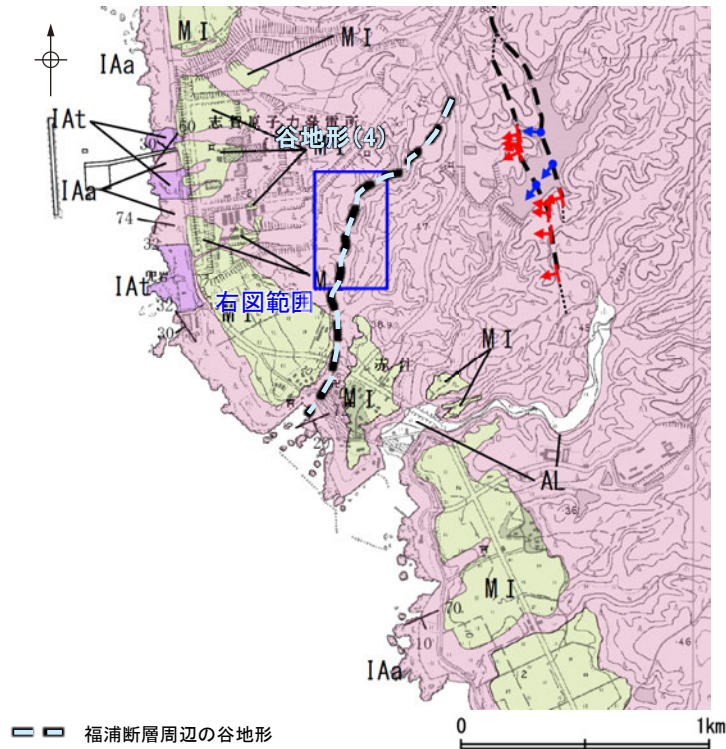


余白

(10) 福浦断層周辺に認められる谷地形 表土はぎ調査

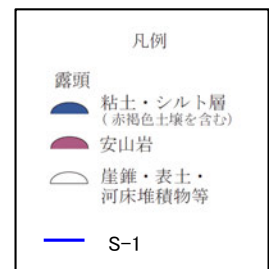
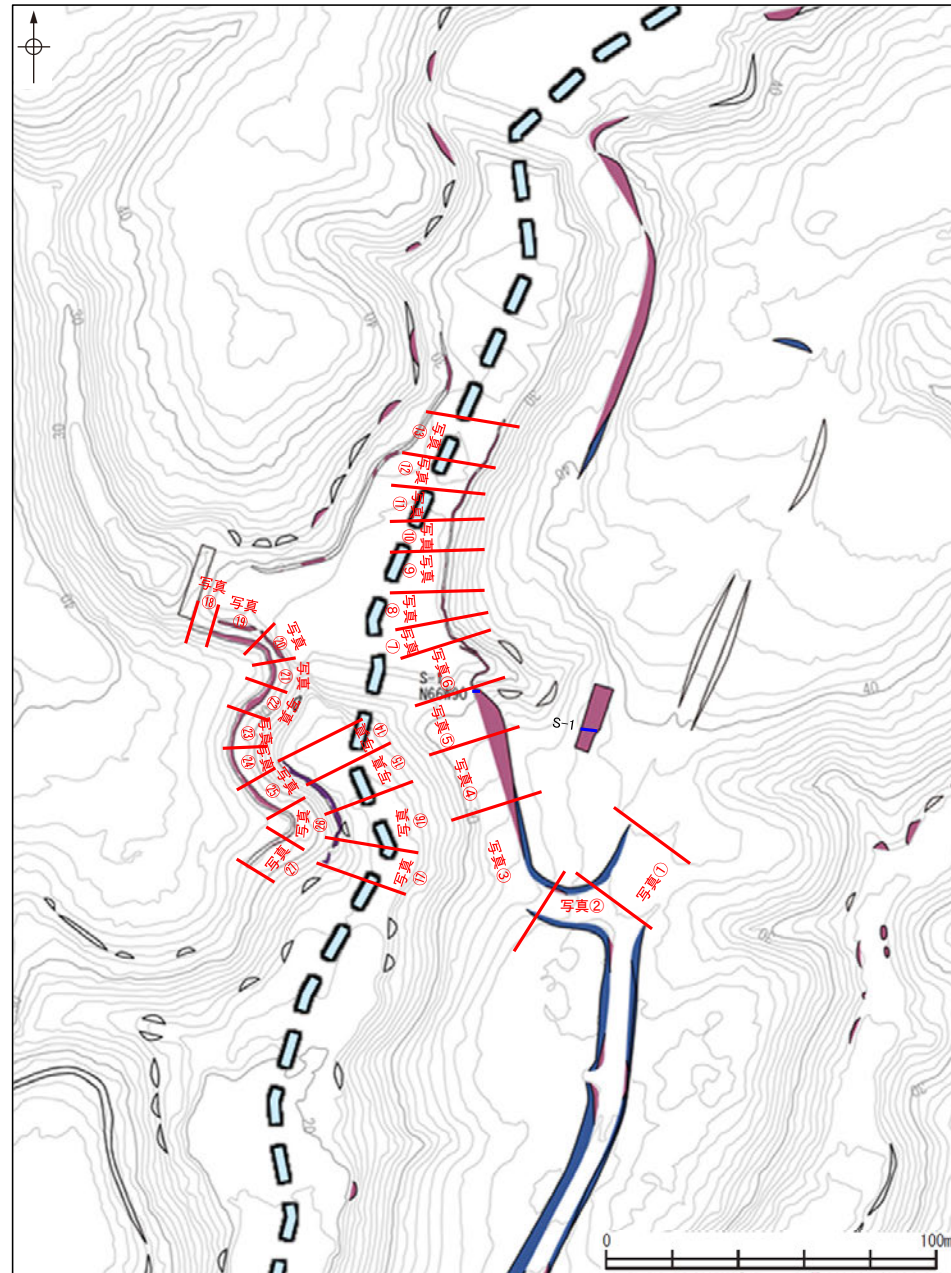
福浦断層周辺に認められる谷地形 表土はぎ調査 写真位置図

○谷の延長位置を横断して表土はぎ調査を実施した結果、穴水累層の安山岩及び凝灰角礫岩が連続して分布し、それらは非破碎であり、断層は認められない。
○全線の写真を次頁以降に示す。



— 福浦断層周辺の谷地形
+ 断層確認位置
- - - 断層位置
位置図

[地質]		地層・岩石名
第四紀 更新世	AL	沖積層
	OF	古期扇状地堆積層
	MI	中位段丘I面堆積層
第三紀 中新世	IAa	穴水累層 安山岩
	IAAt	穴水累層 安山岩質火砕岩(凝灰角礫岩)
	IAf	穴水累層 安山岩質火砕岩(凝灰岩)



地表踏査結果(ルートマップ)

←SW

NE→



写真①

←W

E→



写真②

←NW

SE→



写真③

←NW

SE→



写真④

←NW

SE→



S-1

写真⑤



写真⑥

←N

S→



写真⑦



写真⑧



写真⑨



写真⑩

←N

S→



写真⑪



写真⑫



写真⑬

←SE

NW→



写真⑭



写真⑮

1m

←SW

NE→



写真⑯



写真⑰

1m

←SE

NW→



写真⑱



写真⑲



写真⑳

←SW

NE→



写真㉑



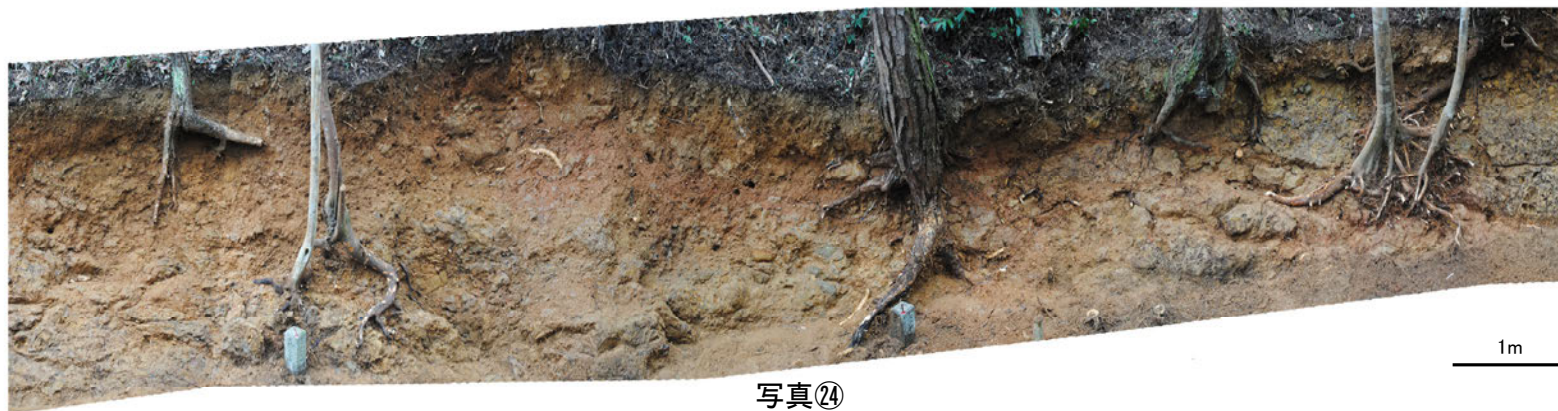
写真㉒



写真㉓

←SE

NW→



←SW

NE→



写真②⑥

←SE

NW→

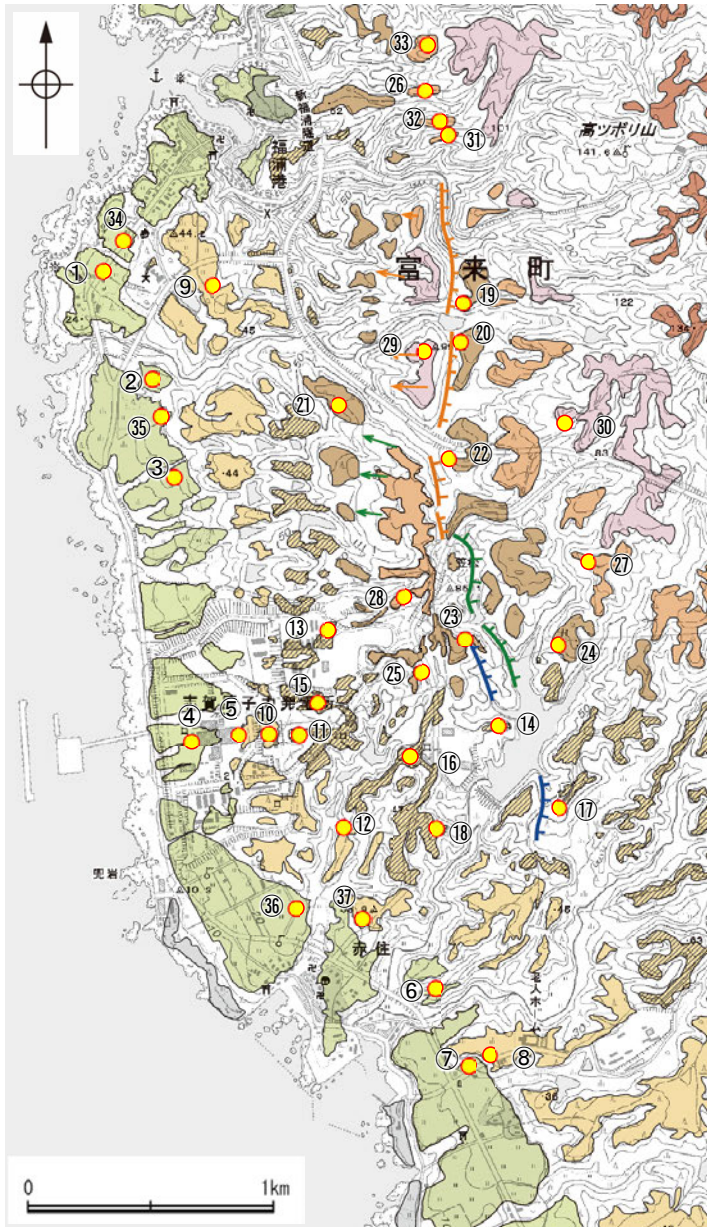


写真②⑦

(11) 福浦断層周辺 段丘面調査

福浦断層周辺の段丘面調査

○福浦断層周辺には、中位段丘Ⅰ面、高位段丘面(Ⅰa面、Ⅰb面、Ⅱ面、Ⅲ面、Ⅳ面)が分布している。
○これらの段丘面上については、露頭調査、トレンチ調査、ピット調査、ボーリング調査、コアサンプラー調査、検土杖調査を実施し、地質データを取得している。



段丘面分布図

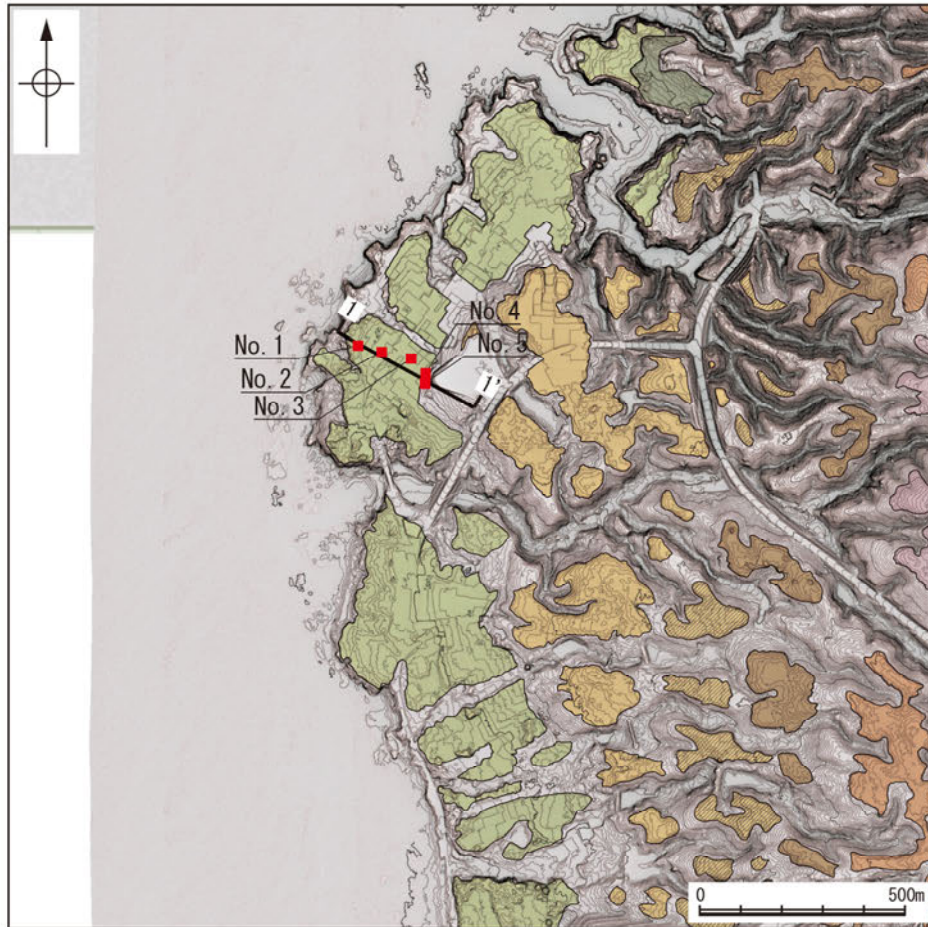
テフラの年代(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万~3万年前
K-Tz: 9.5万年前

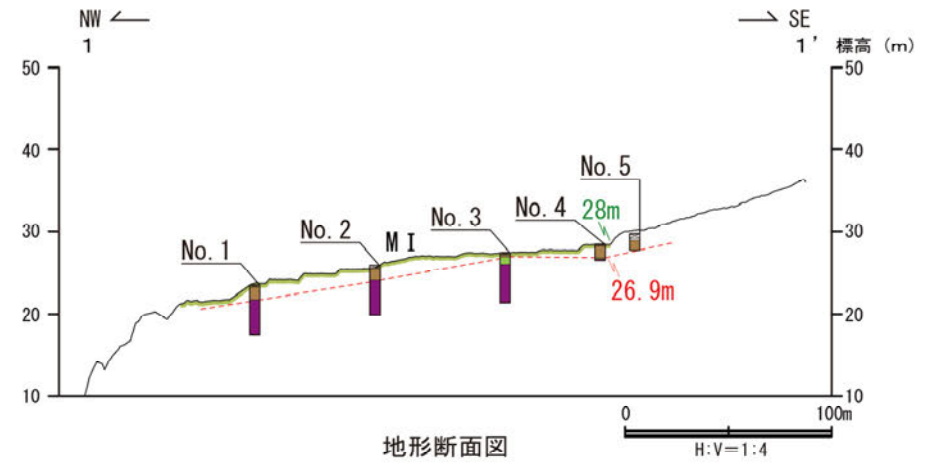
×: 火山灰検出せず
-: 分析未実施

調査地点	段丘面区分	調査方法	土壌(火山灰)
①	中位段丘Ⅰ面	ピット、ボーリング、コアサンプラー調査	赤褐色土壌あり(AT, K-Tz)
②	中位段丘Ⅰ面	ピット調査	赤褐色土壌あり(AT, K-Tz)
③	中位段丘Ⅰ面	ピット調査	赤褐色土壌あり(AT, K-Tz)
④	中位段丘Ⅰ面	ボーリング調査	赤褐色土壌あり(AT, K-Tz)
⑤	高位段丘Ⅰa面	ボーリング調査	赤褐色土壌あり(AT, K-Tz)
⑥	中位段丘Ⅰ面	ピット調査	赤褐色土壌あり(K-Tz)
⑦	中位段丘Ⅰ面	コアサンプラー調査	赤褐色土壌あり(AT, K-Tz)
⑧	高位段丘Ⅰa面	露頭調査	赤色土壌あり(-)
⑨	高位段丘Ⅰa面	ボーリング調査	赤色土壌あり(x)
⑩	高位段丘Ⅰa面	ボーリング調査	赤褐色土壌あり(AT, K-Tz)
⑪	高位段丘Ⅰb面	ボーリング調査	なし(-)
⑫	高位段丘Ⅰa面	トレンチ調査	赤色土壌あり(AT, K-Tz)
⑬	高位段丘Ⅰb面	ピット調査	赤色土壌あり(-)
⑭	高位段丘Ⅰb面	露頭調査	赤色土壌あり(-)
⑮	高位段丘Ⅰb面	ピット調査	赤色土壌あり(-)
⑯	高位段丘Ⅰb面	露頭調査	赤色土壌あり(-)
⑰	高位段丘Ⅰb面	露頭調査	赤色土壌あり(-)
⑱	高位段丘Ⅰb面	露頭調査	赤色土壌あり(-)
⑲	高位段丘Ⅱ面	コアサンプラー調査	赤色土壌あり(K-Tz)
⑳	高位段丘Ⅱ面	コアサンプラー調査	赤色土壌あり(-)
㉑	高位段丘Ⅱ面	露頭調査	赤色土壌あり(-)
㉒	高位段丘Ⅱ面	コアサンプラー調査	赤色土壌あり(-)
㉓	高位段丘Ⅱ面	コアサンプラー調査	赤色土壌あり(-)
㉔	高位段丘Ⅱ面	露頭調査	赤色土壌あり(-)
㉕	高位段丘Ⅱ面	露頭調査	赤色土壌あり(-)
㉖	高位段丘Ⅲ面	露頭調査	なし(x)
㉗	高位段丘Ⅲ面	露頭調査	赤色土壌あり(-)
㉘	高位段丘Ⅲ面	ピット調査	赤色土壌あり(-)
㉙	高位段丘Ⅳ面	ピット調査	赤色土壌あり(-)
㉚	高位段丘Ⅳ面	露頭調査	赤色土壌あり(K-Tz)
㉛	高位段丘Ⅲ面	検土杖調査	赤褐色土壌あり(AT, K-Tz)
㉜	高位段丘Ⅲ面	検土杖調査	赤褐色土壌あり(AT, K-Tz)
㉝	高位段丘Ⅲ面	検土杖調査	赤褐色土壌あり(AT)
㉞	中位段丘Ⅰ面	ボーリング調査	なし(AT)
㉟	中位段丘Ⅰ面	ボーリング調査	なし(AT, K-Tz)
㊱	中位段丘Ⅰ面	露頭調査	赤褐色土壌あり(AT, K-Tz)
㊲	高位段丘Ⅰa面	露頭調査	赤色土壌あり(K-Tz)

①中位段丘 I 面 段丘面調査結果



調査位置図

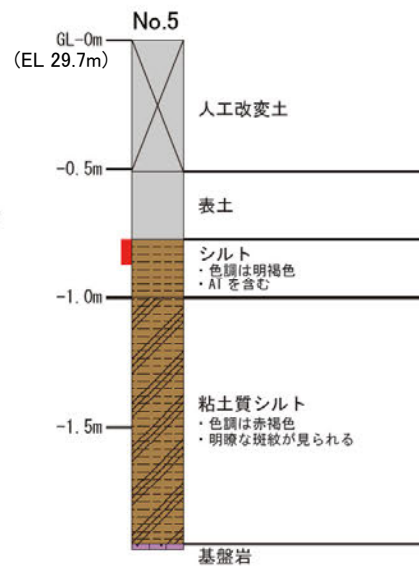
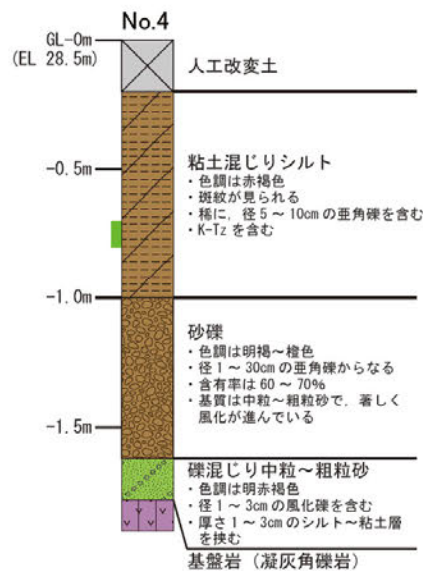
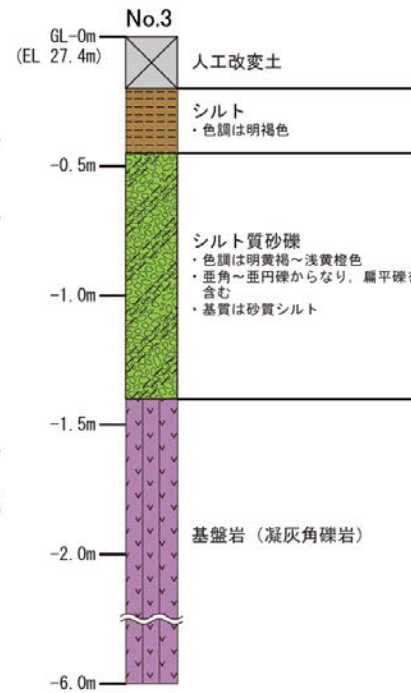
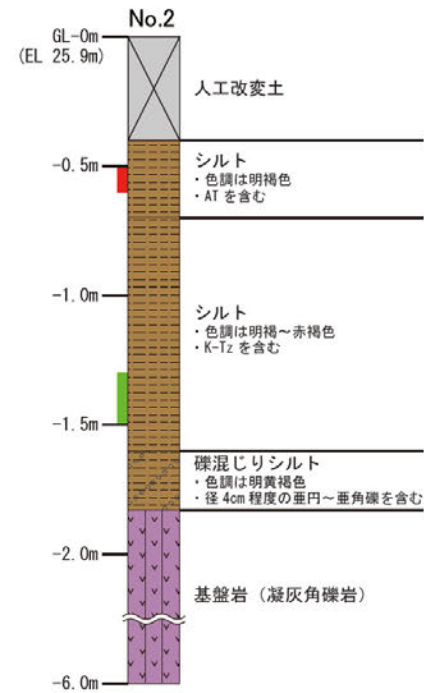
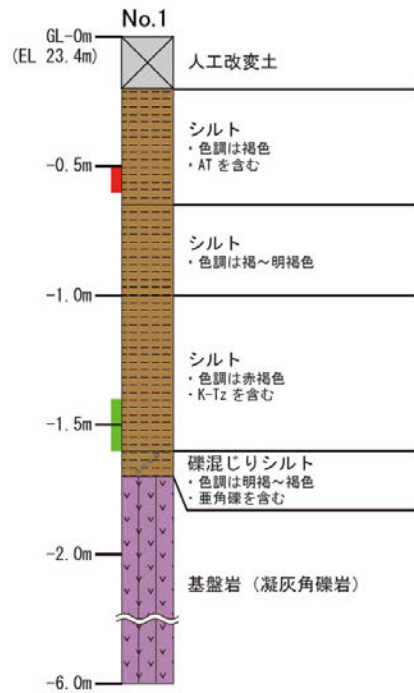


地形断面図

凡 例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕
高位段丘IV面	人工改变土
高位段丘III面	表土
高位段丘II面	被覆層
高位段丘I b面	海成堆積物
高位段丘I a面	基盤岩
中位段丘I面	23m 段丘面内縁標高
古期扇状地面	20.0m 旧汀線高度
No. 1 調査位置	
1' 断面線	

【柱状図】



柱状図



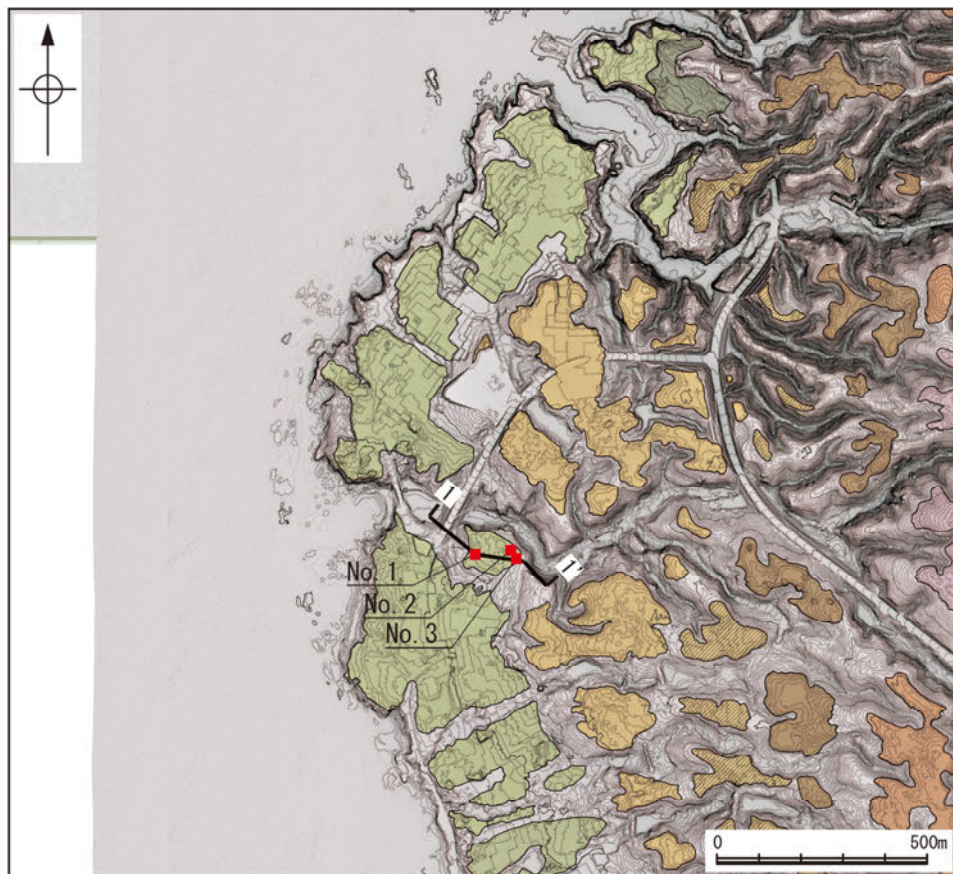
ピット写真 (No. 4)

凡例

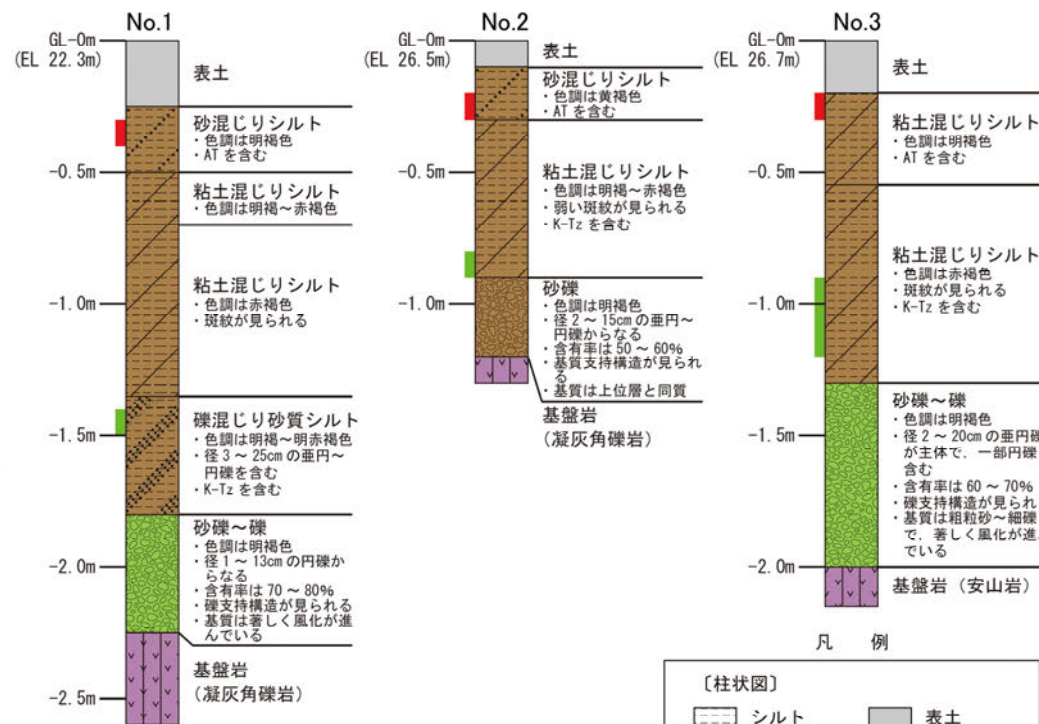
【柱状図】	
	シルト
	砂
	砂礫
	粘土混じり
	粘土質
	シルト質
	礫混じり
	人工改変土
	表土
	被覆層
	海成堆積物
	基盤岩
	AT
	K-Tz

テフラの年代
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万～3万年前
K-Tz: 9.5万年前

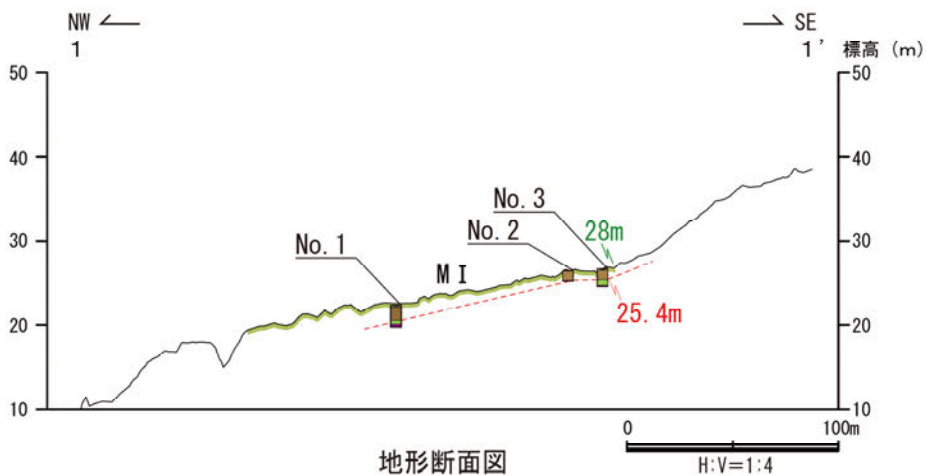
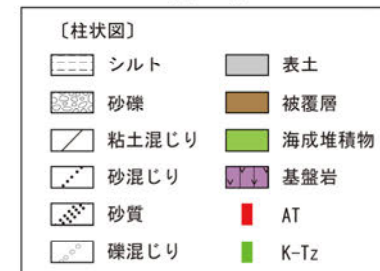


調査位置図

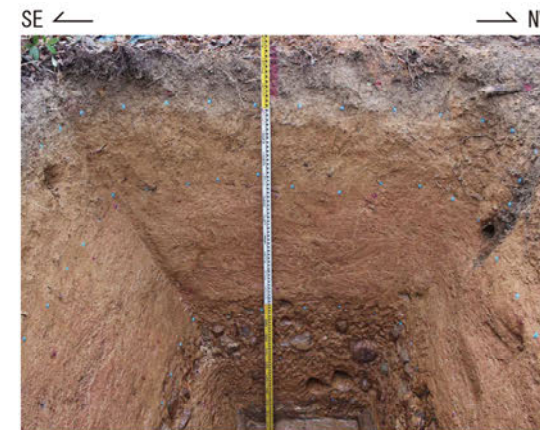


テフラの年代
(町田・新井, 2011)
 AT: 2.8万～3万年前
 K-Tz: 9.5万年前

柱状図

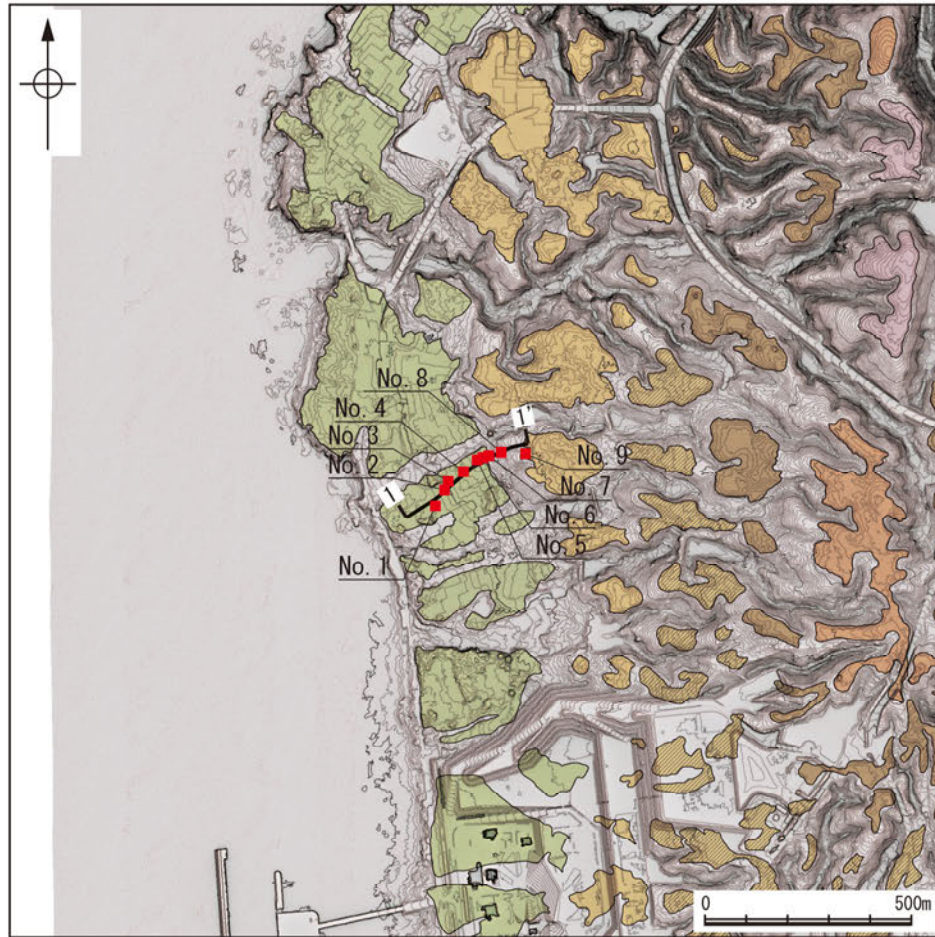


地形断面図

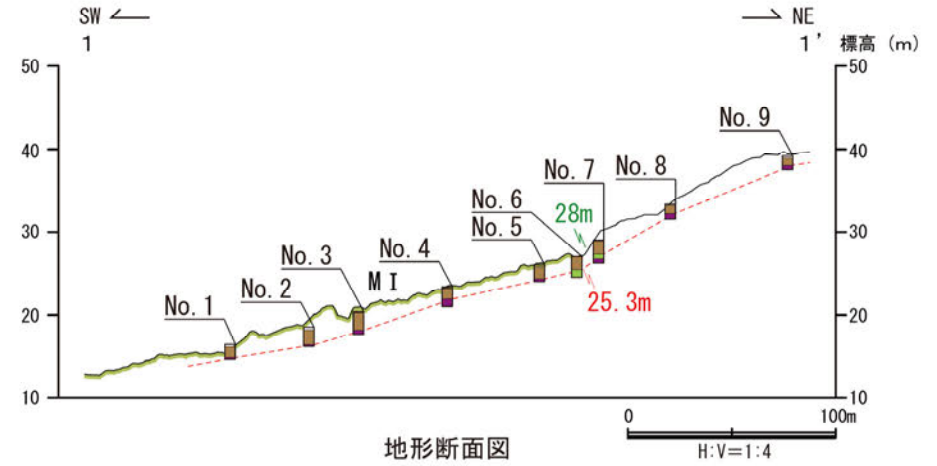


ピット写真 (No. 3)

③中位段丘 I 面 段丘面調査結果



調査位置図

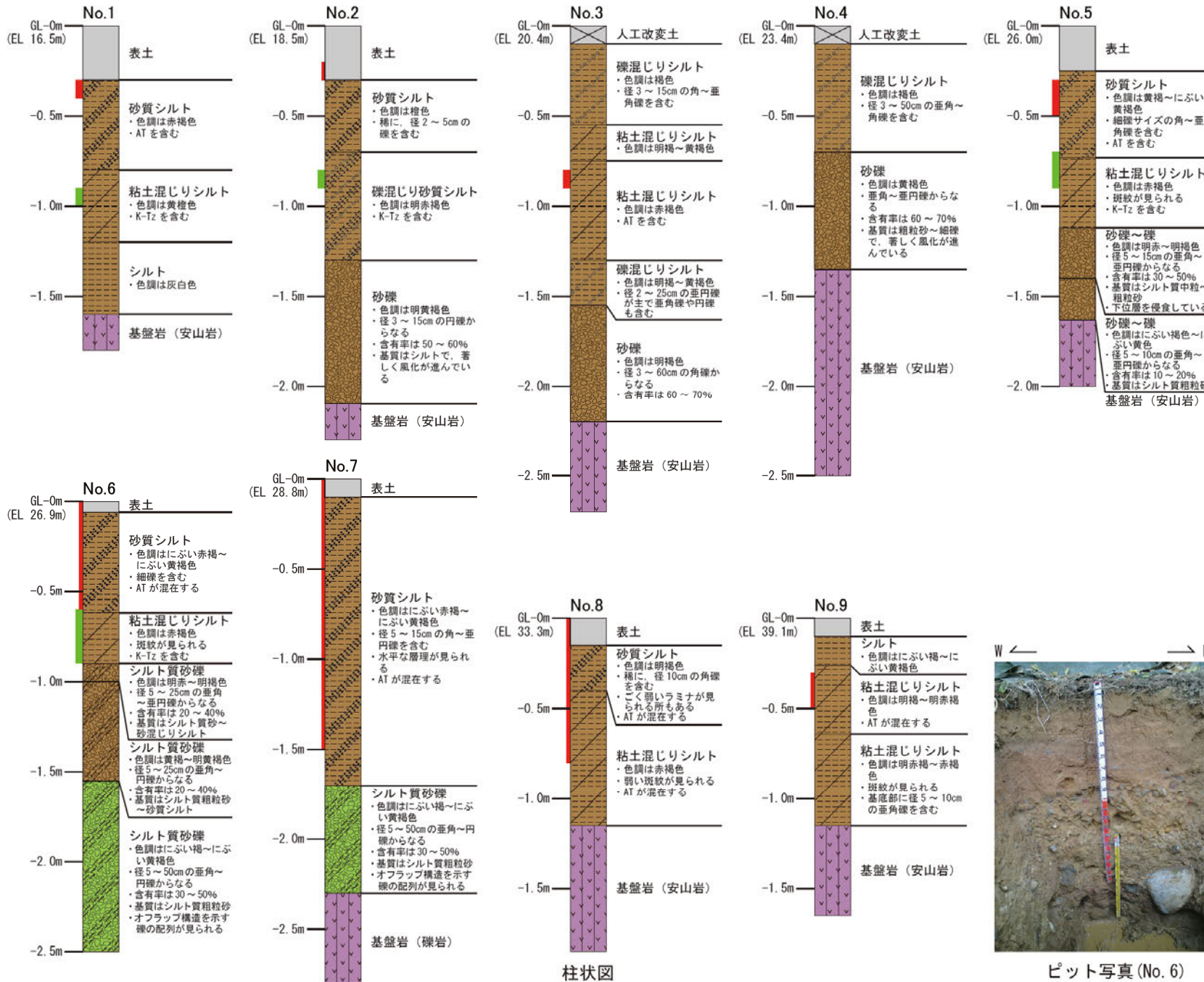


地形断面図

凡 例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕
高位段丘IV面	人工改変土
高位段丘III面	表土
高位段丘II面	被覆層
高位段丘I b面	海成堆積物
高位段丘I a面	基盤岩
中位段丘I面	23m 段丘面内縁標高
No. 1 調査位置	20.0m 旧汀線高度
断面線	

【柱状図】



テフラの年代
(町田・新井, 2011)
AT: 2.8万~3万年前
K-Tz: 9.5万年前

凡 例

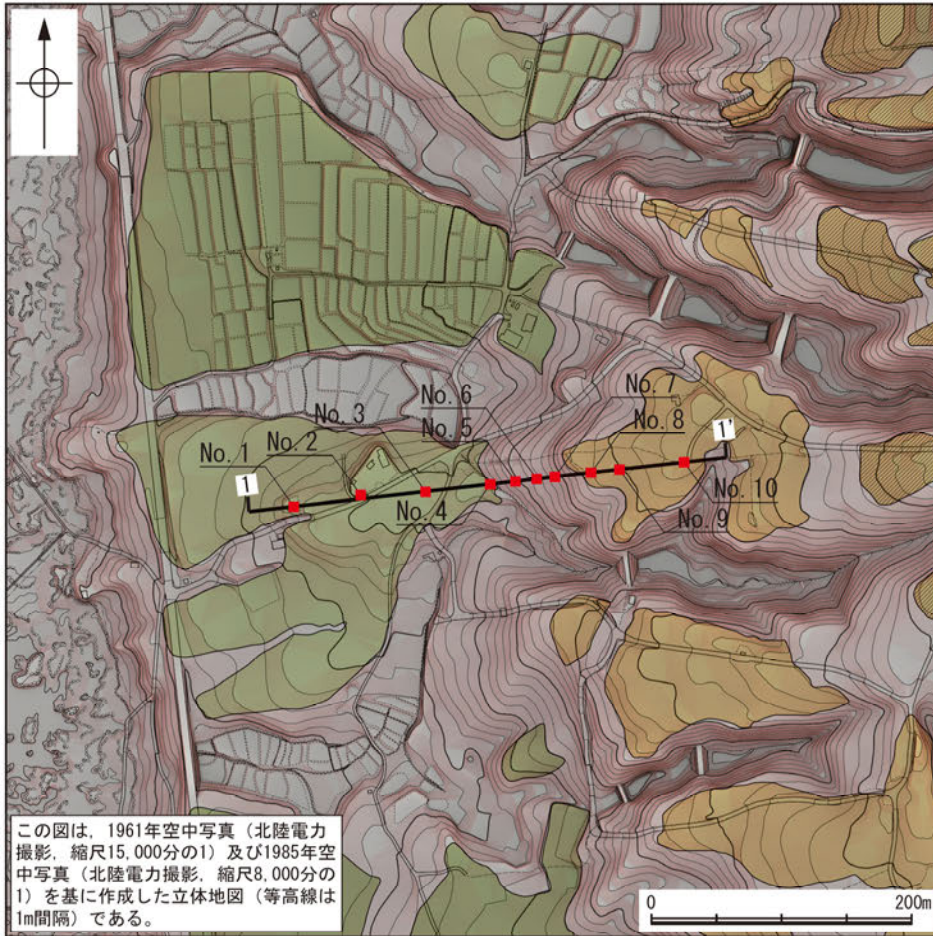
- 〔柱状図〕
- シルト
- 砂礫
- 粘土混じり
- シルト質
- 砂質
- 礫混じり
- 人工改変土
- 表土
- 被覆層
- 海成堆積物
- 基盤岩
- AT
- AT混在
- K-Tz



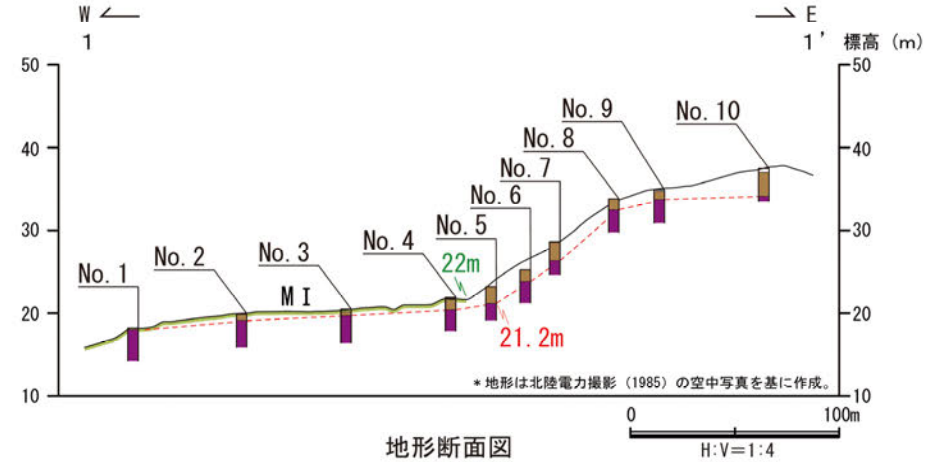
ピット写真 (No. 6)

柱状図

④中位段丘 I 面, ⑤高位段丘 I a面 段丘面調査結果



調査位置図

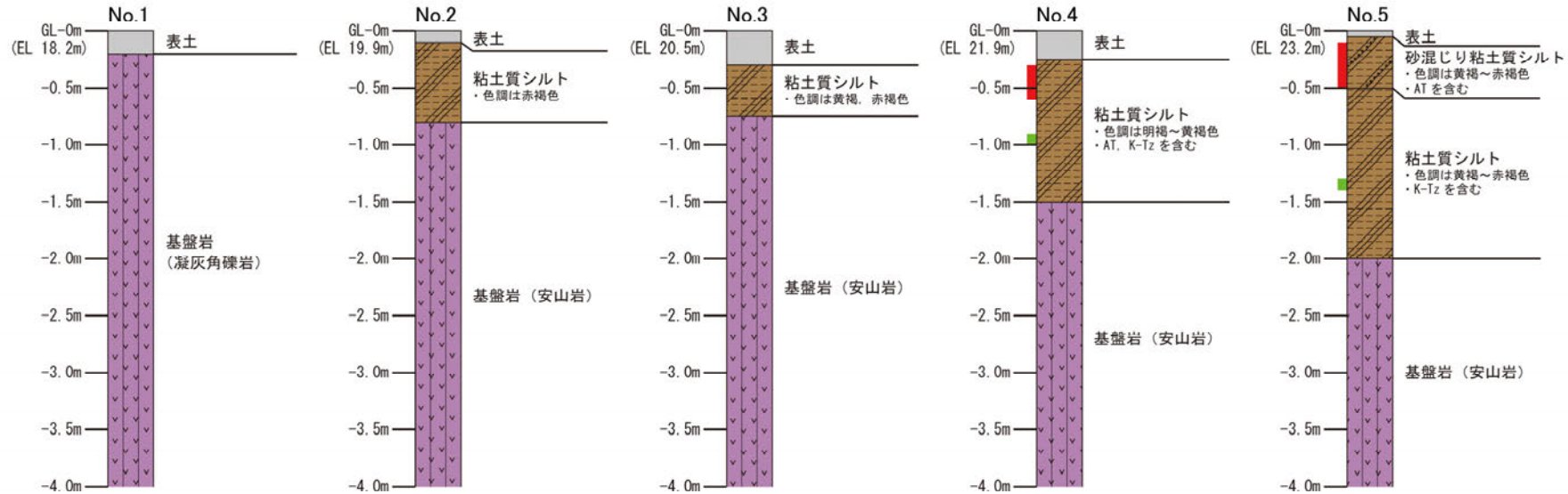


本測線の地質データは、1号機建設前(S60, 61年)にボーリング調査によって取得されており、コアの状況が悪く、海成堆積物の識別が困難である。

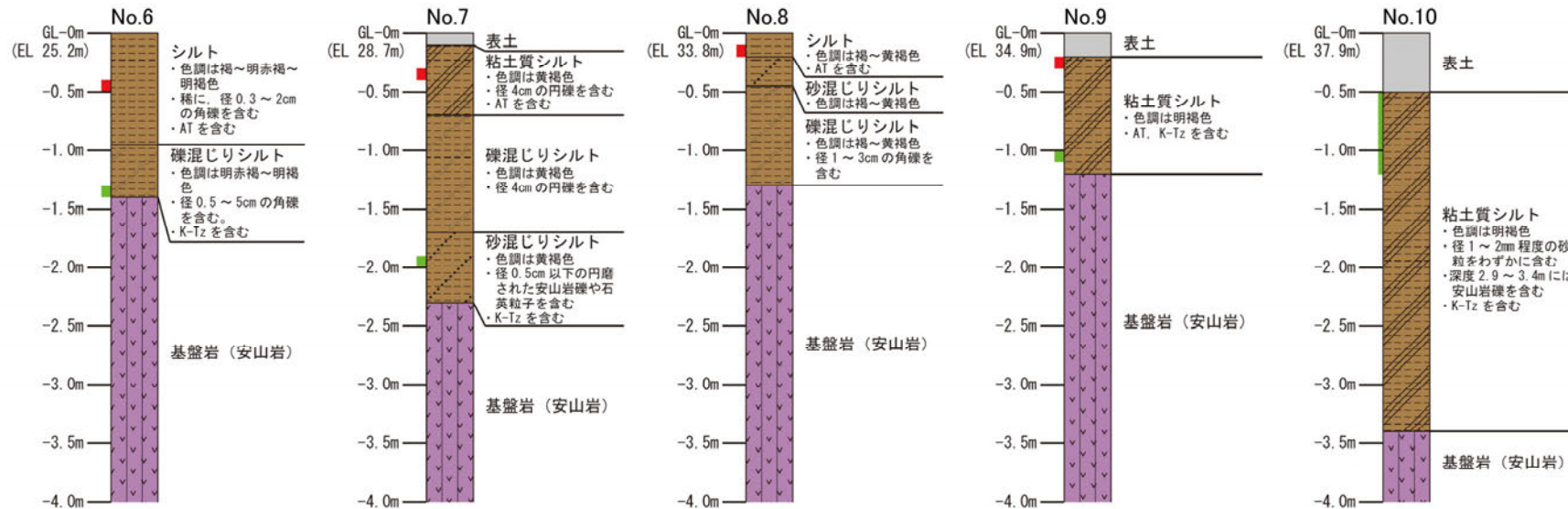
凡 例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕
高位段丘 I b面	表土
高位段丘 I a面	被覆層
中位段丘 I 面	基盤岩
No. 1 調査位置	23m 段丘面内縁標高
1' 断面線	20.0m 旧汀線高度

【柱状図】



テフラの年代
(町田・新井, 2011)
AT: 2.8万～3万年前
K-Tz: 9.5万年前



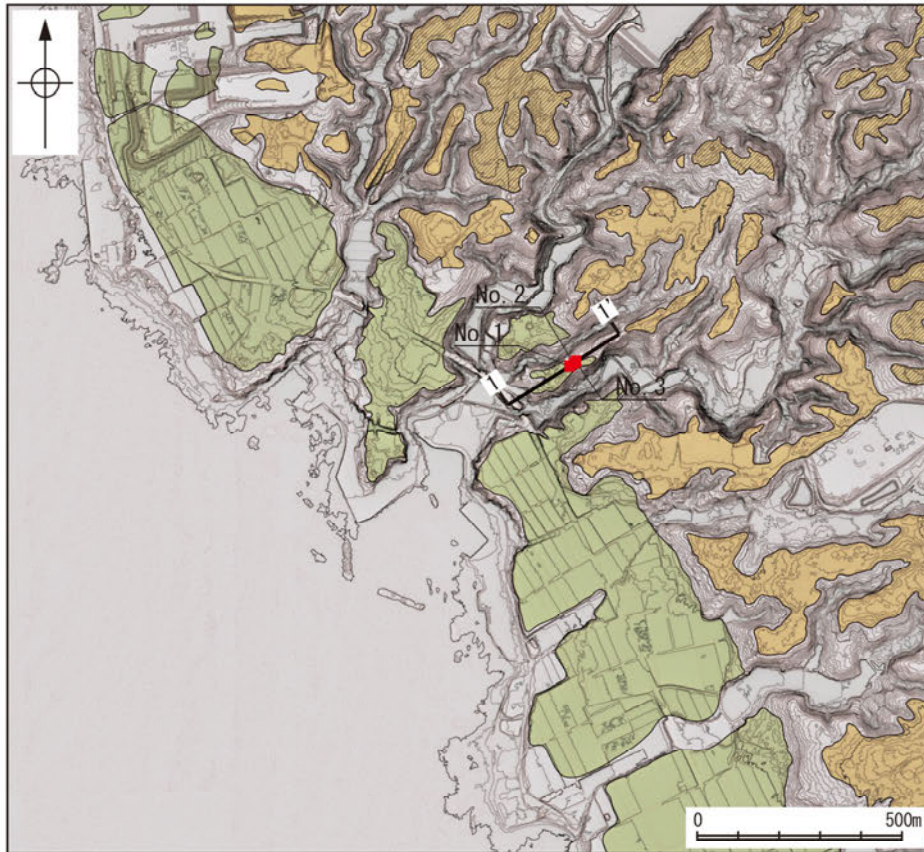
凡例

〔柱状図〕

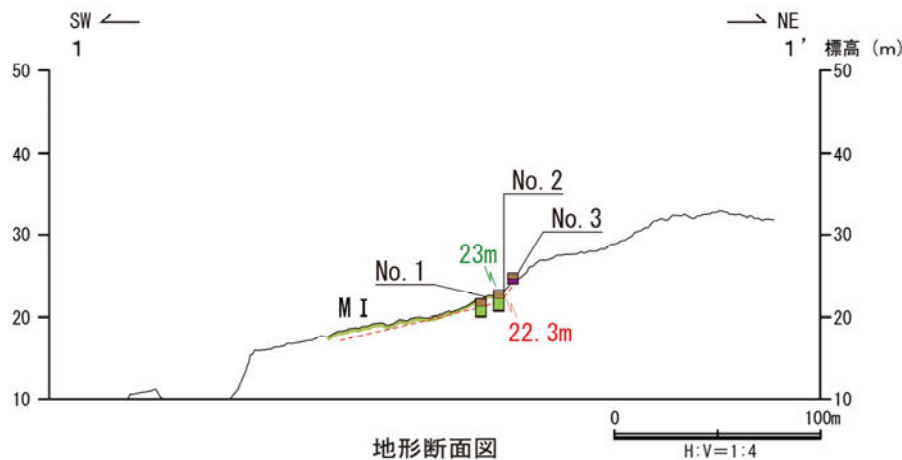
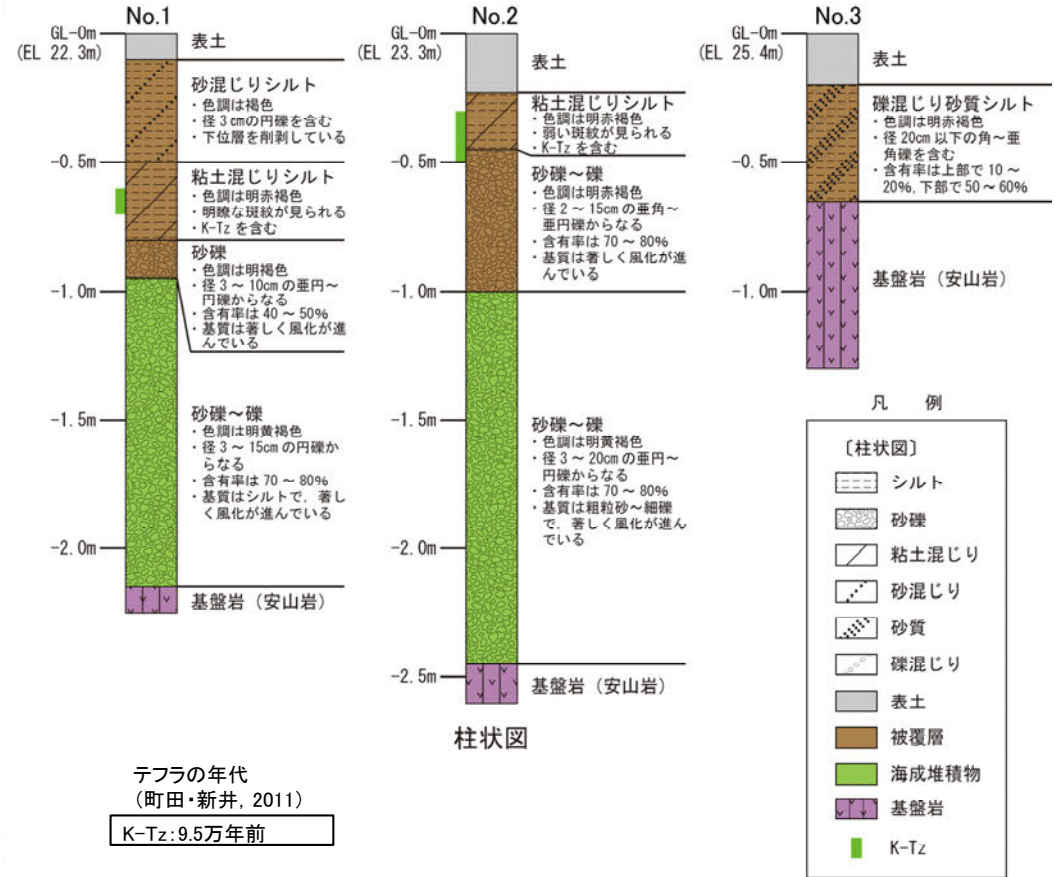
- シルト
- 粘土質
- 砂混じり
- 礫混じり
- 表土
- 被覆層
- 基盤岩
- AT
- K-Tz
- K-Tz混在

柱状図

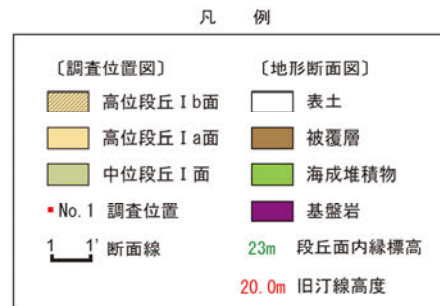
⑥中位段丘 I 面 段丘面調査結果



調査位置図

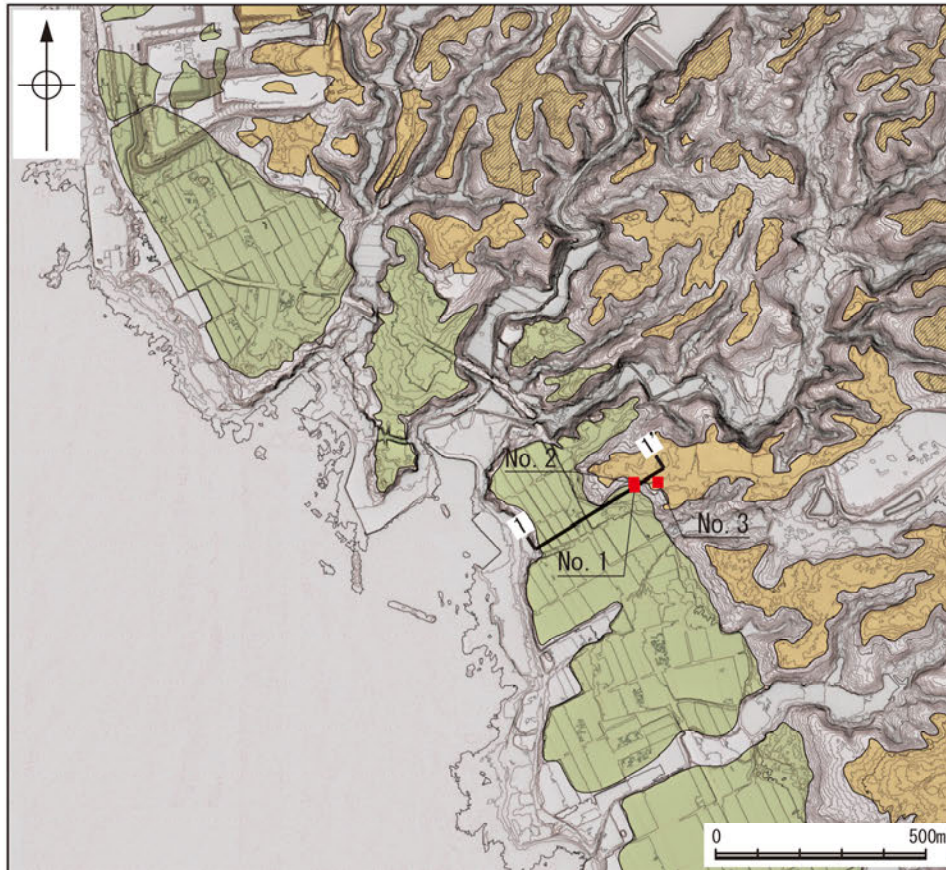


地形断面図

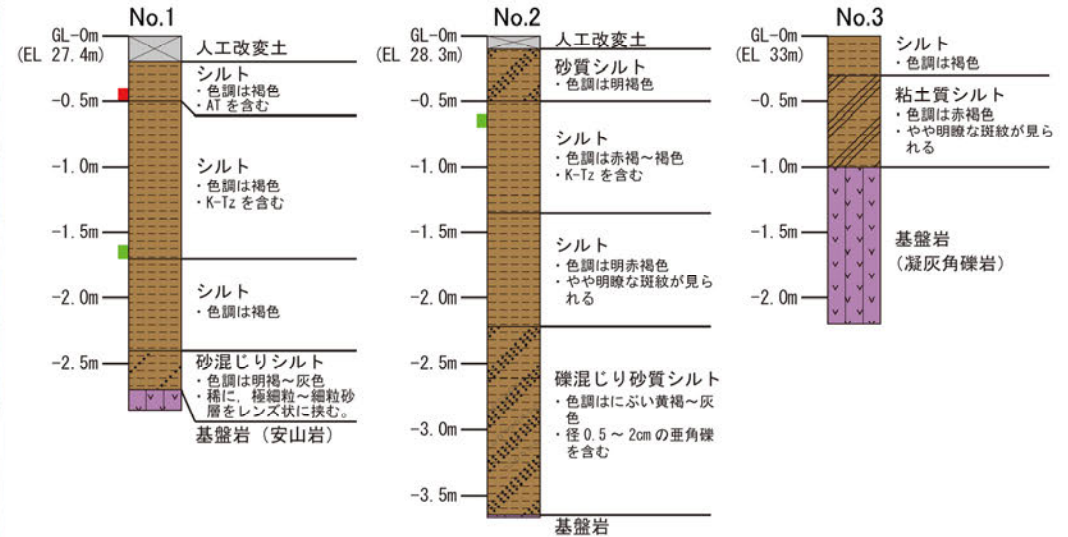


ピット写真 (No. 2)

⑦中位段丘 I 面, ⑧高位段丘 I a面 段丘面調査結果



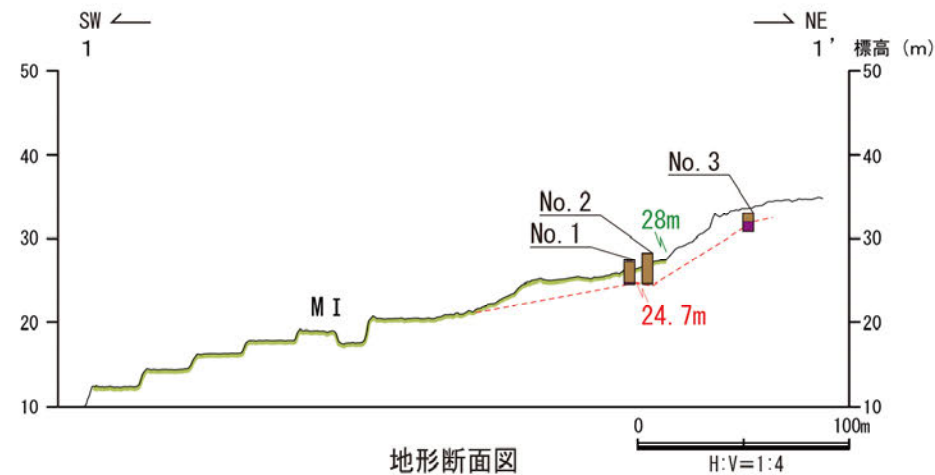
調査位置図



柱状図

テフラの年代
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万~3万年前
K-Tz: 9.5万年前

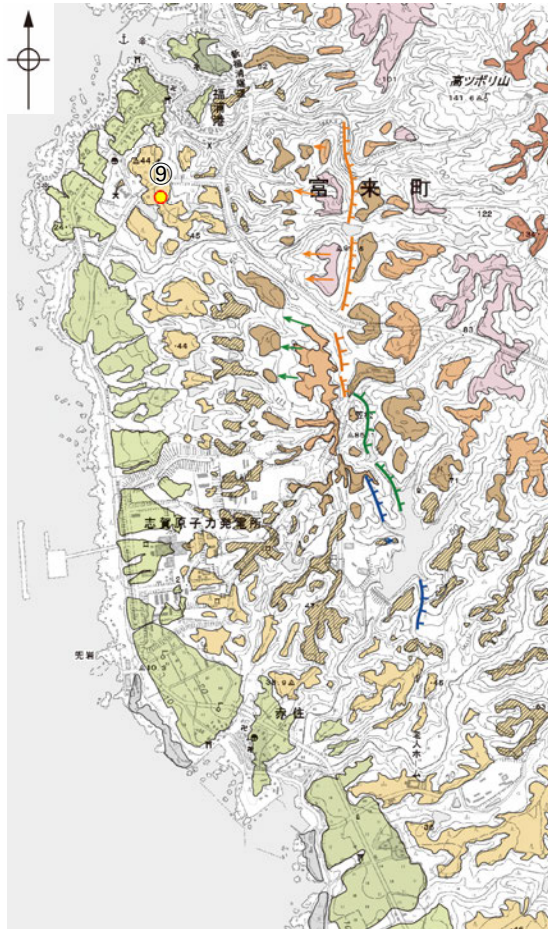


地形断面図

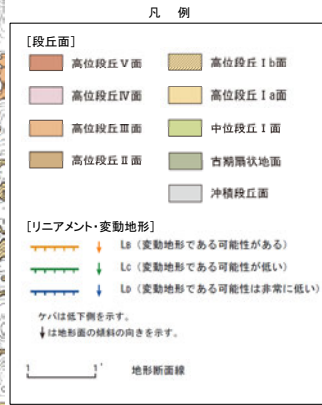
凡例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕	〔柱状図〕
高位段丘 I b面	人工改変土	シルト
高位段丘 I a面	被覆層	粘土質
中位段丘 I 面	基盤岩	砂混じり
No. 1 調査位置	23m 段丘面内縁標高	砂質
1' 1' 断面線	20.0m 旧汀線高度	礫混じり
		人工改変土
		被覆層
		基盤岩
		AT
		K-Tz

⑨高位段丘 I a面 段丘面調査結果



調査位置図



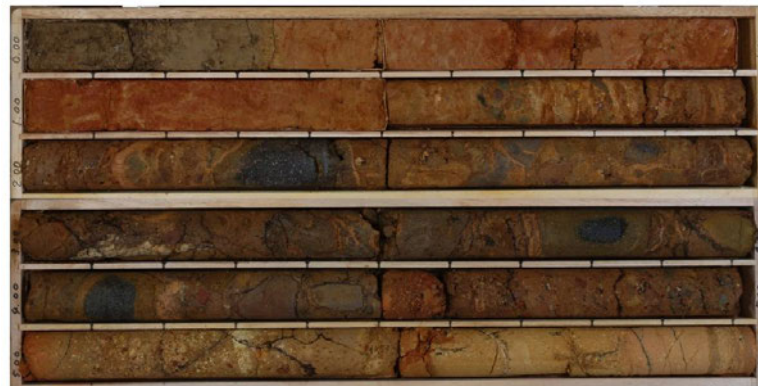
深度 (m)	標高 (m)	地質柱状図	地質名	土壌層位		色調	地層区分	記事	分析項目	
				名称	厚さ (cm)				火山灰分析	その他分析
0.0	45.61		シルト		0.35	褐灰色 (10YR4/1)	耕作土	強い指圧で変形する。草根混じりである。下部は褐色味が乏しい。	AT 混在	遊離酸化鉄 結晶化指数: 0.73 活性度: 0.05
0.35	45.26		シルト	II B	0.15	橙色 (5YR6/6)	赤褐色土壌			
0.50	45.11		シルト	III B	0.90	赤褐色 (2.5YR4/8)	赤色土壌	強い指圧で変形しない。わずかに砂分を含む。赤褐色 (2.5YR4/8) 部と不明瞭な斑状模様をなす。		
1.0			凝灰角礫岩 (強風化)	III C	0.20	明赤褐色 (5YR5/6)	礫混じりシルト層	強い指圧で変形しない。0.7m付近まで白色の中粒砂分をわずかに含む。橙色部と明瞭な斑状模様 (トラ斑模様) をなす。0.8~0.9mは、やや赤色味に乏しい。付近より深部は赤色味乏しくなる。下位層との境界は漸移的である。		
1.40	44.21							強い指圧で変形しない。灰褐色部をわずかに含む。1.55m付近~1.6mは、径5mm以下のくさり礫をわずかに含む (含有率10%以下)。礫は、黒色・褐色等の安山岩角礫。下位層との境界は不明瞭である。		
1.60	44.01							風化により著しく酸化褐色化している。基質は、褐色~にぶい褐色を呈する。凝灰岩でナイフにより容易に傷がつく程に軟質化している。礫は、褐色・オリーブ色・黒色・赤褐色等、多様な風化色調を呈する。安山岩角礫~亜角礫よりなる。礫も全般にナイフで削ることができる程、風化している。礫径は、2~150mm以上で分級が悪い。礫含有率は70%以上。3.0~4.5mは、径100mm以上の大礫とそれを充填する基質 (細礫) よりなる。		
2.0								基質は、上位と同質であるが赤色味を帯びる。礫は、径20mm以下の安山岩角礫よりなる。礫含有率は50%程度。		
3.0								著しく風化しており、ナイフで容易に削ることができる。5.5m付近までは粗粒~細粒状の白色粒子を多く含む、角礫質である。全体に割れ目は少なく、割れ目沿いの脆弱化は見られない。		
4.0										
4.50	41.11		火山礫凝灰岩 (強風化)		0.53	赤褐~にぶい褐色 (5YR4/2~5YR5/4)	火山礫凝灰岩 (強風化)			
5.0	40.58		安山岩 (強風化)		0.97	にぶい橙~淡黄褐色 (7.5YR7/4~7.5YR8/4)	安山岩 (強風化)			
5.03										
6.0										

ATについては混在であり降灰層準を認定していない。

柱状図

テフラの年代
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万~3万年前



コア写真

火山灰分析結果

試料番号	地層区分	テフラ名	火山ガラスの形態別含有量 (/3000粒)	重鉱物の含有量 (/3000粒子)			β石英 (/3000粒子)	備考	火山ガラスの屈折率 (nd)	
				Opx	GHo	Cum			1.500	1.510
0.30-0.40	耕作土10YR4/1	AT混在								
0.40-0.50	赤褐色土壌5YR6/6									
0.50-0.60										
0.60-0.70										
0.70-0.80										
0.80-0.90										
0.90-1.00	赤色土壌									
1.00-1.10	2.5YR4/8									
1.10-1.20										
1.20-1.30										
1.30-1.40										
1.40-1.50	礫混じりシルト									
1.50-1.60	5YR5/6									

試料は10cm間隔

■ バブルウォール (B) タイプ

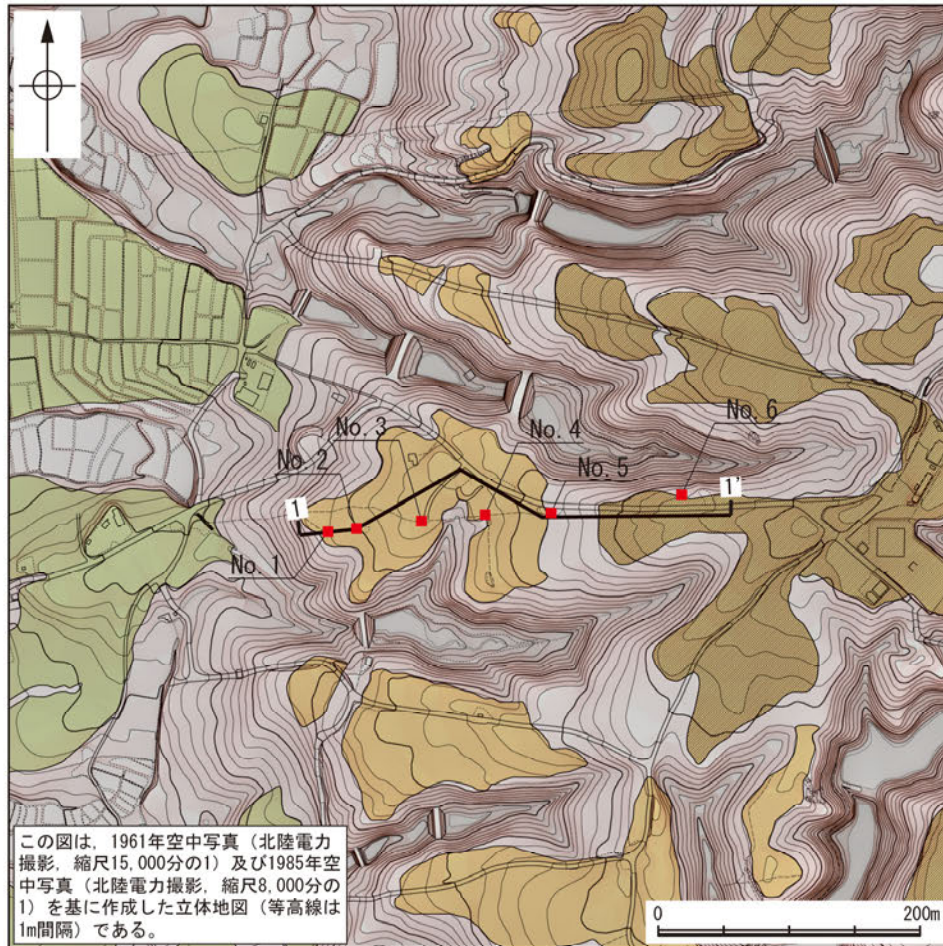
Opx: 斜方輝石

GHo: 緑色普通角閃石

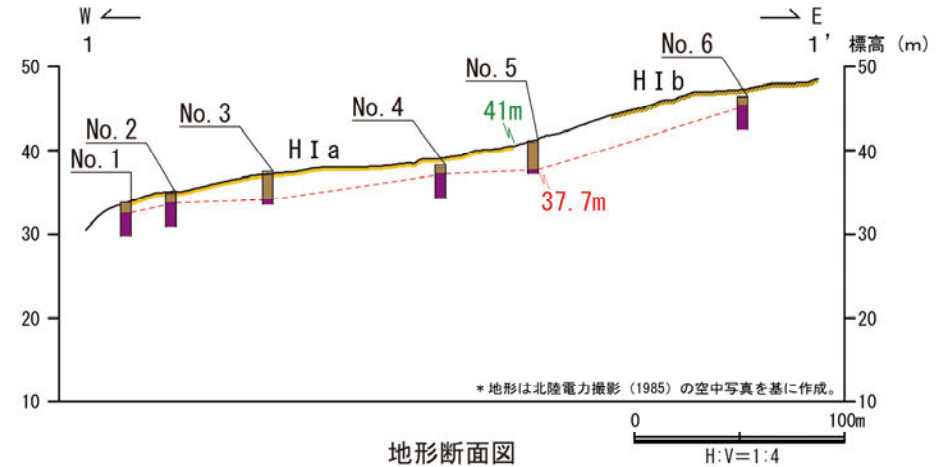
Cum: カルシウム閃石

Count: 個数

⑩高位段丘 I a面, ⑪高位段丘 I b面 段丘面調査結果



調査位置図

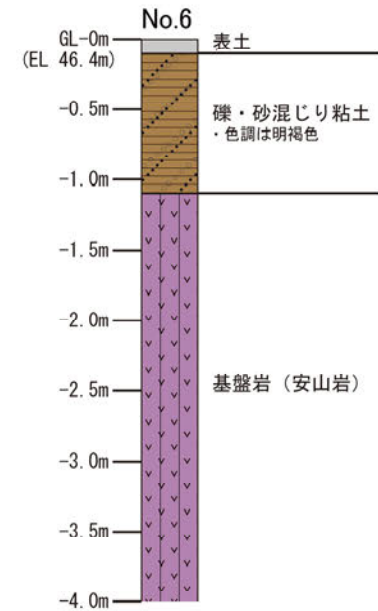
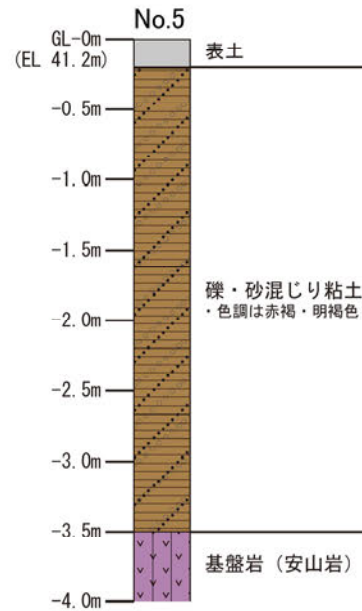
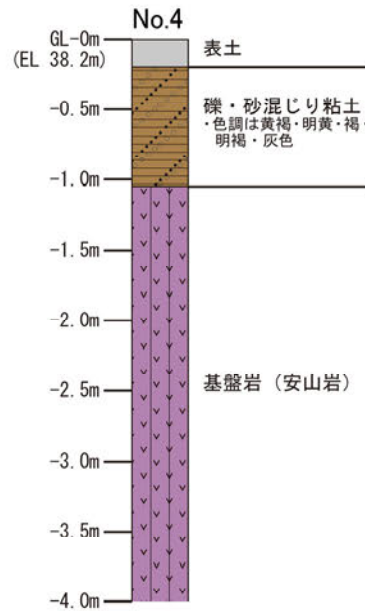
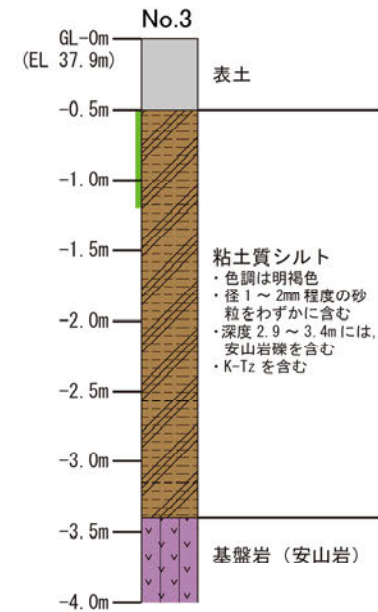
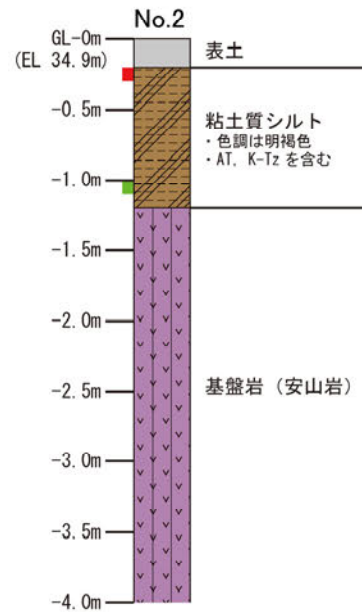
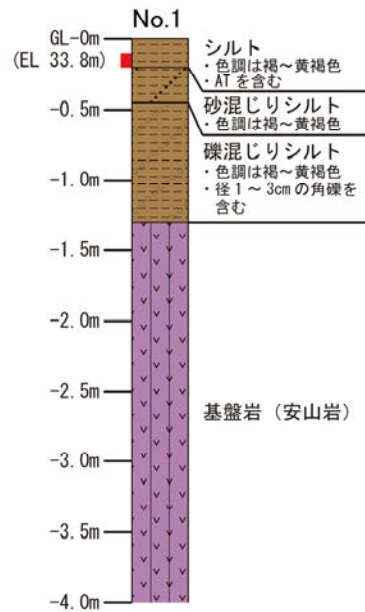


本測線の地質データは、1号機建設前(S60, 61年)にボーリング調査によって取得されており、コアの状況が悪く、海成堆積物の識別が困難である。

凡例

〔調査位置図〕	〔地形断面図〕
高位段丘 I b面	表土
高位段丘 I a面	陸成堆積物
中位段丘 I面	基盤岩
No. 1 調査位置	23m 段丘面内縁標高
1:1' 断面線	20.0m 旧汀線高度

【柱状図】



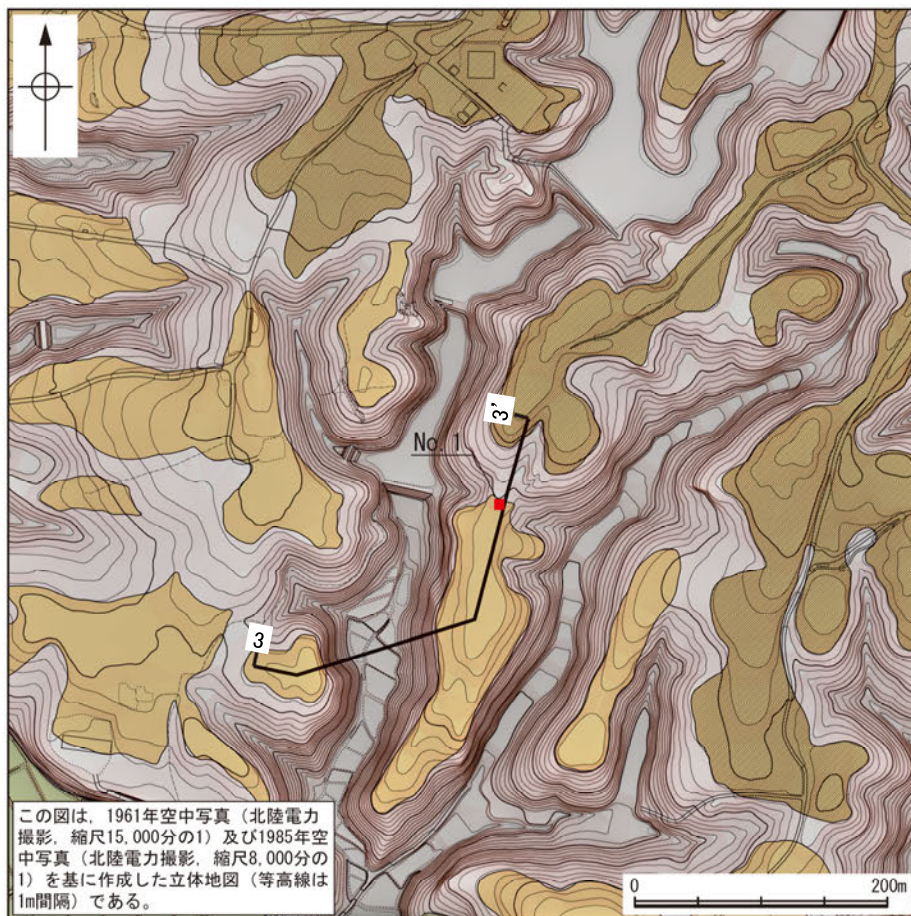
テフラの年代
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万～3万年前
K-Tz: 9.5万年前

凡 例



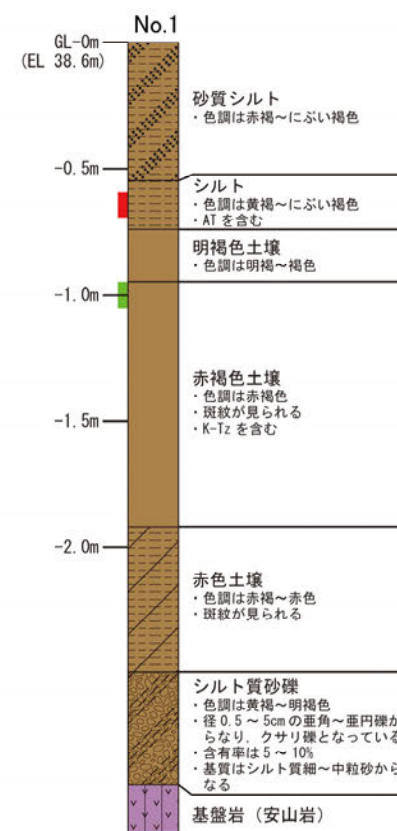
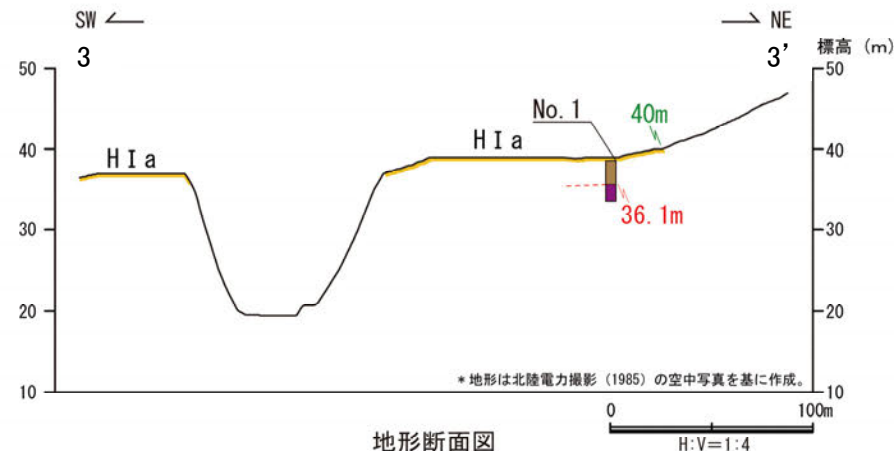
柱状図



調査位置図

凡例

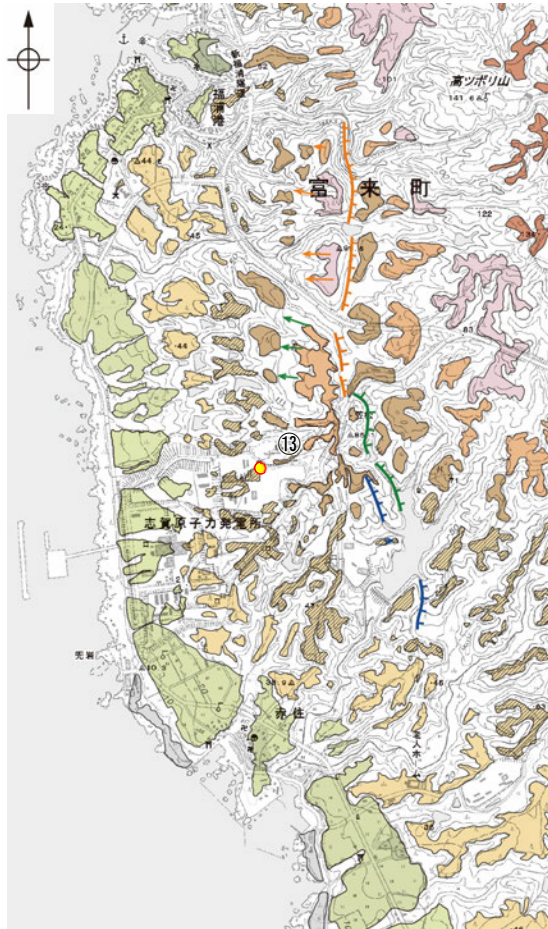
〔調査位置図〕	〔地形断面図〕	〔柱状図〕
高位段丘 I b面	陸成堆積物	シルト
高位段丘 I a面	基盤岩	砂礫
中位段丘 I 面	23m 段丘面内縁標高	粘土混じり
No. 1 調査位置	20.0m 旧汀線高度	シルト質
1' 断面線		砂質
		陸成堆積物
		基盤岩
		AT
		K-Tz



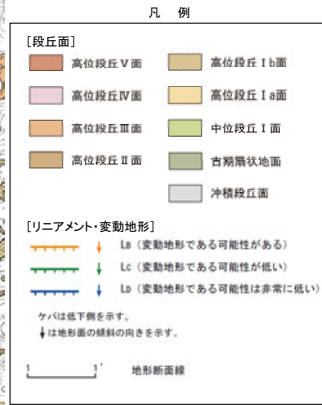
テフラの年代
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万~3万年前
K-Tz: 9.5万年前

⑬高位段丘 I b面 段丘面調査結果



調査位置図



深度 (m)	土壌層位		土壌断面	土 色						トラ斑記載		
	名称	厚さ (cm)		赤色部		色相面積比 (%)		色 相		斑紋の配列パターン	斑紋のコントラスト	
				5 YR	2.5 YR	最大平均	最大	淡	漸			赤:赤色部
0.0 - 0.5	I	50										
0.5 - 1.0	II B2g1	80								赤:2.5YR4/8 淡:10YR7/3 (にぶい黄橙) 漸:10YR5/8	上部:斑点状 中・下部: 1cm~3cm間 隔の網目状パ ターン	明 瞭
1.0 - 2.5	II B2g2	100								赤:最大 2.5YR ~10R4/8 平均 2.5YR4/8 淡:7.5YR7/3 (にぶい橙) 漸:10YR5/8	霜降り ロース状	明 瞭
2.5 - 2.5	安山岩		V V V V V V									

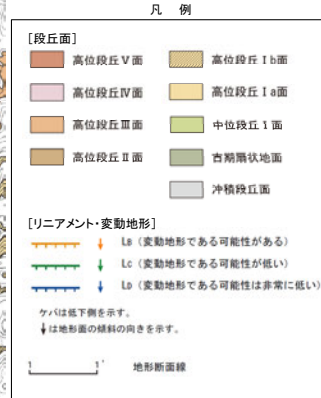
柱状図



近接写真(II B2g1)



近接写真(II B2g2)



深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土 壌 構 造	腐植含量	硬 密 度	乾 湿	層 界 の 性 状	斑 紋	観 察 記 事
0.5	[柱状図]	A1	砂質シルト	黒褐 (10YR 3/2)	粒状	多	疎	乾	不明	なし	指圧で指が入る程、非常に締まりの程度は悪い。
		A2	砂質シルト	にぶい黄褐 (10YR 5/4)	弱歪角塊状	含	疎	半湿	不明	なし	指圧で跡が残る程、締まりの程度は悪い。
0.5	[柱状図]	B1	砂混じりシルト	明褐 (7.5YR 5/6)	弱歪角塊状	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。
		B2	シルト質粘土	明赤褐 (5YR 4/6) にぶい黄橙 (10YR 6/4-5/4)	中塊状	なし	密	半湿	不明	やや鮮明・まだら	指圧で跡が残らない程、締まっている。
1.0	[柱状図]	II B2	シルト質粘土	赤褐 (2.5YR 4/8) にぶい黄橙 (10YR 7/3-6/4)	中〜強塊状	なし	密	半湿	不明	鮮明・縦	指圧で跡が残らない程、締まっている。
1.5		堆積物? 段丘?	シルト質粘土	灰白 (5YR 8/2)							指圧で跡が残らない程、締まっている。
2.0	[柱状図]										

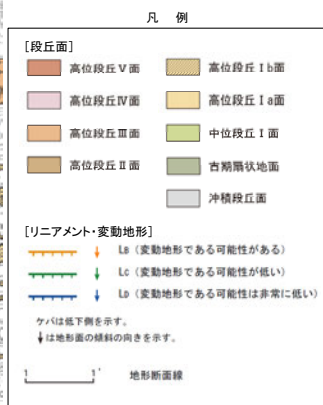
柱状図



露頭写真



調査位置図



深度 (m)	土壌層位		土壌断面	土色				トラ斑記載		
	名称	厚さ (cm)		赤色部		色相面積比 (%)		色相	斑紋の配列パターン	斑紋のコントラスト
				5 YR	2.5 YR	10 R	赤: 赤色部 淡: 淡色部 漸: 漸変部			
0.0 - 0.5	I	40								
0.5 - 1.0	II B1	10								
1.0 - 1.5	II B2g	70 5 80		赤:2.5YR4.5/8 淡:10YR7/4 漸:7.5YR6/6			赤:赤色部 淡:淡色部 漸:漸変部	水平な横縞卓越 上部は方状~ まだら状	やや明瞭 明瞭	
1.5 - 2.5	III B2g	100 5 110		赤: 最大2.5YR~ 10R5/8 平均2.5YR5/8 淡:10YR7/1 (灰白) 漸:7.5YR6/6				縦縞状 一部斑点状	明瞭 きわめて明瞭	
2.5 - 3.0	III B3g	70	赤: 最大2.5YR5/8 平均2.5~ 5YR5/8 淡:10YR7/1 漸:7.5YR5/6				まだら状	やや明瞭		
3.0 - 3.5	安山岩		V V V V V							

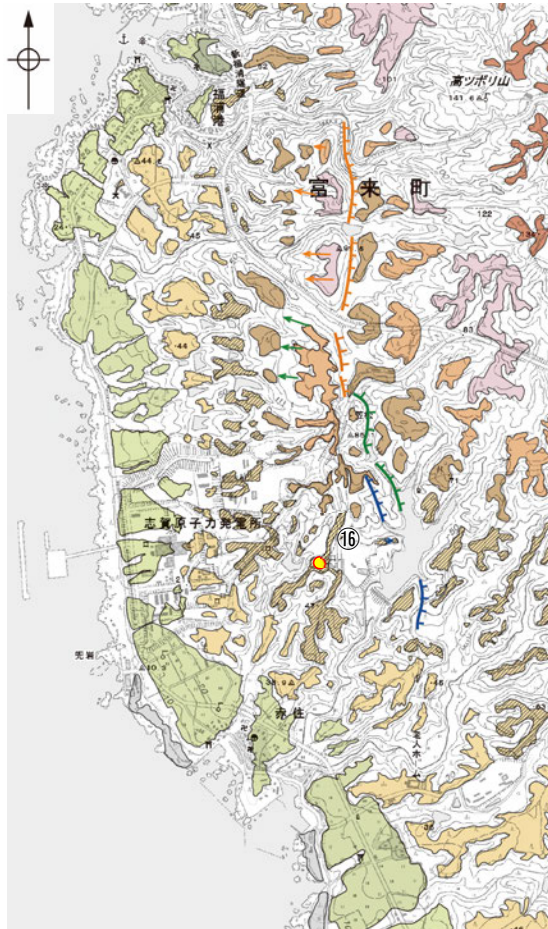
柱状図



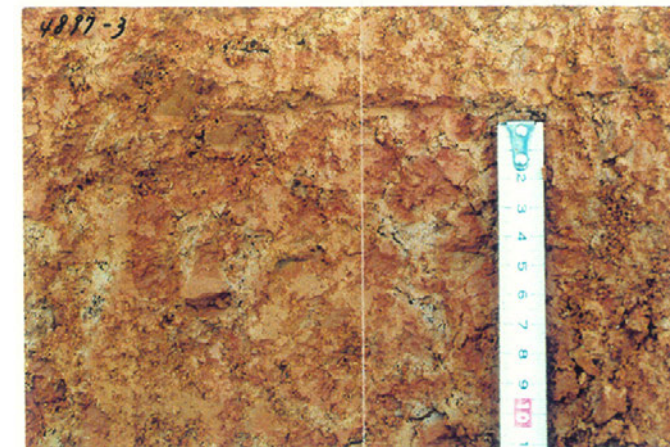
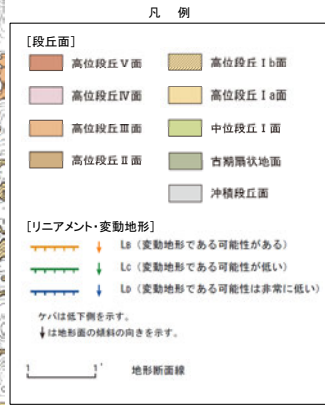
近接写真(II B2g)



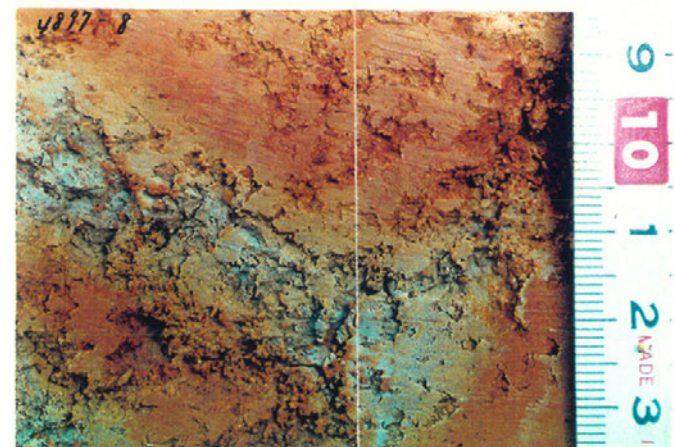
近接写真(III B2g)



調査位置図



近接写真(II B2g)

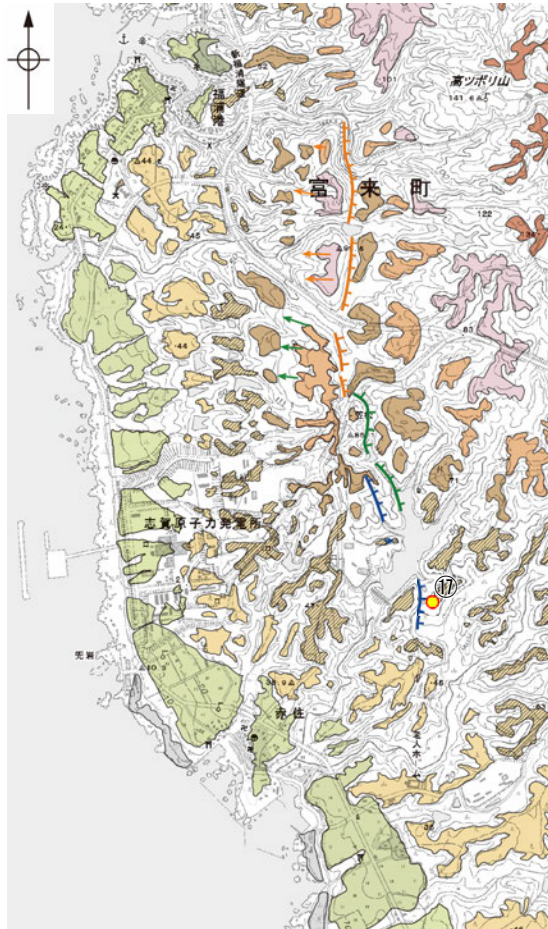


近接写真(III B2g)

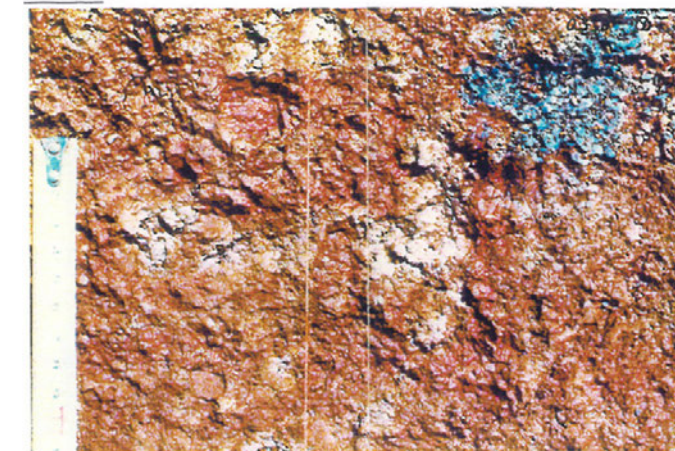
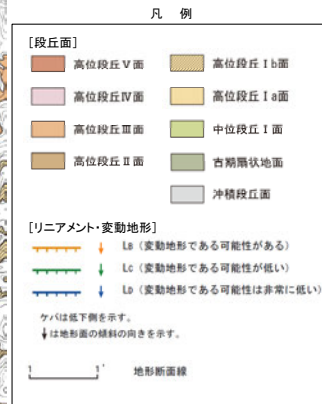
深度 (m)	土壌層位		土壌断面	土 色				トラ斑記載		
	名称	厚さ (cm)		赤色部		色相面積比 (%)		色 相	斑紋の配列パターン	斑紋のコントラスト
				5 YR	2.5 YR	最大赤量	平均赤量			
0.0	I	50								
0.5	II B2g	50					赤:最大2.5YR 4/8 平均2.5~5YR 4/8 淡:7.5YR6/3 (にぶい褐) 漸:7.5YR5/8	径1~3cm長方状斑点状パターン	やや明瞭	
1.0	II B3g	75					赤:最大2.5~5YR4/8 平均5YR4.5/8 淡:7.5YR6/3 (にぶい褐) 漸:7.5YR5/8	やや不鮮明な網目状パターン	不明瞭 やや明瞭	
2.0	III B2g	50+					赤:2.5YR4/8 淡:7.5Y7/1 (灰白) 漸:7.5YR5/8	径5~10cmの角状網目状パターン	明 瞭	
2.5	III B3g	70+					赤:最大2.5YR4/8 平均2.5~5YR4/8 淡:7.5Y7/1(灰白) 漸:7.5~10YR6/8	径7~15cmの角状網目状パターン	明 瞭	
3.0										
3.5										

柱状図

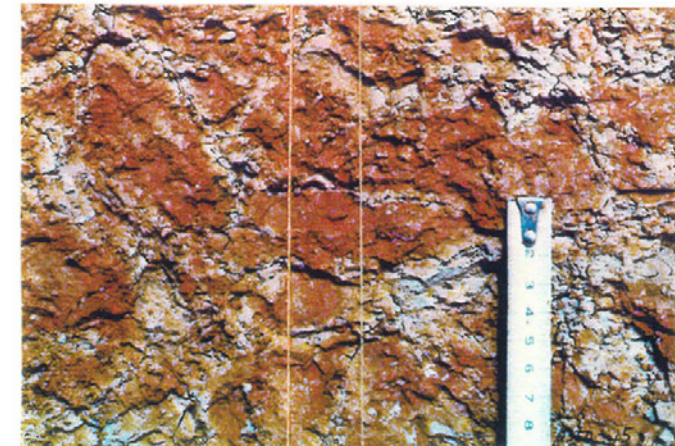
⑰高位段丘 I b面 段丘面調査結果



調査位置図



近接写真(ⅢB2g)



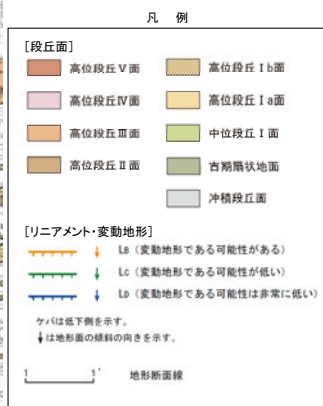
近接写真(ⅣB3g)

深度 (m)	土壌層位		土壌断面	土色					トラ斑記載					
	名称	厚さ (cm)		赤色部		色相面積比 (%)		色相		斑紋の配列パターン	斑紋のコントラスト			
				5 YR	2.5 YR	10 YR	最大赤色部	淡	漸	赤:赤色部	淡:淡色部	漸:漸変部		
I		30												
0.5	II	50												
1.0	III B1g	90								赤:5YR4/8 淡:5YR7/2 (明褐灰) 漸:7.5~10YR5/8	径3~5cmのまだら状パターン	やや明瞭		
1.5														
2.0	III B2g	70								赤:2.5YR4/8 淡:5YR7/2 (明褐灰) 漸:7.5YR5/8	径3~5cmのまだら状~斑状	やや明瞭		
2.5														
3.0	III B3g	65								赤:5YR5/8 淡:10YR6/3 (にぶい黄褐) 漸:7.5YR5/8	径5~15cmの網目状パターン	やや明瞭		
3.5	IV B3g	25								赤:2.5YR4/8 淡:10Y7/1(灰白) 漸:7.5YR6/8	径5~10cmの網目状パターン	やや明瞭 明瞭		
	IV C	30+												

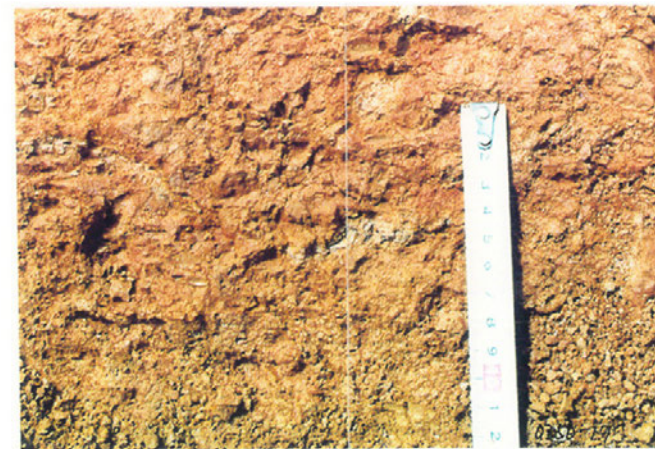
柱状図



調査位置図



近接写真(ⅢB2g)



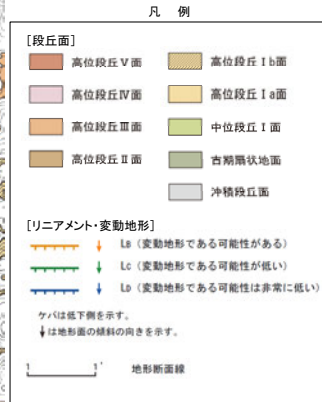
近接写真(ⅣB3g)

深度 (m)	土壌層位		土壌断面	土 色						トラ斑記載	
	名称	厚さ (cm)		赤色部		色相面積比 (%)		色 相	斑紋の配列パターン	斑紋のコントラスト	
				5 YR	2.5 YR	10 R	最大赤平均				淡
I		50									
0.5		50									
1.0	ⅢB1g	0 5 50						赤:2.5YR4/8 淡:7.5YR7/4 (にぶい黄橙) 漸:10YR5/8	不透明な大柄 網目状	不明瞭	
1.5	ⅢB2g	50						赤:2.5YR4/8 淡:7.5Y7/1 (灰白) 漸:10YR5/7	径5~15cm網 目状パターン	明 瞭	
2.0	ⅣB3g	0 5 40						鉄パン2.5YR~ 10R4.5/8 赤:2.5YR4/8 淡:7.5YR7/4 (にぶい黄橙) 漸:7.5YR4/6	斑点状~不鮮 明な網目状パ ターン	不明瞭 やや明瞭	
2.5	ⅣC	50									
3.0	安山岩		V V V								
3.5											

柱状図



調査位置図



深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾湿	層界の性状	斑紋	観察記事	分析項目
												火山灰分析結果
0.0			崖堆積物									A00
0.0			砂質シルト	暗赤褐 (5YR 3/3)	なし	含	疎	半湿	不明	なし	指圧で跡が残る程度に縮まりの程度は悪い。	A01
0.5		I B2	シルト質粘土	赤褐 (5YR 4/8) 明褐 (7.5YR 5/8) 灰白 (10YR 7/1)	不明	なし	密	半湿	不明	やや鮮明・まだら	指圧で跡が残らない程、良く縮まっている。	A02
1.0		II-III B2	シルト質粘土	赤褐 (2.5YR 4/8) にぶい黄褐 (10YR 5/4) 灰白 (10YR 7/1)	不明	なし	密	半湿	不明	やや鮮明・まだら	指圧で跡が残らない程、良く縮まっている。	A03: AT混在 A04
1.5			段丘堆積物	砂礫	にぶい赤褐 ~にぶい黄褐 (5YR 4/4 ~ 10YR 5/4)							A05
2.0			穴水露層	凝灰角礫岩	灰黄褐 (10YR 4/2)						全体的に強風化している。深度1.75~2.25mは、水分を多く含み、非常にゆるくなっている。	A06: K-Tz A07: K-Tz A08
2.5					にぶい黄褐 (10YR 4/3)							A09
3.0												A10
												A11
												A12
												A13
												A14
												A15
												A16

柱状図

テフラの年代
(町田・新井, 2011)

AT: 2.8万~3万年前
K-Tz: 9.5万年前

火山灰分析結果

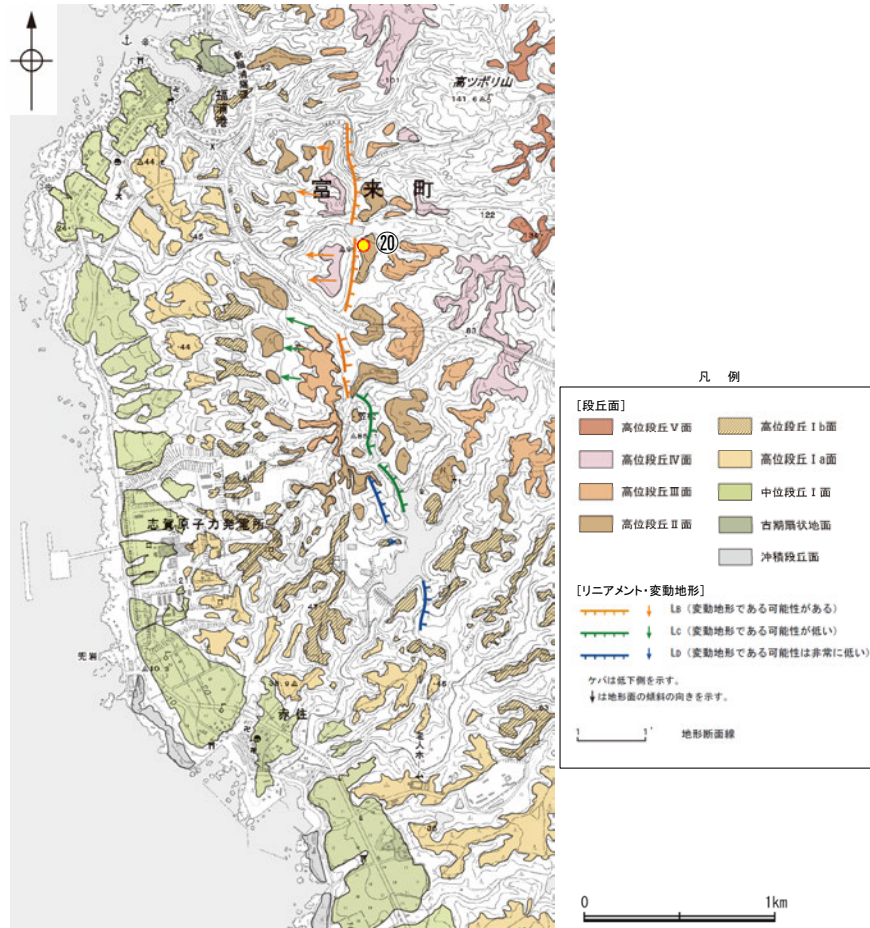
試料番号	火山ガラスの形態別含有量(/3000粒子)			重結物の含有量(/3000粒子)		β石英 (/3000粒子)	特記結物	火山ガラスの屈折率	テフラ名
	Bw	Pm	O	Opx	Gho				
A00	25	0	0	2	2	0.7			
A01	9	0	0	1	2	0.3			
A02	18	0	0	3	6	0.8			
A03	42	0	0	4	11	0.7			
A04	26	0	0	2	8	1		1.4968-1.4999	AT混在
A05	16	0	0	2	4	2			
A06	0	0	0	2	4	2.5			
A07	0	0	0	0	0	1.4			K-Tz
A08	0	0	0	0	0	0.9			
A10	0	0	0	0	0	1.6			
A11	0	0	0	0	0	0.8			
A12	0	0	0	0	0	0.1			
A13	0	0	0	0	0	0.1			
A14	0	0	0	0	0	0			
A15	0	0	0	0	0	0			
A16	0	0	0	0	0	0			

Bw: パフルウォールタイプ
Pm: ハミスタイプ
O: 板発地タイプ
Opx: 斜方輝石 Gho: 緑色普通角閃石



コア写真

* 深度0.0~0.27mは、コアサンブラーの打撃により圧縮されているため、見掛け上コアが欠如している。



調査位置図

深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬 度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.0	表土	腐植質シルト	暗褐 (10YR 3/4)								
0.0 - 0.5	I R2	砂混じりシルト	褐 (7.5YR 4/4)	弱塊状	なし	密	半湿	不明	なし		指圧で跡が残らない程、良く締まっている。下位との境界は漸移的である。
0.5 - 1.0	II B2	シルト質粘土	赤褐 (5~2.5YR 4/8) にぶい褐 (7.5YR 5/4)	中塊状	なし	密	半湿	不明	やや鮮明・まだら		指圧で跡が残らない程、良く締まっている。希に、安山岩の亜角礫 (径0.5mm程度) を含む。
1.0 - 1.5	段丘堆積物	砂礫	黄褐 (10YR 5/6)								礫は安山岩のくさり礫 (径4cm以上) からなり、基質は細粒~中粒砂である。
1.5 - 2.0	穴水泉層	凝灰角礫岩	黄褐~赤褐 (10YR 5/6 ~ 2.5YR 4/6)								全体的に強風化している。

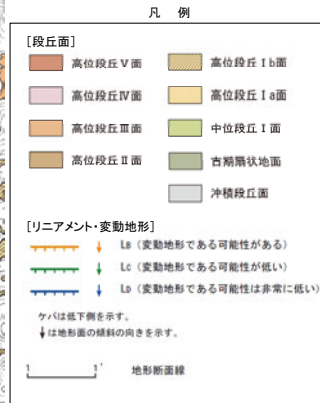
柱状図



コア写真



調査位置図



深度 (m)	土壌層位		土壌断面	土 色				トラ斑記載		
	名称	厚さ (cm)		赤色部		色相面積比 (%)		色 相	斑紋の配列パターン	斑紋のコントラスト
				5 YR	2.5 YR	10 R	最大平均			
0.5	I	65								
1.0	Ⅱ B2g	40					赤:最大2.5YR4/8 (皮膜) 平均2.5~5YR 3/6 淡:2.5Y7/3(残黄) 漸:10~7.5YR5/8	径1~3cmの斑点状	やや明瞭	
1.5	Ⅱ B3g	65 80					赤:最大2.5YR4/8 平均5YR4/8 淡:7.5Y7/1(灰白) 漸:7.5~10YR5/8	径3cm~5cmの斑状~網目状	明 瞭	
2.0	Ⅲ B2g	65 100					赤:最大2.5YR~10R4/8 平均2.5YR4/8 淡:10Y7/1 (灰白) 漸:7.5YR5/8	径5cm~10cmの大柄なまだら~網目状	きわめて明 瞭	
2.5	安山岩		V V V							
3.0										

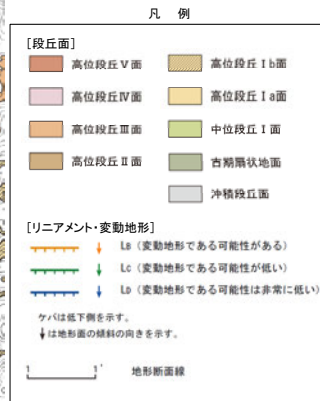
柱状図



近接写真(ⅡB2g)



近接写真(ⅢB2g)



調査位置図

深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.0		表土	砂質シルト	黒地 (2.5Y 3/2) にぶい黄 (2.5Y 5/3)	不明	なし	疎	半湿	不明	なし	指圧で指が入る程、非常に締まりの程度は悪い。
0.1		IB1	砂混じりシルト	明褐 (7.5YR 5/6)	不明	なし	中	半湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。
0.5		IB2	シルト質粘土	赤褐 (5YR 4/8) 明黄褐 (10YR 6/6)	不明	なし	密	半湿	不明	やや鮮明・横	指圧で跡が残らない程、締まっている。
1.0		II B2	シルト質粘土	赤褐 (5~2.5YR 4/8) 明黄褐 (10YR 6/6)	不明	なし	密	半湿	不明	やや鮮明・縦	指圧で跡が残らない程、締まっている。下位との境界は漸移的である。
1.5		III B2	シルト質粘土	赤褐~赤 (2.5YR~10R 4/8) にぶい黄褐 (10YR 7/2)	不明	なし	密	半湿	不明	鮮明・横	指圧で跡が残らない程、締まっている。下部で希に、安山岩のくさり礫 (径2cm程度) を含む。
2.0		段丘堆積物	砂礫	赤褐 (2.5YR 4/6)							礫は安山岩のさくり礫 (径2~5cm, 最大径25cm) からなり、基質はシルト質細粒砂で、指圧でわずかに跡が残らない程度に比較的締まっている。
2.5		穴水累層	安山岩	灰オリーブ (7.5YR 4/2)							

柱状図



コア写真



調査位置図

凡例

[段丘面]

- 高位段丘Ⅴ面
- 高位段丘Ⅳ面
- 高位段丘Ⅲ面
- 高位段丘Ⅱ面
- 高位段丘Ⅰb面
- 高位段丘Ⅰa面
- 中段段丘Ⅰ面
- 古期扇状地面
- 沖積段丘面

[リニアメント・変動地形]

- Lb (変動地形である可能性がある)
- Lc (変動地形である可能性が低い)
- Ld (変動地形である可能性は非常に低い)

ケバは低下側を示す。
↓は地形面の傾斜の向きを示す。

1km 地形断面線

深度 (m)	柱状図	土壌層位 (名称)	土性あるいは地質名	色 調	土壌構造	腐植含量	硬密度	乾 湿	層界の性状	斑 紋	観 察 記 事
0.0		A1	砂質シルト	黒褐 (2.5Y 3/2)	不明	含 砂	乾	不明	なし		指圧で指が入る程、非常に締まりが悪い。
0.0		A2	砂質シルト	にぶい黄～黄褐 (2.5Y 6/3-5/3)	不明	含 中	乾	不明	なし		指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。
0.5		B1	砂混じりシルト	褐 (7.5YR 4/6)	不明	なし	中	半 湿	不明	なし	指圧でわずかに跡が残る程度に比較的締まっている。
1.0		B2	シルト質粘土	赤褐 (5YR 4/6) 黄褐 (10YR 5/6)	不明	なし	密	半 湿	不明	不明瞭～やや鮮明・まだら	指圧で跡が残らない程、締まっている。希に、径1mm以下の白色粒子を含む。
1.5		II B2	シルト質粘土	赤褐 (2.5-5YR 4/6) にぶい黄橙 (10YR 6/4)	不明	なし	密	半 湿	不明	鮮明・まだら	指圧で跡が残らない程、締まっている。希に、径1mm以下の白色粒子を含む。
2.0											
2.5		II B3	シルト質粘土	明赤褐 (5YR 5/8) にぶい黄橙 (10YR 6/4)	不明	なし	密	半 湿	不明	やや鮮明・まだら	指圧で跡が残らない程、締まっている。希に、安山岩の歪角礫 (径5mm程度) を含む。
3.0											
3.5		III B2	シルト質粘土	赤褐～赤 (2.5YR-10R 4/6) にぶい黄橙 (10YR 6/4)	不明	なし	密	半 湿	不明	鮮明・縦	指圧で跡が残らない程、締まっている。希に、径1mm以下の白色粒子を含む。
4.0											

柱状図

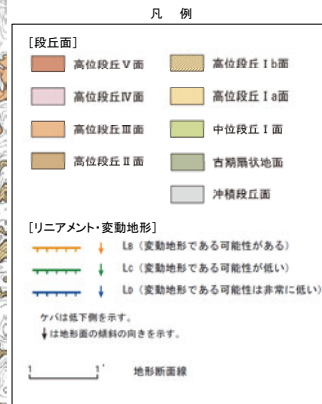


コア写真

*深度0.0～0.1mは、コアサンブラーの打撃により圧縮されているため、見掛け上コアが欠如している。

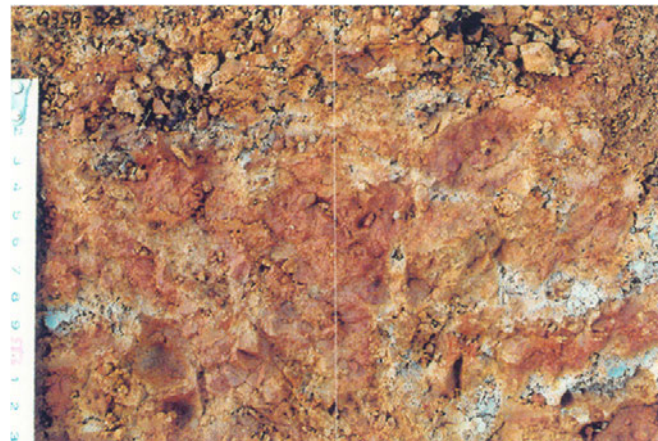


調査位置図

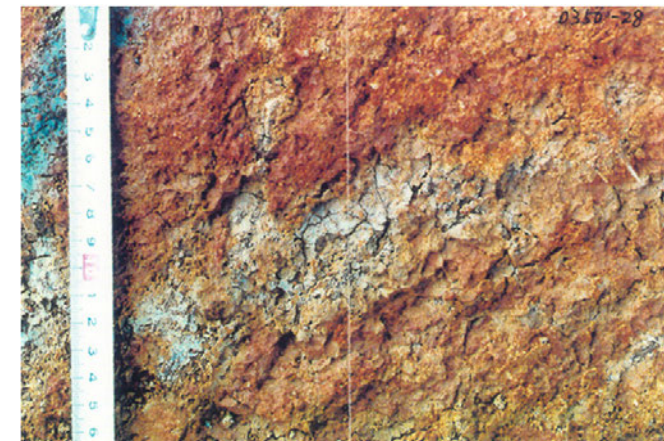


深度 (m)	土壌層位		土壌断面	土 色				トラ斑記載		
	名称	厚さ (cm)		赤色部		色相面積比 (%)		色 相	斑紋の配列パターン	斑紋のコントラスト
				5 YR	2.5 YR	最大平均	淡 漸			
0.0	I	40								
0.5	II BC	30								
1.0	III B1g	30					赤: 5YR3/6 淡: 7.5YR6/3 (じぶい濁) 漸: 7.5YR5/8	径2~5cmの斑状~網目状	やや明瞭	
1.5	III B2g	55					赤: 2.5YR4/8 (キュータンあり) 淡: 7.5YR6/2 (灰濁) 漸: 7.5~10YR5/8	上部: 水平縞状 中・上部: まだら状	やや明瞭	
2.0	III B3g	95					赤: 2.5YR4/8 淡: 7.5YR7/2 (明褐灰) 漸: 7.5~10YR5/6	不透明な大柄網目状	不明瞭	
2.5	IV B3g	50					鉄パン: 10R4/8 赤: 2.5YR~10R4/8 淡: 5YR7/2 (明褐灰) 漸: 10YR5/8	黄色がかった不明瞭な部分が多い	不明瞭 やや明瞭	
3.0	安山岩		V V V V V V				2.5YR~10R4/8 が斑状に分布			
3.5										

柱状図



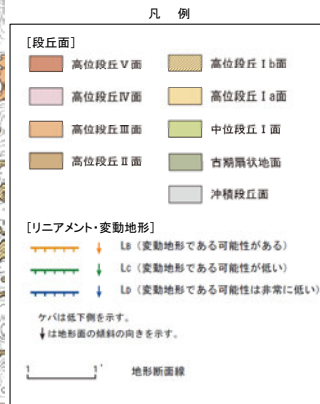
近接写真(ⅢB2g)



近接写真(ⅣB3g)

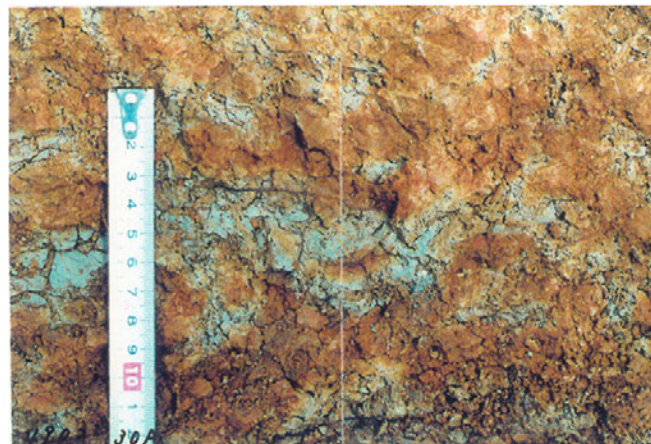


調査位置図



深度 (m)	土壌層位		土壌断面	土色				トラ斑記載	
	名称	厚さ (cm)		赤色部		色相面積比 (%)		斑紋の配列パターン	斑紋のコントラスト
				5 YR	2.5 YR	最大赤色部	淡 漸		
0.5	I	60							
1.0	II B2g	35				赤:最大 2.5YR4/6 平均 2.5~5YR4/6 淡:10YR5/3 漸:7.5YR5/8	径1cm~3cm の斑状パターン	不明瞭 やや明瞭	
1.5	II B3g	50 60				赤:最大 2.5YR4/8 平均 5YR4/6 淡:7.5Y6/1(灰) 漸:7.5YR5/8	径5cm~20cm の大柄な水平 ~角状網目パ ターン	明瞭	
2.0	III B2g1	10 30				赤:2.5YR~10R4/8 淡:7.5CY7/1(灰白) 漸:5~7.5YR5/8	霜降りロー ース状	きわめて明瞭	
2.5	III B2g2	20 30				赤:2.5YR~10R4/8 淡:7.5YR6/3 (にぶい地) 漸:7.5YR5/8	不規則な網 目状	やや明瞭	
2.5	安山岩								

柱状図



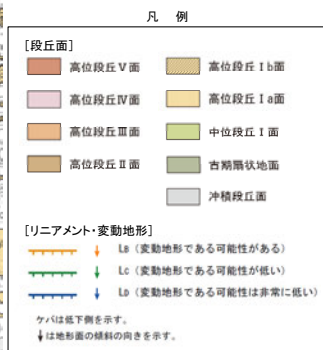
近接写真(ⅡB2g)



近接写真(ⅢB2g1)



調査位置図



深度 (m)	断面	土壌層位		土性 あるいは 地質名	土色	土壌構造	腐植 含量	硬 密度	乾 湿	層 界 の 性 状	石 礫	斑 紋	観 察 記 事	分析項目
		名称	厚さ (cm)											火山灰分析
0.0	産錐堆積物	表土	10	砂質シルト	黒褐 (7.5YR 3/2)	粒状	含	碎	半 湿	平 坦			指圧で指が入る程、締まりは悪い。	AT+K-Tz混在 (一部K-Ah含む) (0.0-1.0m)
0.1			40	シルト	明褐 (7.5YR 5/6)	弱塊状	なし	密	半 湿	平 坦			指圧でわずかに跡が残る程に、比較的締まっている。	
0.5			50	礫混じりシルト	赤褐 (5YR 4/6)	不明	なし	密	半 湿				比較的新鮮な安山岩の角礫(径5~15cm)を含む。指圧でわずかに跡が残る程に、比較的締まっている。	
1.0		罅層	50	凝灰角礫岩	赤褐								おじり縁で削れる程度に強風化している。基質は粘土化し、赤褐色を呈す。	
2.0														
3.0														

※断面の左側に打点した黒丸は火山灰試料採取層準を示す。

AT及びK-Tzについては混在であり
降灰層準を認定していない。

柱状図



遠景写真



近景写真

火山灰分析結果

試料番号	火山ガラスの形態別含有量(/3000粒子)	重鉱物の含有量(/3000粒子)			β石英			特記鉱物	火山ガラスの屈折率	テフラ名
		Bw	Pm	O	Opx	GHo	Cum			
0.0-0.1	表土	45	0	0.5	22	16	0	1.5		AT+K-Tz混在 (一部K-Ah含む)
0.1-0.2		50	0	2	18	10	0.1	2.2		
0.2-0.3		43	0	0	13	13	0.2	2.9		
0.3-0.4		69	0	1	8	16	0.3	1.7	1.495-1.501	
0.4-0.5		58	0	1	17	19	0	2.3		
0.5-0.6	産錐堆積物	16	0	0	3	6	0	1.2		
0.6-0.7		32	0	0	1.5	5.5	0	1.2	1.496-1.501 (1.511含む)	
0.7-0.8		6	0	1	0.3	0.8	0	0		
0.8-0.9		1.8	0	0.1	0.4	0.3	0	0		
0.9-1.0		3	0	0.2	0.2	0.5	0	0	1.496-1.500 (1.510含む)	

Bw: パブルウォールタイプ
 Pm: バラストタイプ
 O: 低発泡タイプ
 Opx: 斜方輝石 GHo: 緑色普通角閃石 Cum: カミングトン閃石

テフラの年代
(町田・新井, 2011)

K-Ah: 7.3千年前
 AT: 2.8万~3万年前
 K-Tz: 9.5万年前